

国語科 1・2年.docx

国語科 3年.docx

数学科 1・2年.doc

数学科 3年.doc

生単 1年 課程.doc

生単 1年 課程.doc

生単 2年 課程.doc

生単 2年 課程.doc

生単 3年 課程.doc

生単 3年 課程.doc

総合的な探求の時間 1年.docx

総合的な探求の時間 2年.docx

総合的な探求の時間 3年.docx

美術科 1年.doc

美術科 2年.doc

美術科 3年.doc

保健体育科 課程.doc

保健体育科 課程.doc

音楽科 1年 課程.doc

音楽科 1年 課程.doc

音楽科 2年 課程.doc

音楽科 2年 課程.doc

音楽科 3年 課程.doc

家庭科 1年.doc

家庭科 2年.doc

家庭科 3年.doc

高等部年間指導計画		1～2学年	(全) グループ	教科・領域名 (国語)	年間指導時数	60 52.5			
指導目標		(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、日常生活で適切に使うことができる。(知識・技能) (2) 社会生活における人との関わりの中で、自分の思いや考えをまとめ、伝えることができる。(思考力・判断力・表現力等) (3) 言葉のもつ意味や良さに気づき、幅広く読書をする中で、言語能力を高めようとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)							
学期	月	単元(題材)	単元(題材)目標	時数	学習活動内容 指導の手立て	教材等	授業形態	関連する教科	学習指導要領 位置づけ
I	4	○新しい学校生活 ・自己紹介	I 段階 ・自分で考えたことや思ったことを言葉で表現できる。(知・技) ・相手を見て、相手に伝わるように気を付けながら話すことができる。(知・技)(思・判・表)	2	I 段階 ○教科書の例文に沿って、自己紹介をする。 ・自己紹介やグループ紹介など、学習形態を工夫しながら発表させる。主	ぐらしに 役立つ国 語 P6～8	① ② ③	特別活動 生活単元学習	ア(ア) ア(イ) Aエ イ(ア)
			II 段階 ・自分で考えたことや思ったことを適切な表現で言葉にできる。(知・技) ・相手を見て、相手に伝わるように言葉の抑揚や強弱、間の取り方に気を付けながら話すことができる。(知・技)(思・判・表) ・相手の話を聞いて、話の中心に気を付けながらメモやノートに書き出すことができる。(知・技)		II 段階 ○教科書の例文に沿って、自己紹介をする。 ・自己紹介や他己紹介、グループ紹介など学習形態を工夫しながら発表させる。主 ○メモを取りながら聞く。 ・相手の話を傾聴することを意識させる。 対・深				
	5	○体育発表会	I 段階 ・漢字や仮名の表記、句読点に気を付けることができる。(知・技)	4	I 段階 ○内容を振り返り、文章の構成を考える。 ・写真などで振り返り、さらに感想文の参考例を提示し、漢字の表記や、主語と述語を明確にさせること、つなぎ言葉を使って伝えたい内容のまとまりで段落を構成させる。主・深	参考文 映像 写真 私たちの 進路 P71～86	① ③	生活単元学習 体育科 作業学習	ア(ウ) ア(エ) Bア Bイ Aア
	6	○産業現場等における実習 ・作文 ・感想文 ・お礼状	・体験を通して、伝えたいことを明確に書くことができる。(思・判・表) ・書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落を作り、文章の構成を考えることができる。						

		<p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し手が伝えたいことを注意して聞き、話の大体をつかむことができる。(思・判・表) <hr/> <p>II段階</p> <ul style="list-style-type: none"> 文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書くことができる。(知・技) 様子や気持ちを表すために、多くの言葉を用いて、相手に伝わるように書くことができる。(知・技) 書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落を作り、文章の構成を考えることができる。(思・判・表) 話し手が伝えたいことを注意して聞き、話の大体をつかむことができる。(思・判・表) 	<p>○発表をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 話す時はより伝わりやすい表現や間を意識させ、聞く姿勢や態度を確認させる。対・深 <hr/> <p>II段階</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容を振り返り、文章の構成を考える。 写真などで振り返り、さらに、道筋の通った文章となるよう構成させ、事実と感想を区別するなど、伝わりやすい工夫をさせる。主・深 <p>○発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 伝わりやすい工夫を考えさせ、聞くときは、相手の気持ちを考えながら聞くよう、態度を確認させる。対・深 					
7	<p>○夏の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> 暑中見舞い作成 夏の読書 	<p>I段階</p> <ul style="list-style-type: none"> 送りたい相手を意識して書く内容を決め、伝えたいことを分かりやすく書くことができる。(思・判・表) 書きたいことを明確に、工夫をしながら書くことができる。(思・判・表) 読書に親しみ、内容の理解や知識、情報を得ることができる。(知・技) 文章を読んで理解したことについて感想や考えをもつことができる。(学・人) <hr/> <p>II段階</p> <ul style="list-style-type: none"> 送りたい相手を意識して書く内容を決め、伝え 	3	<p>I段階</p> <ul style="list-style-type: none"> 暑中見舞いの練習をする。 教科書やはがきの書き方参考冊子を使って、書き方の確認をさせ、練習用と清書用を書かせる。主 暑中見舞いの工夫をする。 夏のイラストを考えさせる。主・深 読書をする。 学校図書室を利用し、生徒の実態に応じて本を選ばせる。主・深 <hr/> <p>II段階</p> <ul style="list-style-type: none"> 暑中見舞いの練習をする。 	教科書 P34 ~ 41 手紙の 書き方 はがき	①	生活単元学習	B ア B オ ウ(ウ)④ (II段階) C オ ウ(ウ)

			<p>た</p> <p>いことを分かりやすく書くことができる。</p> <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて筆記具を選び、特徴を生かして書くことができる。(知・技) ・読書に親しみ、内容の理解や知識、情報を得ることができる。(知・技) ・文章を読んで理解したことについて感想や考えをもつことができる。(学・人) 		<ul style="list-style-type: none"> ・教科書やはがきの書き方参考冊子を使って、書き方の確認をさせ、練習用と清書用を書かせる。主 ○暑中見舞いの工夫をする。 ・イラストや文字に用いる筆記具を工夫させ、気持ちが伝わる暑中見舞いにさせる。主・深 ○読書をする。 ・学校図書室を利用し、生徒の実態に応じて本を選ばせ、感想を発表させる。対・深 				
2	9 10	<p>○調べて新聞を作り、発表しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットの活用 ・話し合い学習 ・発表データ作り 	<p>I 段階</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたい事柄に対する理由や事例、情報との関係をまとめ、ノート等に書き出すことができる。(知・技) ・相手が伝えたいことを注意して聞き、相手に伝わるように工夫して話すことができる。(思・判・表) ・タブレット端末の使い方を理解することができる。(知・技) <p>II 段階</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたい事柄に対する理由や事例、情報との関係をまとめ、ノート等に書き出すことができる。(知・技) 	6	<p>I 段階</p> <p>○調べる内容を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何について調べていくのか、グループ内で話し合いをさせる。(例えば、卒業後の生活について、SDGsについて、日本や世界について、など) 対・深 ○タブレット端末の使い方を学ぶ。 ・タブレット端末等の使い方を確認させ、実際に調べさせる。主 ○発表の準備をし、発表する。 ・Keynote や Pages などのアプリケーション、もしくは模造紙などにまとめ、発表させる。主・対・深 <p>II 段階</p> <p>○調べる内容を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何について調べていくのか、グループ内で話し合いをさせる。(例えば、卒業後の生活について、SDGsについて、日本や世界 	<p>教科書</p> <p>P58 ~ 67</p> <p>教科書</p> <p>P50 ~ 53</p> <p>タブレット等</p>	<p>①</p> <p>②</p> <p>③</p>	<p>総合的な探求の時間</p> <p>生活単元学習</p>	<p>イ(ア)</p> <p>Aア</p> <p>Aエ</p> <p>Aオ</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・相手が伝えたいことを注意して聞き、相手に伝わるように資料の活用など工夫をして話すことができる。(思・判・表) ・タブレット端末の使い方を理解することができ、まとめることができる。(知・技) 		<ul style="list-style-type: none"> について、など) 対・深 ○タブレット端末の使い方を学ぶ。 ・タブレット端末等の使い方を確認させ、実際に調べさせ、話し合いの材料を集める。 主 ○発表の準備をし、発表する。 ・Keynote や Pages などのアプリケーションにまとめ、ICT 機器を用いて発表させる。 主・対・深 				
11 12	<ul style="list-style-type: none"> ○冬の生活 ・年賀状を書く 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手を意識して、冬に関わる言葉や物事をおさえながら、伝えたいことを分かりやすく書くことができる。(思・判・表) ・はがきの大きさに合わせて、文字の形を整えて書くことができる。(知・技) 	5	<ul style="list-style-type: none"> ○年賀状について知る。 ・教科書を提示し、冬の風物、自然を表現する言葉や年末年始の行事、その意味を資料等から調べさせる。主・対 ○年賀状を書く。 ・教科書や手紙の書き方等の提示した書式を参考にさせ、気持ちが伝わる年賀状を書かせる。深 	<ul style="list-style-type: none"> くらしに 役立つ国語 P34 くらしに 役立つ国語 P34 	①	生活単元学習	<ul style="list-style-type: none"> B ア ウ(イ)㊦ ウ(ウ)㊧ (Ⅱ段階)
		<ul style="list-style-type: none"> ・相手を意識して、冬に関わる言葉や物事をおさえながら、伝えたいことを分かりやすく書くことができる。(思・判・表) ・はがきの大きさに合わせて、文字の形を整えて書くことができる。(知・技) ・目的に応じて筆記具を選び、特徴を生かして書くことができる。(知・技) 		<ul style="list-style-type: none"> ○年賀状の意味を知る。 ・年賀状を出す理由や、適切な内容、相手への気持ちなどを学ばせる。主・深 ○工夫した年賀状を書く。 ・イラストや文字に用いる筆記具を工夫させ、気持ちが伝わる年賀状を書かせる。 主・深 				
3	<ul style="list-style-type: none"> 1 ○新年を迎えて 2 ・かきぞめ ○俳句を作ろう 	<ul style="list-style-type: none"> I 段階 ・半紙の大きさに合わせた文字の組立方や形を整えて書くことができる。(知・技) ・五、七、五の音の組み合わせや季語を意識して 	6	<ul style="list-style-type: none"> I 段階 ○書き初めを書く。 ・1年の目標や抱負について考えさせ、毛筆になれさせる。主 	<ul style="list-style-type: none"> 習字道具 くらしに 役立つ国語 P70 	① ② ③	生活単元学習	<ul style="list-style-type: none"> ウ(イ) ウ(ウ) B ア B ウ

		<p>伝えたいことを短い言葉で書くことができる。 (思・判・表)</p> <hr/> <p>II 段階</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半紙の大きさに合わせた文字の組立方や形を整えて書くことができる。(知・技) ・五、七、五の音の組み合わせや季語を意識して伝えたいことを短い言葉で書くことができる。(思・判・表) ・俳句に対する感想や意見を伝え合い、自分の俳句のよいところを見つけることができる。(思・判・表) 		<p>○俳句を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書を読み、大事なところを確認させながら、題材のキーワードとなる言葉をワークシートに書かせる。主 ・タブレット端末を用いて、イラストや写真とともに、表現を工夫させる。深 <hr/> <p>II 段階</p> <p>○書き初めを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年の目標や抱負について考えさせ、毛筆になれさ、文字のバランスや形を整えて書かせる。主 ○俳句を作る。 ・俳句について学ばせ、自分の気持ちを少ない言葉で表現できる工夫をさせる。主 ・タブレット端末を用いて、イラストや写真と組み合わせることで、表現の幅を持たせる。深 ・短冊等に清書させ、友達と読み合わせをさせ、良いところを見つけさせる。対・深 	ワークシート タブレット端末			
3	<p>○本に親しもう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメニモマケズ ・百羽のつる 	<p>I 段階</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分からない言葉は、辞書や辞典を使って調べることができる。(知・技) ・登場人物の心情や情景について、場面を結び付けて想像することができる。(思・判・表) ・文章を読んで理解したことをまとめたり、感想をもつことができる。(思・判・表) 	3	<p>I 段階</p> <p>○本を読み、感想を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書を読み合わせ、あらすじをおさえながら、登場人物の心情を理解させワークシートに書かせる。主 	くらしに 役立つ国 語 P76～	①	生活単元学習	イ① Cウ Cオ

			<p>II段階</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の心情や情景について、場面を結び付けて想像することができる。(思・判・表) ・文章を読んで理解したことをまとめたり、感想をもつことができる。(思・判・表) ・国語を大切に、想いや考えを伝え合おうとすることができる。(学・人) 	<p>II段階</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本を読み、感想を書く。 ・教科書を読み合わせ、あらすじをおさえながら、登場人物の心情を理解させワークシートに書かせる。主 ○感想を発表する。 ・自分の考えを伝え、人の考えを受け入れる気持ちや態度を持たせる。対・深 				
--	--	--	---	--	--	--	--	--

※授業形態 ①一斉 ②グループ ③個別

高等部年間指導計画		3 学年	(全) グループ	教科・領域名 (国語)	年間指導時数	60 52.5			
指導目標		(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、言語文化に親しんだり理解したりすることができる。(知識・技能) (2) 社会生活における人との関わりの中で、自分の思いや考えをまとめ、広げることができる。(思考力・判断力・表現力等) (3) 言葉のもつ意味や良さに気づき、進んで読書をする中で、言語能力を高めようとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)							
学期	月	単元 (題材)	単元 (題材) 目標	時数	○学習活動内容 ・指導の手立て	教材等	授業形態	関連する教科	学習指導要領 位置づけ
I	4	○新しい学校生活 ・自己紹介 ・面接の練習	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には継続することで相手との好ましい関係を築く働きがあることを知ることができる。(知・技) 敬語を理解し、相手や目的に応じて適切に使い慣れることができる。(知・技) 	2	<ul style="list-style-type: none"> ○面接の練習をする。 ・教科書の自己紹介の例文や面接の例文を提示し、生徒の実態に応じてメモやノートを取らせ、面接官 (教師) と生徒役で練習させる。主・対 	ぐらしに 役立つ国 語 P6 ~ 11	① ② ③	特別活動 生活単元学習	ア㉗ ア㉘
	5	○産業現場等における実習の計画を立てよう。	<ul style="list-style-type: none"> 目的を明確にし、集めた情報を整理したり、分類したりして、分かりやすく書くことができる。(思・判・表) 	2	<ul style="list-style-type: none"> ○実習先を知り、計画を立てる。 ・タブレット端末等を使って個別実習先を見つけさせ、場所や移動時間、作業時間、作業内容等をワークシートにまとめさせる。主 	参考文 映像 写真	①	生活単元学習	B-ア
	6	○産業現場等における実習 ・電話をかける ・お礼状作成	<ul style="list-style-type: none"> 個別実習先を意識して、自分の聞きたいことを捉え、内容を理解したり尋ねたりすることができる。(思・判・表) 企業や福祉施設で学んだことを通して、書く材料を整理しながら、伝えたいことを明確に書くことができる。(思・判・表) 	3	<ul style="list-style-type: none"> ○電話をかける練習をする。 ・電話の対応では、個別実習先に合わせて話す順番や内容を考えさせ、繰り返し練習させる。主・対 ○お礼状を作成する。 ・お礼状は、現場実習や校外体験学習等で学んだことを実習日誌やしおりをもとに練習用と清書用に分けて書かせる。主 	ぐらしに 役立つ国 語 P24 ~ 33	①	生活単元学習 作業学習	A-ア B-ア
	7	○夏の生活 ・暑中見舞い作成 ・夏の読書	<ul style="list-style-type: none"> 送りたい相手を意識して書く内容を決め、伝えたいことを簡単に書いたり、詳しく書いたりすることができる。(思・判・表) 	3	<ul style="list-style-type: none"> ○暑中見舞いのはがきを作成する。 ・教科書やはがきの書き方参考冊子を使って、書き方の確認をさせ、練習用と清書 	教科書 P34 ~ 41	①	生活単元学習	B-ウ

		<ul style="list-style-type: none"> 文章全体の構成や書き表し方に気を付けて文や文章を整えることができる。(思・判・表) 日常的に読書に親しみ、読書を自分の考えに役立たせることができる。(知・技) 登場人物の相互関係や心情など描写を捉えることができる。(思・判・表) 文章を読んで理解したことを通して自分の考えをまとめることができる。(思・判・表) 		<p>用を書かせる。主</p> <p>○図書室のルールを知り、読書をする。</p> <p>・学校図書室を利用し、生徒の実態に応じて本を選ばせる。主・対</p>	手紙の書き方はがき			B-オ ウ㊦ C-ア C-オ	
2	9	<p>○調べて発表しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 辞書や事典の活用 社会生活について 	<ul style="list-style-type: none"> 調べたい事柄に沿って、辞書や辞典、タブレット端末等を使い分け、集めた情報を共有することができる(知・技) 共有した情報をもとに、その理由や事例をKJ法等で分析することができる。(知・技) 説明や報告など集めた材料が主題に沿って、内容を選択することができる。(思・判・表) 意見の相違点に着目して考えをまとめることができる。(思・判・表) 	4	<p>○様々な方法で調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 用途に合わせて、辞書やタブレット端末等を使って情報を共有させる。主 ○調べた内容をまとめる。 ・模造紙にKJ法等を使って調べた内容をまとめさせる。対・深 ○まとめた内容を報告する。 ・卒業後の社会生活で知りたいことを話し合わせ、出てきた事柄についてグループを作らせ、グループ内で調べ学習を行わせる。主・対 	教科書 P58 ~ 67 辞書、タブレット端末等	① ③	総合的な探求の時間	イ㊦ イ㊧ A-イ A-オ
	10	<p>○表現力を高めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 挨拶の練習 敬語を使う 	<ul style="list-style-type: none"> 相手との言葉のやりとりを意識しながら、その場に合った言葉遣いと態度が表現できる。(知・技) 	2	<p>○敬語を使って挨拶の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月にある個別実習を意識しながら、言葉遣いや話す内容に気を付けて相手に正しく伝わるようにさせる。対・深 	教科書 P92 ~ 99	① ②	生活単元学習 作業学習	ア㊦

	11	○産業現場等における実習 ・実習 ・お礼状作成 ・電話をかける	・個別実習先を意識して、自分の聞きたいことを捉え、内容を理解したり尋ねたりすることができる。(思・判・表) ・企業や福祉施設で学んだことを通して、書く材料を整理しながら、伝えたいことを明確に書くことができる。(思・判・表)	3	○電話の対応の仕方について実践し、お礼状の書き方を知る。 ・電話の対応では、個別実習先に合わせて話す順番や内容を考えさせ、繰り返し練習させる。 主・対 ・お礼状は、現場実習や校外体験学習等で学んだことを実習日誌やしおりをもとに練習用と清書用に分けて書かせる。 主	くらしに 役立つ国 語 P24～ 33	①	生活単元学習 作業学習	A- ア B-ア
	12	○冬の生活 ・年賀状を書く	・形式に沿って、文や文章で漢字と仮名を使い分けることができる。(知・技) ・相手の立場や年齢を意識し、間違いを正しながら書く内容を明確にすることができる。(思・判・表)	2	○冬の生活について調べ、年賀状を作成する。 ・教科書を提示し、冬の風物、自然を表現する言葉や年末年始の行事、その意味を読み物資料等から調べさせる。 主・深 ・教科書や手紙の書き方等の提示した書式を参考にさせ、絵はがきや往復はがきの書き方も確認させる。 主	くらしに 役立つ国 語 P34	①	生活単元学習	ア㊦
3	1	○あいさつや会話をする力を高めよう 1 あいさつ 2 しっかりと聞いて話そう 3 ごめんなさい 4 断りを言う	・相手との言葉のやりとりを意識しながら、その場に合った言葉遣いと態度が表現できる。(知・技)	3	○教科書に沿って言葉遣いに気を付けながらあいさつや会話をする。 ・個別実習を意識しながら、言葉遣いや話す内容に気を付けて相手に正しく伝わるようにさせる。 対・深	教科書 P100～ 106	① ③	生活単元学習	ア㊦
	2	○履歴書の書き方	・履歴書に沿って、文や文章で漢字と仮名を使い分けることができる。(知・技) ・自分の考えや考えを支える理由をまとめ、形式に沿って工夫して書くことができる。(思・判・表)	2	○履歴書を作成する。 ・履歴書の書き方に慣れさせ、将来希望する職業に沿った自分の考えとその理由をまとめさせる。 主・深	くらしに 役立つ国 語 P107 履歴書 原稿用紙	① ②	生活単元学習 作業学習	ア㊦ B-ウ

3	<p>○1年間のまとめ</p> <p>・わたしの物語を書こう</p>	<p>・家族や友達に話を聞いたり、自分で調べたりして情報と自分の考えをつなぐことができる。(知・技)</p> <p>・集めた情報をもとに、自分の考えを理由付けて書くことができる。(思・判・表)</p> <p>・間違いを正したり、確かめたりして文や文章を整えることができる。(思・判・表)</p>	3	<p>○3年間を振り返りながら、自分の物語を作成する。</p> <p>・教科書やワークシートをもとに、インタビューをすることや、これまで学習してきたことを振り返らせ、私の本を作成させるために必要な情報を集めさせる。主</p> <p>・高等部に入学してから3年間を振り返らせ、成長した自分やこれまでの思い出、感想を書かせる。主・深</p>	<p>くらしに役立つ国語 P88～</p>	①	生活単元学習	<p>イ⑦⑧</p> <p>B-ウ</p> <p>B-エ</p>
---	------------------------------------	---	---	--	-----------------------	---	--------	----------------------------------

※授業形態 ①一斉 ②グループ ③個別

高等部 年間指導計画		1・2学年	教科・領域名（ 数学 ）	年間指導時数	52.5 ～60				
指導目標		<p>○日常生活や社会生活で起きる具体的な場面から数および計算の知識や技能を身につけ、活用することができる。(知識・技能)</p> <p>○生活場面ででてくる時刻、長さ、重さなど測定に関わる意味、はかり方などについて比べたり、表現したりすることができる。(思考力・判断力・表現力等)</p> <p>○体験的な活動や具体的な場面でのデータを簡単な表などに表したり、それを読み取ったりすることができる。(学びに向かう力、人間性等)</p>							
学期	月	単元（題材）	単元（題材）目標	時数	学習活動内容 指導の手立て	教材等	授業形態	関連する教科	学習指導要領位置づけ
I	4	力試し（数と計算、図形、測定、データの活用 の領域が入った問題）	<p>【1・2段階】</p> <p>○力試しの問題を解くことができる。(知・技)</p>	4	<p>○力試しの演習問題を解く。</p> <p>・入学説明会時に実態把握のために行ったテストに似た問題を活用する。</p>		① ③	生単 国語	
	5	数と計算	<p>【1段階】</p> <p>○位置を表すことができる。(思・判・表)</p> <p>○100までの数の表し方を考えることができる。(知・技)</p> <p>-----</p> <p>【2段階】</p> <p>○大きい数（10,000まで）の大きさが分かり、記号（等号・不等号）を使って表すことができる。(知・技)（思・判・表）</p> <p>○四則計算（足し算、引き算、かけ算、わり算）の問題について正確に解くことができる。(知・技)</p>	5	<p>○右(左)、上(下)から何番目、いくつ</p> <p>・具体物を使って確認しながら学習を行う。</p> <p>○数唱、順序数、2、5ずつのまとまりで数える。</p> <p>・身近な具体物を使って、実際に○ずつ集める。</p> <p>-----</p> <p>○大きい数の大小（等号・不等号）</p> <p>・記号の意味を知らせ、統合や不等号を用いて数量の関係を正しく表すことができるようにする。</p> <p>○3桁・4桁の足し算、引き算</p> <p>・生活に関わる具体的な数字を使用する。また、位取りを意識し、繰り上がりや繰り下がり に気を付けて正確に計算できるようにする。</p> <p>○1桁のかけ算</p> <p>・かけ算九九を使って計算する。</p>		①	日生 生単	
	6	変化と関係	<p>【1段階】</p> <p>○いろいろ比べることができる。(思・判・表)（学・人）</p> <p>○時計の時刻を読み取ることができる。(知・技)（学・人）</p>	5	<p>○長さ、広さ、かさなど</p> <p>・実際に計測して違いを感じたり、単位の使い方を学んだりする。</p> <p>○何時、何時半</p> <p>・時刻と時間の違いを理解したり、時計を見て考えたりできるようにする。また、生活場面を想定した時刻を繰り返し練習する。</p>		① ②	日生 生単 理科	

		<p>【2段階】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2つの数量を比べて、関係や変化の様子に気付くことができる。(思・判・表) 		<ul style="list-style-type: none"> ○2つの数量を比べる(安い・高い、低い・高い等) <ul style="list-style-type: none"> ・数字の関係に気を付け、買い物や衣服の寸など、実生活に基づいた比較を行う。 ○表を比べて、○ずつ増える、減る等に気づけるようにする。(比例) <ul style="list-style-type: none"> ・伴って変わる2つの量を表に表し、対応と変化を見ながら、比例の意味を理解させる。 				
7	数と計算	<p>【1段階】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○お金の種類を知り、お金を読んだり、出したりすることができる。(知・技) ○場面を理解し、それにあつた計算の方法を考えて問題を解くことができる。(思・判・表) <p>【2段階】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活に必要な金銭の取り扱いができる。(思・判・表) ○計算機を使って、合計金額やおつりを計算することができる。(知・技) 	5	<ul style="list-style-type: none"> ○品物とお金の交換やお釣りの意味を体験する。 ○指示した金額がすぐ出せるように繰り返し練習する。 ○1けたおよび2けたの足し算、引き算をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・全体としては、機械的な計算とは別に、具体物を動かしたり、場面を想像したりしながら場面の理解をしっかりと行い、増えるのか、減るのかをつかませた上で計算するようにさせたい。 ○買い物学習(支払いの仕方、おつりの計算、硬貨と紙幣の組み合わせ) <ul style="list-style-type: none"> ・具体物やイラストカード等を使い、実際の買い物場面を想定して行う。 ○計算機の使い方 <ul style="list-style-type: none"> ・電卓やタブレットの計算機能の使用方法を確認する。 		①	日生生単家庭	
2	9	数と計算	5	<ul style="list-style-type: none"> ○1学期の学習を振り返り、2学期の大まかな見通しを持たせる。 ○実際のお金を使い、操作しながら学習させる。 <ul style="list-style-type: none"> ※実際のお店の広告を持ち寄り、意欲を持たせる。 ※買い物の経験をしながら、指定された金額を正確に出すことも大切であるが、代金に見合ったお金を出すということも大事にする。 ○買い物学習(予算内での買い物) ○わり算(2桁と1桁) <ul style="list-style-type: none"> ・どんな場面でわり算を使うのかを確認し、式の立て方を知る。計算が難しい場合は計算機を使用する。 ○具体物を分けてみよう <ul style="list-style-type: none"> ・予算を決めて予算内の物を買う練習をする。 		① ②	日生生単	
	10	図形	9	<ul style="list-style-type: none"> ○見本の図を見て、同じように作図する。 		①	日生	

		<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な形を組み合わせて、いろいろな形を作ることができる。(知・技) ○身近にある形の違いに気づき、図形をつくることができる。(思・判・表) 					生単 家庭	
	11	<ul style="list-style-type: none"> ○変化と関係 ○数と計算 	<ul style="list-style-type: none"> 【1段階】 ○表にまとめ、わかることをまとめることができる。(思・判・表) ○場面を理解し、それにあつた計算の方法を考えて問題を解くことができる。(知・技) ○模擬買い物を通し、お金の出し方、おつりの計算をすることができる。(知・技) 	5	<ul style="list-style-type: none"> ○気温の変化を表やグラフに書いて、変化が分かる。 ○アンケートやゲームの結果を表にまとめたり、表から読み取れることを学習したりする。 ○1けた～3けたの足し算、引き算 ○かけ算九九を使ったかけ算、割り算 ※最初には、場面の理解ができていないかを確認、難しい生徒には、以前の学習を思い出させ、計算するように支援する。(動作化してみる) ○実際のお金を使い、操作しながら学習させる。 ※実態に応じては筆算をしたり、計算機を使用したりする。 		① ②	生単 美術 日生 生単 理科 保健 体育
	12		<ul style="list-style-type: none"> 【2段階】 ○データを表やグラフで表したり読み取ったりすることができる。(知・技)(学・人) ○小数の表し方を知り、簡単な計算をすることができる。(知・技) 		<ul style="list-style-type: none"> ○表の作成と読み取り ・気温や降水量、体温、身体計測、スポーツテストの記録等の身近なものを表にする。読み取ったことをまとめたり、気づいたことを発表したりする。 ○少数の表し方を知る。(数直線) ○生活の中で使われている少数を探す。 ○少数の足し算、引き算 ・数直線の紙を使用しながら確認する。 			
3	1	データの活用	<ul style="list-style-type: none"> 【1段階】 ○表にまとめ、わかることをまとめることができる。(学・人) 	5	<ul style="list-style-type: none"> ○アンケートやゲームの結果を表にまとめたり、表から読み取れることを学習したりする。 ※生徒にとって関心のあること(好きな食べ物、給食)のアンケートしながら学習の意欲付けをはかる。 		①	日生 生単

		<p>【2段階】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○データの収集とその分析を行うことができる。(思・判・表) ○測定した結果を平均して求めることができる。(知・技) 		<ul style="list-style-type: none"> ○円グラフ、帯グラフ、複数のグラフを比較し、平均を求めることができる。 				
2	図形	<p>【1段階】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○身の回りのものの形に関心を持ち、分類したり、集めたりして、形の性質に気付くことができる。(知・技) <p>【2段階】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平面図形の面積の求め方について知り、理解することができる。(知・技) ○立方体、直方体の種類を知り、展開図を書くことができる。(知・技) 	5	<ul style="list-style-type: none"> ○上下・前後・左右の位置関係を座席の順番等で確認したり、見本を見ながら描いたりして作図に挑戦する。 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ○面積の単位を知る。 ○三角形や四角形（長方形、正方形、平行四辺形）の面積の求め方を知る。 ・さまざまな図形のカードを種類ごとに分け、面積を求めさせる。 ○三角形や四角形の面積の求め方の考え方を使得、複雑な図形の面積の求め方についても考える。 ○立方体と直方体の特徴を知る。 ・様々な箱を準備し、分類させる。 ○立方体、直方体の展開図を書く。 ・実際に箱を切り開き、展開図を書かせる。 		① ②	生単 美術	
3	学年のまとめ	<p>【1・2段階】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1年間の学習を振り返り、復習をすることができる。(学・人) 	4	<ul style="list-style-type: none"> ○苦手な単元を中心に復習する。 		① ③	生単	

※授業形態 ①一斉 ②グループ ③個別

高等部 年間指導計画		3年	教科・領域名(数 学)			年間指導時数	60			
指導目標		<p>○日常生活や社会生活で起きる具体的な場面から数および計算の知識や技能を身につけ、活用することができる。(知識・技能)</p> <p>○生活場面ででてくる時刻、長さ、重さなど測定に関わる意味、はかり方などについて比べたり、表現したりすることができる。(思考力・判断力・表現力等)</p> <p>○体験的な活動や具体的な場面でのデータを簡単な表などに表したり、それを読み取ったりすることができる。(学びに向かう力、人間性等)</p>								
学期	月	単元(題材)	単元(題材)目標	時数	学習活動内容 指導の手立て	教材等	授業形態	関連する教科	学習指導要領位置づけ	
I	4	力試しをしよう (数と計算、図形、測定、データの活用の領域が入った問題)	<p>【1・2段階】</p> <p>○力試しの問題を解いてみよう。(グループの生徒の大まかな実態をつかむ)(知・技)</p>	3.5	<p>○力試しの問題を解く。(説明会時の実態把握の問題に似た問題などを使って)</p> <p>・安心して挑めるような言葉かけをする。㊦</p>		① ② ③			
	5	数と計算	<p>【1段階】</p> <p>○位置を表すことができる。(思・判・表)</p> <p>○100までの数の表し方を考えることができる。(知・技)</p> <hr/> <p>【2段階】</p> <p>○万、億、兆の単位まで理解することができる。(知・技)</p> <p>○おおよその数、四捨五入について理解することができる。(思・判・表)</p>	5	<p>○右(左)、上(下)から何番目、いくつ</p> <p>・具体物を使って確認しながら学習する。㊦・㊧</p> <p>○数唱、順序数、2、5ずつのまとまりで数える。</p> <p>・身近な具体物を使って、実際に○ずつ集める。㊦・㊧</p> <hr/> <p>○大きな数の足し算、引き算、筆算</p> <p>・授業の始まりには、筆算の方法を思い出すようにする。㊦・㊧</p> <p>○小数の足し算、引き算</p> <p>・目盛のついた容器を使い、水の足し引きで理解する。㊦・㊧</p> <p>○分数のかけ算、割り算</p> <p>・基礎の計算を繰り返し行う。㊦</p>		① ②			
	6	変化と関係	<p>【1段階】</p> <p>○いろいろ比べることができる。(思・判・表)</p> <p>○時計の時刻を読み取ることができる。(思・判・表)</p>	5	<p>○長さ、広さ、かさなど</p> <p>・身近にある教室の広さを図ったり、コップによって入る水の量が違ったりすることに気づくようにする。㊦・㊧</p> <p>・身近な物の長さや重さをはかる。㊦</p> <p>○何時、何時半</p> <p>・短針と長針の動きを正確に捉える。㊦</p> <p>・針の操作をする。㊦・㊧</p>		① ②			

			<p>【2段階】</p> <p>○数量を比べて、関係や変化の様子に気付くことができる。(学・人)</p>		<p>○数量を比べ、数量の関係を表す式で求めることができる。</p>				
	7	数と計算	<p>【1段階】</p> <p>○お金の種類を知り、お金を読んだり、出したりすることができる。(思・判・表)</p> <p>○場面を理解し、それにあった計算の方法を考えて問題を解くことができる。(知・技)</p>	5	<p>○品物とお金の交換やお釣りの意味を体験する。</p> <p>・具体物を使い、実際に操作する。【国・深】</p> <p>○指示した金額がすぐ出せるように繰り返し練習する。</p> <p>・場面を想像したりしながら場面の理解を促す。【国・図】</p> <p>○1けたおよび2けたの足し算、引き算をする。</p> <p>・桁数や繰り上がり(下がり)の有無について、実態に応じた問題を用意する。【国】</p>				
			<p>【2段階】</p> <p>○生活に必要な金銭の取り扱いができる。(思・判・表)</p> <p>○計算機を使って、合計金額やおつりを計算することができる。(知・技)</p>		<p>○買い物学習(支払いの仕方等)</p> <p>・模擬レジをとおして、一連の流れを確認する。【国】</p> <p>○生活費、小遣い帳の計画を立てる。</p> <p>・レシートや領収証の見方を踏まえた上で計画を立てる。【国・深】</p> <p>○生活に必要な支払い方法を身につけることができる。(ネットショッピング等)</p> <p>・様々な支払い方法があることを知る。【深】</p>				
2	9	○数と計算	<p>【1段階】</p> <p>○1学期の学習を振り返り、2学期の大まかな学習の予定をすることができる。(学・人)</p> <p>○模擬買い物を通し、お金の出し方、おつりの計算をすることができる。(思・判・表)</p>	5.5	<p>○1学期の学習を振り返り、2学期の大まかな見通しを持たせる。</p> <p>・解いてきた問題も1問ずつ出題し、学習したことを思い出せるようにする。【国】</p> <p>○指示した金額がすぐ出せるように繰り返し練習する。</p> <p>・実際のお金を使い、操作しながら学習させる。【国・図】</p>			① ②	
			<p>【2段階】</p> <p>○1学期の学習を振り返ることができる。(学・人)</p> <p>○消費税について知り、小数のある計算をすることができる。(思・判・表)</p> <p>○割引の計算ができる。(知・技)</p>		<p>○1学期の学習を振り返る。</p> <p>・解いてきた問題も1問ずつ出題し、学習したことを思い出せるようにする。【国】</p> <p>○消費税を計算することができる。</p> <p>・計算機での算出方法を学習する。【国】</p> <p>○割引○%などを理解し、金額を算出して比較することができる。</p> <p>・大まかな金額を素早く計算し、比較を早く</p>				

				できるようにする。[深]				
10	○図形	<p>【1段階】</p> <p>○基本的な形を組み合わせて、いろいろな形を作ることができる。(知・技)</p> <p>○身近にある形の違いに気づき、図形を作ることができる。(思・判・表)</p> <p>【2段階】</p> <p>○図形の種類について知り、身の回りにある形の種類やおよその面積など求めることができる。(知・技)</p>	7	<p>○見本の図を見て、同じように作図する。</p> <p>・三角、四角、丸の特徴を理解し、瞬間的に判断できるように問題を出す。[圭]・[深]</p> <p>○平面図形(平行四辺形、ひし形、台形)や立体図形(立方体、直方体)の性質を理解し、見取り図や展開図で表すことができる。</p> <p>・理解できるまで平面図や展開図を組み立てたり、崩したりする。[圭]</p> <p>○面積や体積を求めることができる。</p> <p>・求めるための公式を繰り返し学習し、基礎問題を多く解く。[圭]・[深]</p>			① ②	
11	○変化と関係 ○数と計算	<p>【1段階】</p> <p>○表にまとめ、わかることをまとめることができる。(学・人)</p> <p>○場面を理解し、それにあった計算の方法を考えて問題を解くことができる。(知・技)</p> <p>○模擬買い物を通し、お金の出し方、おつりの計算をすることができる。(思・判・表)</p>	7	<p>○気温の変化を表やグラフに書いて、変化が分かる。</p> <p>・アンケートやゲームの結果を表にまとめたり、表から読み取れることを学習したりする。[深]</p> <p>○1けた～3けたの足し算、引き算</p> <p>・桁数や繰り上がり(下がり)の有無について、実態に応じた問題を用意する。[圭]</p> <p>○かけ算九九を使ったかけ算、割り算</p> <p>・かけ算九九を声に出して音読し、少しでも覚えられるようにする。[圭]</p> <p>○買い物学習(支払いの仕方等)</p> <p>・実際のお金を使い、操作しながら学習させる。[圭]・[図]</p>			① ②	理科
12		<p>【2段階】</p> <p>○伴って変わる2つの数量の関係を理解し、比の表し方や等しい比など求めることができる。(思・判・表)</p>		<p>○身近なものの単位を知ることができる。</p> <p>・長さ、重さ、かさの単位を一覧にし、一目で分かるものを準備する。[圭]</p> <p>○身の回りにあるものの重さや長さを測り、異なる2つの数量を比較してみよう。</p> <p>・具体物を比較し、数量の違いを感覚的にも理解できるようにする。[圭]・[図]</p>				

3	1	データの活用	<p>【1段階】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○表にまとめ、わかることをまとめることができる。(学・人) <p>-----</p> <p>【2段階】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○データの収集とその分析を行うことができる。(学・人) ○測定した結果を平均して求めることができる。(知・技) 	5	<ul style="list-style-type: none"> ○アンケートやゲームの結果を表にまとめたり、表から読み取れることを学習したりする。 ・関心を高められるものを題材にしてアンケート実施やゲームを行う。[対] <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ○円グラフ、帯グラフ、複数のグラフを比較し、平均を求めることができる。 ・グラフの特徴の理解を丁寧に説明する。[主・対] 		① ②	家庭	
	2	数と計算	<p>【1段階】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○場面を理解し、それにあつた計算の方法を考えて問題を解こう。(知・技) ○模擬買い物を通し、お金の出し方、おつりの計算をしてみよう。(思・判・表) <p>-----</p> <p>【2段階】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○時間の単位関係を理解し、計算することができる。(思・判・表) 	6	<ul style="list-style-type: none"> ○1けた～3けたの足し算、引き算 ・桁数や繰り上がり(下がり)の有無について、実態に応じた問題を用意する。[主] ○かけ算九九を使ったかけ算、割り算 ・かけ算九九を声に出して音読し、口と耳から覚えられるようにする。[主・深] ○買い物学習(支払いの仕方等) ・模擬レジをとおして、一連の流れを確認する。[対] <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ○時刻表などを見て、予定や計画を立てることができる。 ・生活圏にある、実際の時刻表を使って計画を立てるようにする。[主・対] ○行動にかかる時間の見通しをもつことができる。 ・歩くスピードや自転車のスピードの違いを理解し、かかる時間の違いを分かるようにする。[主・深] 		① ②	家庭	
	3	1年間のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○1年間の学習を思い出そう。(学・人) 	5	<ul style="list-style-type: none"> ○1年間の学習の振り返り ・解いてきた問題も1問ずつ出題し、学習したことを思い出せるようにする。[主] 		① ② ③		

※授業形態 ①一斉 ②グループ ③個別

高等部年間指導計画		第1 学年	(通常) グループ	教科・領域名 (生活単元学習)			年間指導時数	105	
指導目標		<p>○自立した生活や社会参加に向けて、実際の・総合的に学習し、社会の一員として必要な知識や技能を習得する。(知識・技能)</p> <p>○・生活の自立に必要な実践的な技能を身に付けたり、豊かな生活の実現に向けて生活を工夫し主体的、実践的に考えようとする事ができる。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>○様々な単元の活動を通して、生活上の望ましい習慣や態度を身につける。(学びに向かう力・人間性等)</p>							
学期	月	単元(題材)	単元(題材)目標	時 数	学習活動内容 指導の手立て	教材等	授業 形態	関連する 教科	学習指導要領 位置づけ
1	4	<p>○新しい学校・学級</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・私の目標 ・学級設営 ・時間割 ・学級目標 ・1年間の主な行事 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や学級のきもりや係活動の内容を理解することができる。 ・自己紹介で、自分のことについて友達に伝えることができる。 ・入学の喜びを味わい、新しい環境に進んで取り組もうとする。 ・学校の行事や1日の流れについて理解する。 ・学級目標や学級での役割分担などについて、友達と話し合いながら決めることができる。 	10	<p>○学校の名称や教師や友達の名前を覚える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校内の施設や場所の確認や、使用時のきまりを知る。主 <p>○集団生活での決まりや守ることの大切さ、友達と協力し合うことのよさについて考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・係分担では、活動内容を明確に提示し、友達と話し合いながら決める。主・対 <p>○教室に提示する、年間行事や時間割、学級目標を作成する。</p>	画用紙	①	国語 数学 美術 家庭 道徳 特別活動	国-1 社-1
	5	<p>○学級園の整備</p> <p>○体育発表会 ・グッズ作成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・植物に関する知識を深め、観察などの技能を身に付けることができる。 ・体育祭の決まりや競技内容を理解する。 	6 9	<p>○タブレット端末を活用し、夏野菜の種類や育て方について調べて、まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の体育会の写真や動画などを見て、体育祭に見通しを持つ 	<p>単手 移植ごて 植物の苗 うちわ 色鉛筆・ペン</p>	① ①	国語 数学 保体 美術	国-1 理-1 体-1 美-1

	<ul style="list-style-type: none"> ・事前準備 ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育祭の練習を準備を通して、最後まで粘り強く取り組もうとする。 		<ul style="list-style-type: none"> つ。<u>主</u> ・応援に適したグッズづくりや、家族への招待状を作成する。 <u>対・深</u> 	両面テープ			
6	<ul style="list-style-type: none"> ・○産業現場等における実習事前学習 ・実習の流れ ・目標決め ・自習日誌 ・挨拶の練習 ・実習場所の準備 ○産業現場等における実習事後学習 ・振り返り ・お礼状 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の目的や内容、自分の作業内容を知り、社会人として望ましい勤労態度や対人関係の持ち方、規律、集団行動を身に付けることができる。 ・校内での実習に向けて、自分の目標や心構えを明確にもち、主体的に実習に取り組むことができる。 	10 2	<ul style="list-style-type: none"> ○事前学習に取り組む。 ・実習事前学習を通して、高等部の進路学習と現場実習について知る。<u>主</u> ・校外実習、校外実習、個別実習の目的や内容、実習先について知る。<u>主</u> ・校内班での作業内容、1日のスケジュール、決まり、準備物、服装について知る。 ・作業学習での取り組みや学校生活を振り返りながら、働くために必要な力を考えさせ、実習の目標を立てることができる。<u>対・深</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 日誌 事前プレゼン画用紙 練習用お礼状 模造紙 ワークシート 写真 		<ul style="list-style-type: none"> 国語 数学 職業 国語 職業 	<ul style="list-style-type: none"> 職－1 国－1 職－1 国－1
7	<ul style="list-style-type: none"> ○夏の生活 ・大雨や台風などの自然災害 ・体調管理 ・熱中症対策 ○1学期を振り返り ○夏休みに向けて 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の変化に関心を持ち、熱中症対策など、健康管理に関する知識を身に付ける。 ・夏の災害について知り、どんな危険や健康被害が想定できるのか考えることができる。 ・夏休みの計画を立て、生活リズムを整えることができる。 	2 2 2	<ul style="list-style-type: none"> ○タブレット端末を活用し、夏の自然災害への備えについて調べ、まとめる。 ・夏の気象の特徴や、変化について知り、暑さに負けないための体力づくりの仕方を考える。<u>主</u> ・夏休みの過ごし方、1日のスケジュール、課題等について考える。<u>主</u> 	<ul style="list-style-type: none"> タブレット端末 ワークシート 1学期の写真 ワークシート 夏休みのしおり 	① ①	<ul style="list-style-type: none"> 国語 家庭 数学 保健 理科 特別活動 	<ul style="list-style-type: none"> 国－1 理－1 数－1 国－1 数－1

2	9	<p>○夏休みの振り返り</p> <p>○2学期に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事 ・係活動 <p>○進路学習</p>	<p>・夏休みの生活を振り返り、自分の生活態度について考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2学期の生活や行事に見通しをもち、意欲的に取り組もうとする。 ・集団生活のルールや自分の役割を理解し、責任をもって行動することができる。 ・自分の興味のある仕事について調べることができる。 ・先輩の就職先や、働く様子を知ること、卒業後の生活について興味・関心をもつことができる。 	<p>2</p> <p>2</p> <p>3</p>	<p>○夏休み中の家庭での生活や健康管理を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの発表を行い、友達の発表にも興味関心を持たせる。 <p>主・対</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2学期の行事について知り、自分の2学期の目標を、学習、生活、家庭毎に分けて考えるようにする。主・深 ・職業に関する調べたことをワークシートにまとめ、発表する。 <p>対・深</p>	<p>夏休みの日記</p> <p>ワークシート</p> <p>タブレット端末</p>	①	<p>国語</p> <p>家庭</p> <p>数学</p> <p>保体</p> <p>職業</p>	<p>国-1</p> <p>数-1</p> <p>職-1</p> <p>職-1</p>
	10	<p>○都きり祭ウィーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ別研修 ・準備、片付け <p>○校外体験学習</p>	<p>・昨年度の都きり祭を振り返り、今年度の企画・準備の計画を立てることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校外でのマナーや決まりを理解し、安全に交通機関や公共施設を利用することができる。 ・計画に見通しをもち、活動の目的を理解し行動することができる。 	<p>8</p> <p>3</p>	<p>○都きり祭の目的や期日、活動内容を確認し、準備や練習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の都きり祭の写真や動画を見て、活動に見通しをもたせる。 <p>主</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備、片付けは役割分担を明確に提示し、計画的に行えるようにする。主 ・校外体験学習の事前学習を通して、期日、日程、決まり、交通手段等の流れをワークシートにまとめる。深 ・訪問先へのお礼状やまとめを行い、発表する。 	<p>作業販売商品</p> <p>長机</p> <p>清掃道具</p> <p>しおり</p>	②	<p>①</p> <p>国語</p> <p>家庭</p> <p>数学</p> <p>社会</p> <p>特別活動</p>	<p>職-1</p> <p>社-1</p> <p>数-1</p> <p>社-1</p> <p>国-1</p>

	11	<p>○産業現場等における 実習事前学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の流れ ・目標決め ・自習日誌 ・挨拶の練習 ・実習場所の準備 <p>○産業現場等における 実習事後学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返り ・お礼状 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の目的や内容、自分の作業内容を 知り、社会人として望ましい勤 労態度や対人関係の持ち方、規律、 集団行動を身に付けることができ る。 ・前期の実習を振り返り、今回の実 習での目標や心構えを明確にもち、 主体的に実習に取り組むことがで きる。 	10 2	<p>○校内班での作業内容、1日のス ケジュール、決まり、準備物、 服装について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習中の家庭生活についても、 再度確認する。主 ・前期の実習の記録を振り返り、 今回の実習の心がまえを確認 し、実習の目標を決める。主 ・現場実習の感想文や、お世話に なった会社へのお礼状を作成す る。主・対 	<p>日誌 事前プレゼン 画用紙</p> <p>練習用お礼状 模造紙 ワークシート 写真</p>	① ②	<p>国語 数学 職業 家庭</p>	<p>職-1 国-1</p> <p>職-1 国-1</p>
	12	<p>○冬の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災 <p>○2学期の振り返り</p> <p>○冬休みの過ごし方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の変化に興味を持ち、寒さ対 策や健康管理に関する知識を身に 付ける。 ・火災についての、知識や備えを考 えることができる。 ・冬の生活や行事について理解し、 冬休みの計画や目標を立てること ができる。 	2 3 1	<p>○タブレット端末を火災について 調べ、自分たちでできる備えは 何かまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2学期の目標を振り返り、楽し かったこと、反省すべき点、成 果など発表を行う。主・対 ・冬休みの過ごし方について学習 し、1日のスケジュール、課題 等について考える。主 	<p>タブレット端末 ワークシート</p> <p>2学期の写真 ワークシート 冬休みのしおり</p>		<p>国語 数学 家庭</p>	<p>国-1 数-1 家-1 国-1 数-1</p>
3	1	<p>○新しい年</p> <p>○3学期に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事 ・係活動 ・目標 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬休みを振り返り、新しい年を新 しい気持ちでスタートしようをす る気持ちをもつことができる。 ・3学期の生活や行事に見通しをも ち、意欲的に取り組もうとする。 ・学校給食の意義、役割について知 ることができる。 	2 3 3	<p>○冬休みの思い出を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬休みの過ごし方について、生 活面や学習面を振り返る。主・ 対 ・給食感謝週間の期日、意義につ いて知り、どんな取り組みをす るのか話し合う。対・深 	<p>ワークシート</p>	①	<p>国語 職業 家庭 美術</p>	<p>職-1 国-1</p>

	○給食感謝週間	・給食従事者の仕事について知り、感謝の気持ちをもつことができる。		○給食従事者（栄養士、調理師）の仕事について調べる。 ・感謝の気持ちを伝える作品づくりに取り組む。主・深	模造紙 画用紙 のり・はさみ			職－ 国－ 家－
2	○生徒会役員選挙 ・政治、選挙について ・選挙運動 ・模擬選挙 ○お別れ遠足	・生徒会役員選挙の仕組みについて 知ることができる。 ・生徒会役員選挙に進んで参加 することができる。 ・お別れ遠足の目的・内容について 知ることができる。 ・卒業生への感謝の気持ちをもつ ことができる。	3 4	○生徒会の役割、選挙の仕組みに ついて学習する。 ・立候補者の演説を聞き、学校の ために行動できる候補者を考え る。主 ・卒業生への感謝の気持ちをもち、 お別れ遠足の計画、準備を友達 と協力して行う。主・対	事前プレゼン	①	国語 社会 職業 家庭	国－ 社－ 国－ 社－
3	○進級 ○1年間を振り返って	・1年間の学習を振り返り、2年生 になる心構えをもつことができる。 ・進級することへの喜びを味わい、 2年生への新しい環境での学習に意 欲をもつことができる。	3 3	○1年間の生活面、学習面を振り 返る。 ・教室の清掃、持ち物の整理整頓 を行う。 ・1年間の思い出や反省を発表し 合う。対・深	1年間のアルバム 清掃活動	①	国語 家庭 特別活 動	国－ 社－ 国－

※授業形態 ①一斉 ②グループ ③個別

高等部 年間指導計画		第1学年	B,C グループ () Aグループ	教科・領域名 (生活単元学習)			年間指導時数	B 123 A (158)	
指導目標		<p>○自立した生活や社会参加に向けて、实际的・総合的に学習し、社会の一員として必要な知識や技能を習得する。(知識・技能)</p> <p>○自分の考えを伝えたり、友達の意見を聞いたりしながら話し合いやまとめ作業の活動をする。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>○様々な単元の活動を通して、生活上の望ましい習慣や態度を身につける。(学びに向かう力・人間性等)</p>							
学期	月	単元(題材)	単元(題材)目標	時数	学習活動内容 指導の手立て	教材等	授業形態	関連する教科	学習指導要領位 置づけ
I	4	○新しい学校生活	<p>○様々な人達との交流や環境に慣れることができる。(学・人)</p> <p>○学級の友達や教師の名前を覚え、挨拶することができる。(思・判・表)</p> <p>○1年間の行事を知り、年間の学校生活について見通しをもつことができる。(知・技)</p>	5 (7)	<p>○新しい学級や学年について知る。</p> <p>・写真や名前をわかりやすく知らせる。主</p> <p>○自己紹介カードを作成し、発表する。</p> <p>・自分の好きなものやことを、イラストや写真などから選択させる。主・対</p> <p>・自分の名前を教師と一緒になぞったり、名前カードの両面テープをはがしたりする。主・対</p>	教師・生徒の写真 名前カード 画用紙 イラスト 写真 画用紙 PC 大型モニター	① ③	国語 国語	A—ア A—ウ A—エ
		○学部集会	○学部集会に参加し、自己紹介をすることができる。(学・人)	2 (3)	<p>○学級の友達の前で発表をする。</p> <p>・自分のできる方法(音声代替機・タブレット端末な)を選択し、相手に伝えやすい方法を見つけさせる。対・深</p> <p>○学校生活や、行事予定の確認をする。</p> <p>・1年間の学校生活や主な行事について、映像や写真を用いる。主</p> <p>○学部集会に参加する。</p> <p>・自己紹介の練習の時間を設ける。対・深</p>		① ③	社会	A—ア⑦

	<p>5 ○体育発表会</p> <p>○夏野菜を育てよう</p>	<p>○日時や場所、内容などについて知り、練習や本番に参加することができる。(知・技)</p> <p>○集団での活動に参加し、友達と協力して体育発表会競技の練習、応援を行うことができる。(思・判・表)</p> <p>○応援グッズを作り、応援の練習をすることを通して体育発表会を楽しみにすることができる。(学・人)</p> <p>○身の回りの植物や野菜に親しみをもち、植物の栽培や観察などの活動を進んで取り組もうとすることができる。(学・人)</p> <p>○自然の事物・事象について理解をすることができる。(知・技)</p>	<p>6 (7)</p> <p>○体育発表会について学習する。</p> <p>・過去に行われた体育発表会の映像や写真を見て、体育発表会のイメージをもたせる。主・対</p> <p>・競技内容を具体的に提示し、繰り返し練習に取り組ませる。主・深</p> <p>○体育発表会に向けて準備をする。</p> <p>・応援グッズ製作において、好きな素材を選択し、応援への意欲を高める。主・深</p> <p>○体育発表会を振り返る。</p> <p>・写真や動画などを見て、体育発表会を振り返る時間を設ける。主</p> <p>・二つの選択肢から、体育発表会の感想を選ばせる。対・深</p> <p>4 (7)</p> <p>○夏野菜を植える準備をする。</p> <p>・写真やイラストの中から、育ててみたい野菜を選ばせる。対・深</p> <p>・道具を安全に使う土や肥料を準備する。主</p> <p>○夏野菜を育てる。</p> <p>・種や苗に触れ、その感触を確かめながら、プランターや畑に植える。主</p> <p>・定期的に写真を撮るなど、観察と記録ができるようにする。対・深</p>	<p>PC 大型モニター はちまき 応援グッズに必要な材料(ペットボトル、平テープ、スズランテープなど) 折り紙 花紙 花子ちゃん 両面テープ のり 写真 プランター 種、苗、肥料、土など</p>	<p>① ① ② ① ③ ① ② ③</p>	<p>体育 体育 数学 美術 国語 美術 理科</p>	<p>A—ア A—ウ A—(イ) ㊦ A—ア (ア)、(イ) A—イ、ウ A—ア (ア)、(イ) Aア(ア) ㊦、①</p>
--	----------------------------------	--	---	--	--	---	--

6	○産業現場等における実習	○職業生活に必要な能力を高め、実践的な態度を身につける。(学・人) ○実習の内容を知ることができる。(知・技) ○実習を振り返り、まとめをしたり、お礼状を書いたりすることができる。(思・判・表)	7 (8)	○作業、余暇活動の内容を知る。 ・一緒に活動する教師、生徒をわかりやすく知らせる。☑ ・昨年度の写真や動画を見せるなどして、作業の内容を具体的に伝える☑主・対 ○実習のまとめをする。 ・なぞり書きをしたり、イラストを貼ったり、自分のできる方法を選択させる。☑主・対	教師。生徒の写真活動のイラストや写真	① ②	社会	ア(ア)④ (イ)⑦
	○季節の行事(七夕)	○日本の生活の中の伝統文化に親しむために、七夕の由来を知り、願い事を書くことに興味をもてるようにする(学・人) ○はさみやのりを使いながら、自分のイメージを形にすることができる。(思・判・表)	8 (9)	○七夕の由来を知る。 ・タブレット端末を使用し、由来を調べることで、七夕への興味関心を高める。☑主・対 ・2～3つの選択肢の中から、願い事を選ばせる。☑対・深 ○七夕飾りを作る。 ・実際の笹や七夕飾りの画像、七夕祭りの様子を視聴し、作りたいものへのイメージを膨らませる。☑主・深	写真 イラスト タブレット端末等はさみのり 折り紙等	① ③	国語	Bーア Aイ
7	○夏の生活	○気候に合わせて、健康管理や体調について考えることができる。(学・人)	2 (2)	○夏の健康管理について方法を知る。 ・暑い時はどうすれば涼しくなるか、様々なグッズを使って体感させる。☑主 ・熱中症対策にはどんなものがあるか、タブレット端末を使って調べさせる。☑主・対	イラスト タブレット端末等 扇風機 保冷剤 冷感グッズなど	①	保健 体育	Iーアイ
	○夏野菜を収穫しよう	○野菜の特徴やその生長の様子について確認し、収穫の喜びを味わうことができる。(知・技)	6 (9)	○野菜の生長を確認する。 ・植え付けの時の苗の様子と、現在の様子を写真を見比べることによって実感させる。☑主・深 ○収穫をする。 ・それぞれに合った収穫の方法で収穫させる。 ・生で食べられるものについては、採れたてを試食し、野菜の味を感じさせる。☑対・深		①	理科 数学	Aア(ア) Aイ
	○夏休みの過ごし方	○夏休みの計画を立て、規則正しい生活を意識することができる。(学・人)	1 (3)	○夏休みの過ごし方について知る。 ・クイズ形式にするなど、望ましい生活習慣について考えさせる。☑対	イラスト カレンダー等	①	国語	Aイ

2	9	○2学期に向けて	○1学期の活動について振り返り、2学期に取り組む行事について見通しをもつことができる。(学・人)	3 (4)	○2学期に取り組む行事を確認する。 ・1学期の行事を写真や映像で振り返り、2学期の行事を写真や映像で見通しを持たせる。主	写真 タブレット	②	国語	A-ア	
		○シェイクアウト訓練	○自然災害などについて知ることができる。(知・技)		2 (2)	○自然災害と災害時の避難の仕方を知る。 ・地震の映像や避難訓練等の映像を見せ、避難訓練のイメージをもたせる。主	写真 タブレット	②	社会	ウ-(ア)-㊦
		○冬野菜を育てよう	○災害時の身の守り方や避難方法を知り、落ち着いて訓練を行うことができる。(思・判・表)			○教師と一緒に身の守り方や避難方法を確認し、避難の練習をする。 ・避難経路を写真や図で提示し見通しをもたせ、騒がずに落ち着いて行動させる。主・深			理科	A-ア
		○収穫の期待をもって世話や観察をすることができる。(思・判・表)	8 (11)	○冬野菜を植える。 ・冬野菜の種類を知り、何を植えるか教師と一緒に考え選択させる。主・対	プランター - 苗 種 肥料	②	理科	A-㊦		
	○植物の特徴や成長の様子について知ることができる。(知・技)	・教師と一緒にプランターや学級園を整地し、苗や種を植える。主・対							A-㊦	
					○野菜の世話と観察をする。 ・教師と一緒に定期的に追肥や水やりをし、成長していく様子を写真で記録させる。主・深					
					※学級の実態に応じて、2学期中に様々な計画をして実践する。					

10	○都きりウィークについて	○都きり祭について知ることができる。(知・技) ○都きり祭に向けて何を作るかを決め、様々な材料を使って作品を作ることができる。(思・判・表)	14 (17) ○都きり祭について知る ・昨年の都きりウィークの様子を写真や動画等で確認し見通しを持たせる。主 ○何を作るかを決め作品を作る。 ・どんな作品を作るのか、いくつかの選択肢の中から選ばせる。主・対 ・教師と一緒に画材等を準備し、作品をみんなと協力して作る。主・対	写真 タブレット 画材等	②	国語 美術 美術	A-ア A-(ア) A-(イ)
11	○後期現場実習について学ぼう	○後期現場実習の内容を知ることができる。(知・技) ○簡単なあいさつをすることができる。(思・判・表) ○情緒を安定させて活動に取り組むことができる。(学・人)	14 (16) ○現場実習の内容を確認する。 ・前期現場実習を写真や映像で振り返り、後期現場実習で取り組む内容をについて写真や映像で見通しを持たせる。主 ○後期現場実習に取り組む。 ・自分なりの挨拶や報告ができたり、時間いっぱい活動に取り組んだりする姿勢を賞賛する。主・対	カラー ボール 洗い・ シール 貼り・ ボール ペン組 み立て	②	職業	・イ - (ア) - ㊦
12	○季節の行事(クリスマス)を楽しもう ○2学期を振り返ろう	○クリスマスに向けて、みんなと協力して作品を作ることができる。(思・判・表) ○2学期の行事を振り返ることができる。(学・人)	6 (9) ○クリスマス作品作りに取り組む。 ・何を作るかいくつかの選択肢の中から選ばせ、役割分担しながら協力して作品を作りあげることができるようにする。主・対 7 (8) ○2学期の活動の様子をプレゼンテーションで振り返る。 ・2学期の活動の様子を写真や動画でまとめスライドを作成し頑張ったことなどを振り返ることができるようにする。対・深	絵・ツ リー・ 飾り付 け・リ ーフ作 り ・写真・ タブレッ ト	②	美術 社会	・A-ア - (イ) ・ア - (ア) - (イ)

3	1	○新しい年 冬休みの思い出	○新しい年になったことを知り、 教師と一緒に新年の抱負を考 え、冬休みの思い出を発表す ることができる。(思・判・表)	2 (2)	○今年頑張りたいことを教師と一緒に考えて、 教師がパソコン入力したもの(両面テープ貼 り付けたもの)を準備する。 ・教師と一緒に両面テープをはがし台紙に貼 り付ける。主 ・冬休みの思い出は、教師と一緒に絵日記の 発表をする。対	画用紙 鉛筆 色鉛筆 消しゴ ム マジッ ク のり PC 両面テ ープ	③	国語	A-イ
		○給食について知 る (給食感謝週間)	○給食について知り、感謝の気持 ちをイラストや写真で職員と一 緒に伝えることができる。(知・ 技)	4 (4)	○給食について知る。 ・パワーポイント資料をみて、給食を食べる 意味や給食ができるまでにどんな場所や人 が関わっているのかを知らせる。主 ・教師が準備した感謝の文字(両面テープ貼 り付けたもの)を教師と両面テープをはがし 一緒に台紙に貼らせる。対・深	献立表 パワー ポイント 資料 入力し た文字	①	美術 国語	ア(イ) ア(イ)
		○生徒会役員選挙	○生徒会や選挙について知ること ができる。(知・技) ○各候補者の話を聞き、投票する ことができる。(思・判・表)	3 (5)	○生徒会や選挙の仕組みについての説明を聞 いて理解する。 ・生徒会が具体的にどのような活動をしている のかパワーポイント資料を見せながら説明 する。主 ○選挙ポスターを見たり候補者の演説を聴い たりして、誰に投票するかを決める。 ・教室にも候補者の顔写真を掲示し、教師と一 緒に日々確認するようにする。主・対 ・演説の内容を分かりやすいようなフレーズに	PC 大型モ ニター パワー ポイント 資料 模擬投 票箱 模擬投 票用紙	① ①	国語 社会 社会 国語	A-ア A-ア ア-(イ) ㊦㊧ イ-(イ) ㊦ A-ア

	2	○自分の進路・自立と社会生活	<p>○卒業生の講話を聞き、卒業生の進路やその後の様子について知ることができる。(知・技)</p> <p>○自分の進路について考えることができる。(思・判・表)</p> <p>○社会生活の決まりやマナーについて学ぶ(知る)ことができる。(学・人)</p>	4 (7)	<p>まとめて、理解しやすいようにして伝える。</p> <p>○投票所へ行き実際に投票をする。対</p> <p>・本番の前に教室で投票の予行練習を行う。対・深</p> <p>○卒業生の講話を聞き、写真などを見て卒業後の仕事や生活について知る。</p> <p>・講話の内容を補足しながら興味関心を持続させる。主</p> <p>○卒業後の自分の仕事や生活について調べ(理解し)、目標を決める。</p> <p>・様々な進路がありそれぞれの違いについて分かりやすく説明する。主</p> <p>・自分の進路について教師と一緒に確認し、いくつか提示した目標の中から選択し、みんなの前で発表させる。対・深</p> <p>○職場や施設でのルールやマナーについて知る(あいさつ・返事・報告、言葉遣い、勤務時間、安全、健康管理、対人関係、休憩時間の過ごし方、身だしなみ、清潔など)。</p> <p>・パワーポイント資料を使って大切なポイントを視覚的にわかりやすく伝える。主・対</p>	PC 大型モニター	③ ① ③ ① ① ③ ①	社会 保健 職業	<p>ア- (イ) -ア ①</p> <p>I-ア</p> <p>A-ア (ア) (イ)(ウ)</p> <p>A-イ (イ) ②</p>
--	---	----------------	---	----------	--	--------------	---------------------------------	----------------	--

	3	<p>○お別れ遠足・卒業生を送る会</p> <p>○卒業式</p>	<p>○お別れ遠足の目的を知ることができる。(知・技)</p> <p>○遠足で発表する内容を考え、準備や練習をすることができる。(思・判・表)</p> <p>○卒業予定の学年の生徒と楽しく交流することができる。(学・人)</p> <p>○卒業生に感謝の気持ちやお別れする気持ちを持ち、式に参加することができる。(学・人)</p>	5 (7)	<p>○遠足の目的地と日程を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所の写真を用意し提示する。主 ・目的地でお別れ会を行うことを伝え、どうい う出し物にしたら良いか本人ができそうない いくつかの選択肢を用意し、その中から選択 できるようにする。対・深 <p>○遠足のお別れ会で発表する内容を教師や友 達と考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめできる内容や準備物を用意してお く。主 ○3年生と関わりながら楽しく遠足に参加す る。 ・できる限り卒業生の輪の中に入るように手立 てを行う。対 <p>4 (5)</p> <p>○昨年の動画や写真を見て、式の内容を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画や写真を使って式の流れをイメージでき るようにする。 ○卒業式の歌の練習をする。 ・練習時間以外にも覚えやすいように教室で1 日に何回かラジカセ等で音を流す。主・対 ○祝福や感謝の気持ちをもって式に参加する。 ・卒業生のこれまでの取組など賞賛し、祝福や 感謝の気持ちを持たせる。対・深 	<p>PC タブレット</p> <p>PC 大型モ ニター</p> <p>はさみ のり テープ 花紙 折り紙 ペン</p>	<p>①</p> <p>③</p> <p>③</p> <p>①</p> <p>①</p> <p>①</p> <p>①</p>	<p>音楽</p> <p>国語</p> <p>国語 美術</p> <p>音楽</p>	<p>A- (ウ)</p> <p>- (イ) (ウ)</p> <p>A-エオ</p> <p>A-エオ</p> <p>A-ア- (ア) (イ)</p> <p>A- (ウ)</p> <p>- (イ) (ウ)</p>
--	---	-----------------------------------	--	----------	--	---	--	--	---

	<p>○お楽しみ会</p> <p>○1年間の振り返って・進級</p>	<p>○友達や先生と一緒に楽しく関わり、意欲的に活動することができる。(学・人)</p> <p>○1年間の振り返り、生活と学習のまとめを行い、次の学年への準備を行うことができる。(学・人)</p>	<p>4 (4)</p> <p>○日時、場所、集まるメンバー、目的を知る。 ・会の目的や内容について分かりやすく伝える。主</p> <p>○出し物を決め、友達と協力して準備や練習を行う。 ・どういう出し物にしたら良いか、本人ができそうなくつかの選択肢を用意し、その中から選択できるようにする。対</p> <p>・無理のない練習量と時間で少しずつ本番に向けて練習できるようにする。対</p> <p>2 (2)</p> <p>○1年間の活動を動画と写真で振り返る。 ・1年間の活動の様子を写真や動画でまとめスライドを作成し振り返ることができるようにする。主・対</p> <p>○教師からの評価を聞いて1年間の自分の成長を知る。 ・それぞれ頑張っていたことをスライドや動画の中で伝える。対</p> <p>○2年生への抱負を考えて発表する。 ・頑張った活動の写真を画用紙に貼り、抱負を書く。対・深</p>	<p>PC 大型モニター</p> <p>PC 大型モニター 画用紙 はさみ のり ペン</p>	<p>①</p> <p>③</p> <p>①</p> <p>③</p> <p>③</p> <p>③</p> <p>①</p>	<p>国語</p> <p>音楽</p> <p>体育</p> <p>国語</p> <p>美術</p>	<p>A-エオ</p> <p>A-エ (ア) A-エ (ウ) ㊦㊧</p> <p>G-ア</p> <p>A-ア B-イ</p> <p>A-ア-(イ)</p>
--	------------------------------------	--	--	---	--	---	--

※授業形態 ①一斉 ②グループ ③個別

高等部 年間指導計画		第2 学年	(通常) グループ	教科・領域名 (生活単元学習)			年間指導時数	105	
指導目標		<p>○自立した生活や社会参加に向けて、実際の・総合的に学習し、社会の一員として必要な知識や技能を習得する。(知識・技能)</p> <p>○・生活の自立に必要な実践的な技能を身に付けたり、豊かな生活の実現に向けて生活を工夫し主体的、実践的に考えようとする ことができる。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>○様々な単元の活動を通して、生活上の望ましい習慣や態度を身につける。(学びに向かう力・人間性等)</p>							
学 期	月	単元(題材)	単元(題材) 目標	時 数	学習活動内容 指導の手立て	教材等	授業 形態	関連する 教科	学習指導要領 位置づけ
I	4	○新しい学級 ・自己紹介 ・私の目標 ・学級設営 ・時間割 ・学級目標 ・1年間の主な行事	<ul style="list-style-type: none"> ・学級のきもりや係活動の内容を理解することができる。 ・自己紹介で、自分のことについて友達に伝えることができる。 ・新しい環境に進んで取り組もうとする。 ・学校の行事や1日の流れについて理解する。 ・学級目標や学級での役割分担などについて、友達と話し合いながら決めることができる。 	10	<ul style="list-style-type: none"> ○教師や友達の名前について知る。 ・写真や名前カードでわかりやすく知らせる。主 ・友達同士で自己紹介をする。対 ○自分自身の1年間の目標を考える。 ・去年の目標を参考に考えさせる。深 ○学級目標決めでは、集団生活での決まりや守ることの大切さ、友達と協力し合うことのよさについて考える。 ・友達又は、小グループで話し合い意見交換をする。主・対 ・係分担では、活動内容を明確に提示し、友達と話し合いながら決める。対 ・教室に提示する、年間行事や時間割、学級目標を作成する。 	画用紙	① ②	国語 数学 社会	国-1 数-1 社-1
	5	○学級園の整備 ○体育発表会 ・グッズ作成	<ul style="list-style-type: none"> ・植物に関する知識を深め、観察などの技能を身に付けることができる。 ・体育祭の決まりや競技内容を 	6 9 2	<ul style="list-style-type: none"> ○タブレット端末を活用し、夏野菜の種類や育て方について調べて、まとめる。 ・昨年度の体育会の写真や動画などを見て、体育祭に見通しを持つ。 	軍手 移植ごて 植物の苗 うちわ	① ②	美術 国語	美-1 国-1

	<ul style="list-style-type: none"> ・事前準備 <p>○進路学習</p>	<p>理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育祭の練習や準備を通して、最後まで粘り強く取り組もうとする。 ・施設の雰囲気や仕事内容について理解することができる。 ・施設の雰囲気や仕事内容について理解することができる。 ・自分の課題を知り、目標を立てることができる。 		<p>○応援に適したグッズづくりや、家族への招待状を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習事前学習を通して、高等部の進路学習と現場実習について知る。主 ・校外実習、校外実習、個別実習の目的や内容、実習先について知る。主 ・校内班での作業内容、1日のスケジュール、決まり、準備物、服装について知る。主 ・作業学習での取り組みや学校生活を振り返りながら、働くために必要な力を考えさせ、実習の目標を立てることができる。深 	<p>色鉛筆・ペン 両面テープ ~~~~~ ~~~~~ ~~~~~ ~~~~~ ~~~~~ ~~~~~ ~~~~~ ~~~~~ ~~~~~</p>	<p>① ③</p>	<p>社会 国語 数学</p>	<p>社-1 国-1 数-1</p>
6	<p>○産業現場等における実習事前学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の流れ ・目標決め ・自習日誌 ・挨拶の練習 ・実習場所の準備 <p>○産業現場等における実習事後学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返り ・お礼状 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の目的や内容、自分の作業内容を知り、社会人として望ましい勤労態度や対人関係の持ち方、規律、集団行動を身に付けることができる。 ・校内外での実習に向けて、自分の目標や心構えを明確にもち、主体的に実習に取り組むことができる。 	10 2	<p>○事前学習に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習事前学習を通して、高等部の進路学習と現場実習について知る。主 ・校外実習、校外実習、個別実習の目的や内容、実習先について知る。 ・校内班での作業内容、1日のスケジュール、決まり、準備物、服装について知る。 ・作業学習での取り組みや学校生活を振り返りながら、働くために必要な力を考えさせ、実習の目標を立てることができる。主・深 	<p>実習日誌 事前プレゼン 画用紙 練習用 お礼状 模造紙 ワークシート 写真</p>	③	<p>数学 社会 国語 職業</p>	<p>数-1 社-1 国-2</p>

	7	<p>○夏の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大雨や台風などの自然災害 ・体調管理 ・熱中症対策 <p>○1学期を振り返り</p> <p>○夏休みに向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の変化に関心をもち、熱中症対策など、健康管理に関する知識を身に付ける。 ・夏の災害について知り、どんな危険や健康被害が想定できるのか考えることができる。 ・夏休みの計画を立て、生活リズムを整えることができる。 		<p>○タブレット端末を活用し、夏の自然災害への備えについて調べ、まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏の気象の特徴や、変化について知り、暑さに負けないための体力づくりの仕方を考える。深 ・夏休みの過ごし方、1日のスケジュール、課題等について考える。主・深 	<p>タブレット端末 ワークシート</p> <p>1学期の 写真 ワークシート 夏休みのしおり</p>	<p>①</p> <p>①</p>	<p>国語 家庭 数学 保体 理科 特別活動</p>	<p>国-1 理-1 数-1</p> <p>国-1 数-1</p>
2	9	<p>○夏休みの振り返り</p> <p>○2学期に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事 ・係活動 <p>○進路学習・</p> <p>○修学旅行</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの生活を振り返り、自分の生活態度について考えることができる。 ・2学期の生活や行事に見通しをもち、意欲的に取り組もうとする。 ・集団生活のルールや自分の役割を理解し、責任をもって行動することができる。 ・自分の興味のある仕事について調べることができる ・旅行に必要な予定や計画を理解し、見通しをもつことができる。 ・調べ学習を通して、仲間との絆を深めたり、興味・関心のあるものを見つけたりすることができる。 	1 1 2 3	<p>○夏休み中の家庭での生活や健康管理を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの発表を行い、友達の発表にも興味関心を持たせる。主 ・2学期の行事について知り、自分の2学期の目標を、学習、生活、家庭毎に分けて考えるようにする。主・深 <p>○職業に関する調べたことをワークシートにまとめ、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団でのきまりの大切さを考えさせる。 ・公共交通機関を利用する際のルールやマナーについて知る。主 ・旅行先の歴史や文化について見たり触れたりして感じさせる。主・深 	<p>プリント</p> <p>プリント</p> <p>しおり インター ネット</p>	<p>③</p> <p>① ②</p> <p>②</p>	<p>社会 国語</p> <p>数学</p> <p>社会 数学 国語 理科 家庭</p>	<p>社-1 国-1</p> <p>数-1</p> <p>社-1 数-1 国-1 理-1 家-1</p>

						ひとりだちするための進路学習	③	社会 国語	社-1 国-1
10	<p>○都きり祭ウィーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ別研修 ・準備、片付け <p>○校外体験学習</p> <p>○進路学習</p>	<p>○係の活動に責任をもって取り組み、行動することができる。</p> <p>○文化や芸術に親しむことができる。</p> <p>○望ましい勤労態度や人間関係、規律、集団行動を意識し、意欲的に取り組もうとする態度を養う。</p> <p>○挨拶や言葉遣い、大切な心構えについて理解する。</p> <p>○目標や課題を設定することができる。</p> <p>○元気な声で挨拶をすることができる。また、報告、連絡、相談の仕方を学習することができる。</p>	8 2 1	<p>○昨年度の都きり祭の写真や動画を見て、活動に見通しをもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都きり祭の目的や期日、活動内容を確認し、準備や練習計画を立てる。主 ・準備、片付けは役割分担を明確に提示し、計画的に行えるようにする。主・対 <p>○校外体験学習の事前学習を通して、期日、日程、決まり、交通手段等の流れをワークシートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問先へのお礼状やまとめを行い、発表する。主・深 ・販売 ・作品鑑賞 ・福祉サービスについて調べる。 ・実習場所の検討 ・通勤方法やルート ・ルールやマナー ・実習挨拶 ・通勤練習 ・挨拶の練習 	<p>作業販売商品 長机 清掃道具 プリン ト</p> <p>ひとりだちするための進路学習 スライド</p>	② ① ③	<p>数学 職業 美術 国語</p> <p>社会 国語</p>	<p>数-1 職-1 美-1 国-1</p> <p>社-1 国-1</p>	

11	<p>○産業現場等における 実習事前学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の流れ ・目標決め ・自習日誌 ・挨拶の練習 ・実習場所の準備 <p>○産業現場等における 実習事後学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返り ・お礼状 	<p>○実習の目的や内容、自分の作業内容を知り、社会人として望ましい勤労態度や対人関係の持ち方、規律、集団行動を身に付けることができる。</p> <p>○前期の実習を振り返り、今回の実習での目標や心構えを明確にもち、主体的に実習に取り組むことができる。</p>	10 2	<p>○実習中の家庭生活についても、再度確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場での作業内容、1日のスケジュール、決まり、準備物、服装について知る。主 ・前期の実習の記録を振り返り、今回の実習の心がまえを確認し、実習の目標を決める。主・深 ・現場実習の感想文や、お世話になった会社へのお礼状を作成する。対・深 	<p>日誌 事前プレゼン 画用紙</p> <p>練習用 お礼状 模造紙 ワークシート 写真</p>	② ③	国語 社会 職業	国ーⅠ 社ーⅠ 職ーⅠ
12	<p>○冬の生活</p> <p>○2学期の振り返り</p> <p>○冬休みの過ごし方</p>	<p>○冬の気候の特徴や疾病に関する知識を理解し、適切な対処を身につけることができる。</p> <p>○自分の生活と結び付けて考え、自分の課題として具体的にとらえることができる。</p> <p>○2学期の行事や自分の係活動を振り返り、3学期に向けての課題を知ることができる。</p> <p>○ 目標を意識して、冬休みに</p>	2 3	<p>○タブレット端末で気候や疾病について調べ、まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2学期の目標を振り返り、楽しかったこと、反省すべき点、成果など発表を行う。主・対 ・冬休みの過ごし方について学習し、1日のスケジュール、課題等について考える。 	<p>DVD</p> <p>プリント</p> <p>冬休みのしおり</p>	① ①	社会 理科 保健 体育 国語 社会 家庭	社ーⅠ 理ーⅠ 保ーⅠ 国ーⅠ 社ーⅠ 家ーⅠ

			向けて意欲をもって生活しようとするができる。						
3	1	○新しい年	○冬休みを振り返り、新しい年を新しい気持ちでスタートしようとする気持ちをもつことができる。	2	○冬休みの思い出を発表する。 ・冬休みの過ごし方について、生活面や学習面を振り返る。主	プリント	①	国語 社会 数学 家庭	国-1 社-1 数-1 家-1
		○3学期に向けて ・行事 ・係活動 ・目標	○3学期の生活や行事に見通しをもち、意欲的に取り組もうとする。		・給食感謝週間の期日、意義について知り、どんな取り組みをするのか話し合う。 対・深	プリント	② ③	国語 社会 数学 家庭	国-1 社-1 数-1 家-1
		○給食感謝週間	○給食を安全に楽しく食べることができたことに感謝し、表現することができる。	2	・給食従事者（栄養士、調理師）の仕事について調べる。主				
			○給食ができるまでの過程を理解し、様々な人が関わっていること、安全に提供されていることを理解することができる。	2	・感謝の気持ちを伝える作品づくりに取り組む。主・深	画用紙 スライド	① ②	保健体 育 家庭 国語 美術	保-1 家-1 国-1 美-1
		○生徒会役員選挙	○選挙についての知識を深め、ルールに沿って立候補したり、立候補者を推薦したりすることができる。	2	○選挙について学習する。 ・政治、選挙の意義について考える。主				
			○ルールを守って、立候補者や推薦者の話を聞くことができる。		・立候補者、推薦者について話し合う。対				
					・選挙運動	プリント	② ③	社会 国語 数学	社-1 国-1 数-1
					・模擬選挙				

2	○生徒会役員選挙	○政見放送を聞いて、候補者の考えを聞き、投票したい人を選び、投票することができる。	3 4	<ul style="list-style-type: none"> 立候補者の演説を聞き、学校のために行動できる候補者を考える。主 卒業生への感謝の気持ちを持ち、お別れ遠足の計画、準備を友達と協力して行う。 対・深	プリント	①	社会 国語	社-1 国-1		
	○卒業生を送る会	○生徒会役員選挙を通して、実際の投票を意識して投票をしたりすることができる。			○3年生に対して、感謝の気持ちを伝えたり、表現したりすることができる。	プリント 映像	②	国語 社会 音楽	国-1 社-1 音-1	
3	○進路学習	○卒業後の自分について考えたり、計画したりすることができる。	3 3	<ul style="list-style-type: none"> 障害福祉サービス（福祉施設、地域の関係機関、） 相談支援専門員の役割 キャリアプランニング 	ひとりだちするための進路学習 インターネット	① ③	社会 国語	社-1 国-1		
	○お楽しみ会	○専門的用語についての知識を深めたり、サービス提供事業所について理解したりすることができる。				○お楽しみ会について主体的に話し合ったり、係を決めたりして仲間と協力して取り組むことができる。	各自 プリント	① ②	国語 社会	国-1 社-1
	○1年間のまとめ	○お楽しみ会の内容について主体的に話し合ったり、係を決めたりして仲間と協力して取り組むことができる。				○学校生活の思い出をまとめて発表をすることができる。	○1年間の思い出や反省を発表し合う。	対・深	① ②	国語 社会

※授業形態 ①一斉 ②グループ ③個別

高等部 年間指導計画		第2学年	B グループ () Aグループ	教科・領域名 (生活単元学習)			年間指導時数	123 (158)	
指導目標		<p>○自立した生活や社会参加に向けて、实际的・総合的に学習し、社会の一員として必要な知識や技能を習得する。(知識・技能)</p> <p>○自分の考えを伝えたり、友達の意見を聞いたりしながら話し合いやまとめ作業の活動をする。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>○様々な単元の活動を通して、生活上の望ましい習慣や態度を身に付ける。(学びに向かう力・人間性等)</p>							
学期	月	単元(題材)	単元(題材)目標	時数	学習活動内容 指導の手立て	教材等	授業形態	関連する教科	学習指導要領位置づけ
I	4	○新しい学校生活	<p>○様々な人達との交流や環境に慣れることができる。(学・人)</p> <p>○学級の友達や教師の名前を覚えて、挨拶や自己紹介をすることができる。(思・判・表)</p> <p>○1年間の行事を知り、年間の学校生活について見通しをもつことができる。(知・技)</p>	5 (7)	<p>○新しい学級や学年について知る。</p> <p>・学部の教師や友達の顔や名前を視覚的に知らせる。<u>主</u></p> <p>○自己紹介カードを作成し、発表する。</p> <p>・自分の好きなイラストや写真を選択させ、カードに貼らせる。<u>主・対</u></p> <p>○学級の友達の前で発表する。</p> <p>・自分のできる方法(音声代替機・タブレット端末など)を選択し、相手に伝えやすい方法を見つけさせる。<u>対・深</u></p> <p>○学校生活や、行事予定の確認をする。</p> <p>・1年間の学校生活や主な行事について、映像や写真を見て去年のことを思い出せるようにする。<u>主</u></p>	<p>教師・生徒の写真名前カード 画用紙 イラスト 写真</p> <p>PC 大型モニター</p> <p>音声代替機など</p>	<p>①</p> <p>③</p> <p>①</p> <p>①</p> <p>③</p>	<p>国語</p> <p>国語</p> <p>国語</p> <p>美術</p> <p>社会</p>	<p>A—ア</p> <p>A—ウ</p> <p>A—エ</p> <p>A—ア</p> <p>ア⑦</p>
		○学部集会	<p>○新入生とのコミュニケーションを図り、生徒間の親睦を深めることができる。(学・人)</p>		2 (3)				

	<p>5 ○体育発表会</p> <p>○夏野菜を育てよう</p>	<p>○日時や場所、内容などについて知り、練習や本番に最後まで参加することができる。(知・技)</p> <p>○集団での活動にすすんで参加し、協力して運動会競技の練習、応援を行うことができる。(思・判・表)</p> <p>○応援グッズを作り、応援の練習をすることを通して運動会を楽しみにし、意欲をもって取り組むことができる。(知・技)</p> <p>○植物の特徴やその成長の様子について理解をし、関心をもって観察することができる。(学・人)</p> <p>○自然の事物・事象について理解をすることができる。(知・技)</p>	<p>6 (7) ○体育発表会について学習する。</p> <p>・過去に行われた体育発表会のビデオや写真を見て、体育発表会のイメージをもたせる。 主・対</p> <p>・競技内容を具体的に提示し、繰り返し練習に取り組ませる。主・深</p> <p>○体育発表会に向けて準備をする。</p> <p>・応援グッズ製作において、好きな素材を選択し、応援への意欲を高める。主・深</p> <p>○体育大会を振り返る。</p> <p>・写真や動画などで振り返り、選択肢の中から体育発表会の感想を選ばせる。主・対</p> <p>・体育発表会を思い出し、自分で選んだ写真を貼ったり、絵を描いたりさせる。対・深</p> <p>4 (7) ○タブレット端末を活用し、夏野菜を植える準備をする。</p> <p>・プランターや畑に土や肥料を入れることで野菜が育つことを知らせる。主</p> <p>・写真やイラストの中から自分が育ててみたい野菜を選ばせる。対・深</p> <p>○夏野菜を育てる。</p> <p>・種や苗に触れ、その感触を確かめながら、プランターや畑に植える。主</p> <p>・定期的に写真を撮るなどして、観察・記録ができるようにする。対・深</p>	<p>PC 大型モニター はちまき 応援グッズに必要な材料(ペットボトル、平テープ、スズランテープなど、様々な材料を準備しておく) 花紙 花子ちゃん 両面テープ のり 写真</p> <p>プランター 種、苗、肥料、土など</p>	<p>①</p> <p>①</p> <p>②</p> <p>①</p> <p>③</p> <p>①</p> <p>②</p> <p>③</p>	<p>体育</p> <p>体育</p> <p>数学</p> <p>美術</p> <p>国語</p> <p>美術</p> <p>理科</p>	<p>A—ア</p> <p>A—ウ</p> <p>A—(イ) ㊦</p> <p>A—ア (ア)、(イ)</p> <p>A—イ、ウ</p> <p>A—ア (ア)、(イ)</p> <p>A ア (ア) ㊦、①</p>
--	----------------------------------	--	---	--	---	---	--

6	○産業現場等における実習	○職業生活に必要な能力を高め、実践的な態度を身につける。(学・人) ○実習の内容を知ることができる。(知・技) ○実習を振り返り、まとめをしたり、礼状を書いたりすることができる。(思・判・表)	7 (8)	○作業、余暇活動の内容を知る。 ・一緒に活動する教師、生徒をわかりやすく知らせる。 <u>主</u> ・昨年度の写真や動画を見せるなどして、作業の内容を具体的に伝える <u>主・対</u> ○実習のまとめをする。 ・なぞり書きをしたり、イラストを貼ったり、自分のできる方法を選択させる。 <u>主・対</u>	教師。生徒の写真活動のイラストや写真	① ②	社会	ア(ア)④ (イ)⑦
	○季節の行事(七夕)	○日本の生活の中の伝統文化に親しむために、七夕の由来を知り、願い事を書くことに興味をもつことができる。(学・人) ○はさみやのりを使いながら、自分のイメージを形にすることができる。(思・判・表)	8 (9)	○七夕の由来を知る。 ・タブレット端末を使用し、由来を調べることで、七夕への興味関心を高める。 <u>主・対</u> ・2～3つの選択肢の中から、願い事を選ばせる。 <u>対・深</u> ○七夕飾りを作る。 ・実際の笹や七夕飾りの画像、七夕祭りの様子を視聴し、作りたいものへのイメージを膨らませる。 <u>主・深</u>	写真 イラスト タブレット端末等はさみのり 折り紙等	①③	国語	B—ア Aイ
7	○夏の生活	○気候に合わせて、健康管理や体調について考えることができる。(学・人)	2 (2)	○夏の健康管理について方法を知る。 ・暑い時はどうすれば涼しくなるか、様々なグッズを使って体感させる。 <u>主</u> ・熱中症対策にはどんなものがあるか、タブレット端末を使って調べさせる。 <u>主・対</u>	冷感グッズなど イラスト タブレット端末等	①	保健 体育	I—アイ
	○夏野菜を育てよう	○野菜の特徴やその生長の様子について確認し、収穫の喜びを味わうことができる。(知・技)	6 (9)	○野菜の生長を確認する。 ・植え付けの時の苗の様子と、現在の様子を写真を見比べることによって実感させる。 <u>主・深</u> ○収穫をする。 ・それぞれに合った収穫の方法で収穫させる。 ・生で食べられるものについては、採れたてを試食し、野菜の味を感じさせる。 <u>対・深</u>	野菜の写真	①	理科	Aア(ア)
	○夏休みの過ごし方	○夏休みの計画を立て、規則正しい生活を意識することができる。(学・人)	1 (3)	○夏休みの過ごし方について知る。 ・クイズ形式にするなど、望ましい生活習慣について考えさせる。 <u>対</u>	イラスト カレンダー 等		国語	Aイ

2	9	○2学期に向けて	○1学期の活動について振り返り、2学期に取り組む行事について見通しをもつことができる。(学・人)	3 (4)	○2学期に取り組む行事を確認する。 ・1学期の行事を写真や映像で振り返り、2学期の行事を写真や映像で見て見通しを持たせる。主	写真 タブレット	②	国語 国語	A-ア A-ア
		○シェイクアウト訓練	○自然災害などについて知ることができる。(知・技) ○災害時の身の守り方や避難方法を知り、落ち着いて訓練を行うことができる。(思・判・表)	2 (2)	○自然災害と災害時の避難の仕方を知る。 ・地震の映像や避難訓練等の映像を見せ、避難訓練のイメージをもたせる。主 ○教師と一緒に身の守り方や避難方法を確認し、避難の練習をする。 ・避難経路を写真や図で提示し見通しをもたせ、騒がずに落ち着いて行動させる。主・深	写真 タブレット	② ②	社会 国語	ウ-(ア)-㊦ A-ア
		○冬野菜を育てよう	○収穫の期待をもって世話や観察をすることができる。(思・判・表) ○植物の特徴や成長の様子について理解することができる。(知・技)	8 (11)	○冬野菜を植える。 ・冬野菜の種類を知り、何を植えるか教師と一緒に考え選択させる。主・対 ・教師と一緒にプランターや学級園を整地し、苗や種を植える。主・対 ○野菜の世話と観察をする。 ・教師と一緒に定期的に追肥や水やりをし、成長していく様子を写真で記録させる。主・深 ※学級の実態に応じて、2学期中に様々な計画をして実践する。	プランター - 苗 種 肥料		理科 理科	A-㊠ A-㊠

10	○都きりウィークについて	<p>○都きり祭について知ることができる。(知・技)</p> <p>○都きり祭に向けて何を作るかを決め、様々な材料を使って作品を作ることができる。(思・判・表)</p>	<p>14 (17)</p> <p>○都きり祭について知る</p> <p>・昨年の都きりウィークの様子を写真や動画等で確認し見通しを持たせる。主</p> <p>○何を作るかを決め作品を作る。</p> <p>・どんな作品を作るのか、いくつかの選択肢の中から選ばせる。主・対</p> <p>・教師と一緒に画材等を準備し、作品をみんなと協力して作る。主・対</p>	写真 タブレット 画材等	②	国語	A-ア
11	○後期現場実習について学ぼう	<p>○後期現場実習の内容を知ることができる。(知・技)</p> <p>○簡単なあいさつをすることができる。(思・判・表)</p> <p>○情緒を安定させて、一定時間活動に取り組むことができる。(学・人)</p>	<p>14 (16)</p> <p>○現場実習の内容を確認する。</p> <p>・前期現場実習を写真や映像で振り返り、後期現場実習で取り組む内容をについて写真や映像で見て見通しを持たせる。主</p> <p>○後期現場実習に取り組む。</p> <p>・自分なりの挨拶や報告ができた、時間いっぱい活動に取り組んだりする姿勢を賞賛する。主・対</p>	カラー ボール 洗い・ シール 貼り・ ボール ペン組 み立て 等	②	職業	・イ - (ア) - ㊦
12	○季節の行事(クリスマス)を楽しもう	○クリスマスに向けて、みんなと協力して作品を作ることができる。(思・判・表)	<p>6 (9)</p> <p>○クリスマス作品作りに取り組む。</p> <p>・何を作るかいくつかの選択肢の中から選ばせ、役割分担しながら協力して作品を作りあげることができるようにする。主・対</p>	絵・ツ リー・ 飾り付 け・リ ーフ作 り	②	・美術 ・社会	・A-ア - (イ) ・ア - (ア) - (イ)

	<p>2 ○自分の進路・自立と社会生活</p>	<p>○卒業生の講話を聞き、卒業生の進路やその後の様子について知ることができる。(知・技)</p> <p>○自分の進路について考えることができる。(思・判・表)</p> <p>○社会生活の決まりやマナーについて学ぶ(知る)ことができる。(学・人)</p>	<p>4 (7)</p> <p>する。主</p> <p>○選挙ポスターを見たり候補者の演説を聴いたりして、誰に投票するかを決める。</p> <p>・教室にも候補者の顔写真を掲示し、教師と一緒に日々確認するようにする。主・対</p> <p>・演説の内容を分かりやすいようなフレーズにまとめて、理解しやすいようにして伝える。</p> <p>○投票所へ行き実際に投票をする。対</p> <p>・本番の前に教室で投票の予行練習を行う。対・深</p> <p>○卒業生の講話を聞き、写真などを見て卒業後の仕事や生活について知る。</p> <p>・講話の内容を補足しながら興味関心を持続させる。主</p> <p>○卒業後の自分の仕事や生活について調べ(理解し)、目標を決める。</p> <p>・様々な進路がありそれぞれの違いについて分かりやすく説明する。主</p> <p>・自分の進路について教師と一緒に確認し、いくつか提示した目標の中から選択し、みんなの前で発表させる。対・深</p> <p>○職場や施設でのルールやマナーについて知る(あいさつ・返事・報告、言葉遣い、勤務時間、安全、健康管理、対人関係、休憩時間の過ごし方、身だしなみ、清潔など)。</p> <p>・パワーポイント資料を使って大切なポイントを視覚的にわかりやすく伝える。主・対</p>	<p>ニター パワー ポイント資料 模擬投票箱 模擬投票用紙</p> <p>PC 大型モニター</p>	<p>国語</p> <p>社会</p> <p>保健</p> <p>職業</p>	<p>A-ア</p> <p>ア- (イ) -ア①②</p> <p>I-ア</p> <p>A-ア (ア) (イ)(ウ) A-イ (イ) ⊕</p>
--	-------------------------	---	---	---	---	--

	<p>○お別れ遠足・卒業生を送る会</p>	<p>○お別れ遠足の目的を知ることができる。(知・技) ○遠足で発表する内容を考え、準備や練習をすることができる。(思・判・表) ○卒業予定の学年の生徒と楽しく交流することができる。(学・人)</p>	<p>5 (7)</p> <p>○遠足の目的地と日程を知る。 ・場所の写真を用意し提示する。主 ・目的地でお別れ会を行うことを伝え、どうい う出し物にしたら良いか本人ができそうない くつかの選択肢を用意し、その中から選択 できるようにする。対・深 ○遠足のお別れ会で発表する内容を教師や友 達と考える。 ・あらかじめできる内容や準備物を用意してお く。主 ○3年生と関わりながら楽しく遠足に参加す る。 ・できる限り卒業生の輪の中に入るように手立 てを行う。対</p>	<p>PC タブレット</p>	<p>① ③ ③ ①</p>	<p>音楽 国語</p>	<p>A- (ウ) - (イ) (ウ) A-エオ</p>
<p>3</p>	<p>○卒業式</p>	<p>○卒業生に感謝の気持ちやお別れする気持ちを持ち、式に参加することができる。(学・人)</p>	<p>4 (5)</p> <p>○去年の動画や写真を見て、式の内容を知る。 ・動画や写真を使って式の流れをイメージでき るようにする。 ○卒業式の歌の練習をする。 ・練習時間以外にも覚えやすいように教室で1 日に何回かラジカセ等で音を流す。主・対 ○祝福や感謝の気持ちをもって式に参加する。 ・卒業生のこれまでの取組など賞賛し、祝福や 感謝の気持ちを持たせる。対・深</p>	<p>PC 大型モニター はさみのり テープ 花紙 折り紙 ペン</p>	<p>① ① ①</p>	<p>国語 美術 音楽</p>	<p>A-エオ A-ア- (ア) (イ) A- (ウ) - (イ) (ウ)</p>

	<p>○お楽しみ会</p> <p>○1年間を振り返って・進級</p>	<p>○友達や先生と一緒に楽しく関わり、意欲的に活動することができる。(学・人)</p> <p>○1年間を振り返り、生活と学習のまとめを行い、次の学年への準備を行うことができる。(学・人)</p>	<p>4 (4)</p> <p>○日時、場所、集まるメンバー、目的を知る。 ・会の目的や内容について分かりやすく伝える。主</p> <p>○出し物を決め、友達と協力して準備や練習を行う。 ・どういう出し物にしたら良いか、本人ができそうないくつかの選択肢を用意し、その中から選択できるようにする。対</p> <p>・無理のない練習量と時間で少しずつ本番に向けて練習できるようにする。対</p> <p>2 (2)</p> <p>○1年間の活動を動画と写真で振り返る。 ・1年間の活動の様子を写真や動画でまとめスライドを作成し振り返ることができるようにする。主・対</p> <p>○教師からの評価を聞いて1年間の自分の成長を知る。 ・それぞれ頑張っていたことをスライドや動画の中で伝える。対</p> <p>○3年生への抱負を考えて発表する。 ・頑張った活動の写真を画用紙に貼り、抱負を書く。対・深</p>	<p>PC 大型モニター</p> <p>PC 大型モニター 画用紙 はさみ のり ペン</p>	<p>①</p> <p>③</p> <p>①</p> <p>③</p> <p>③</p> <p>①</p>	<p>国語</p> <p>音楽</p> <p>体育</p> <p>国語</p> <p>美術</p>	<p>A-エオ</p> <p>A-エ (ア) A-エ (ウ) ㊦㊧</p> <p>G-ア</p> <p>A-ア B-イ</p> <p>A-ア-(イ)</p>
--	------------------------------------	--	---	---	---	---	--

※授業形態 ①一斉 ②グループ ③個別

高等部 年間指導計画		第3学年	(通常) グループ	教科・領域名 (生活単元学習)		年間指導時数	105		
指導目標									
学期	月	単元 (題材)	単元 (題材) 目標	時数	学習活動内容 指導の手立て	教材等	授業 形態	関連する 教科	学習指導要 領位置づけ
1	4	○新しい学級 ・自己紹介 ・私の目標 ・学級設営 ・時間割 ・学級目標 ・1年間の主な行事	<ul style="list-style-type: none"> ・学級のきもりや係活動の内容を理解することができる。 ・自己紹介で、自分のことについて友達に伝えることができる。 ・新しい環境に進んで取り組もうとする。 ・学校の行事や1日の流れについて理解する。 ・学級目標や学級での役割分担などについて、友達と話し合いながら決めることができる。 	10	<ul style="list-style-type: none"> ○教師や友達の名前について知る。 ・写真や名前カードでわかりやすく知らせる。 主 ・友達同士で自己紹介をする。対 ○自分自身の1年間の目標を考える。 ・去年の目標を参考に考えさせる。深 ○学級目標決めでは、集団生活での決まりや守ることの大切さ、友達と協力し合うことのよさについて考える。 ・友達又は、小グループで話し合い意見交換をする。主・対 ・係分担では、活動内容を明確に提示し、友達と話し合いながら決める。対 ・教室に提示する、年間行事や時間割、学級目標を作成する。 	画用紙	① ②	国語 数学 社会 特別活動	国1 社1 数1 第5章
	5	○学級園の整備 ○体育発表会 ・グッズ作成	<ul style="list-style-type: none"> ・植物に関する知識を深め、観察などの技能を身に付けることができる。 ・体育祭の決まりや競技内容を理解する。 ・体育祭の練習や準備を通して、最後まで 	6 9 2	<ul style="list-style-type: none"> ○タブレット端末を活用し、夏野菜の種類や育て方について調べて、まとめる。 ・昨年度の体育会の写真や動画などを見て、体育祭に見通しを持つ主 		① ②	保健体育 社会 国語 職業	国2 社1 保2 職1

	<ul style="list-style-type: none"> ・事前準備 <p>○進路学習</p>	<p>で粘り強く取り組もうとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の雰囲気や仕事内容について理解することができる。 ・施設の雰囲気や仕事内容について理解することができる。 ・自分の課題を知り、目標を立てることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・応援に適したグッズづくりや、家族への招待状を作成する。主・対 <p>○実習事前学習を通して、高等部の進路学習と現場実習について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校外実習、校外実習、個別実習の目的や内容、実習先について知る。主 ・校内班での作業内容、1日のスケジュール、決まり、準備物、服装について知る。 ・作業学習での取り組みや学校生活を振り返りながら、働くために必要な力を考えさせ、実習の目標を立てることができる。主・深 		家庭	家2	
6	<p>○産業現場等における実習事前学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の流れ ・目標決め ・自習日誌 ・挨拶の練習 ・実習場所の準備 <p>○産業現場等における実習事後学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返り ・お礼状 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の目的や内容、自分の作業内容を知り、社会人として望ましい勤労態度や対人関係の持ち方、規律、集団行動を身に付けることができる。 ・校内外での実習に向けて、自分の目標や心構えを明確にもち、主体的に実習に取り組むことができる。 	10 2	<p>○実習事前学習を通して、高等部の進路学習と現場実習について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校外実習、校外実習、個別実習の目的や内容、実習先について知る。主 ・校内班での作業内容、1日のスケジュール、決まり、準備物、服装について知る。 ・作業学習での取り組みや学校生活を振り返りながら、働くために必要な力を考えさせ、実習の目標を立てることができる。主・深 	<p>実習日誌 事前プレゼン 画用紙</p> <p>練習用お 礼状 模造紙 ワークシ ート写真</p>	③ 数学 社会 国語 職業	国2 社1 数1 理2 保1 職1 家1

	7	<p>○夏の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大雨や台風などの自然災害 ・体調管理 ・熱中症対策 <p>○1学期を振り返り</p> <p>○夏休みに向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の変化に関心をもち、熱中症対策など、健康管理に関する知識を身に付ける。 ・夏の災害について知り、どんな危険や健康被害が想定できるのか考えることができる。 ・夏休みの計画を立て、生活リズムを整えることができる。 	<p>○タブレット端末を活用し、夏の自然災害への備えについて調べ、まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏の気象の特徴や、変化について知り、暑さに負けないための体力づくりの仕方を考える。深 ・夏休みの過ごし方、1日のスケジュール、課題等について考える。主 	<p>タブレット端末ワークシート</p> <p>1学期の写真ワークシート 夏休みのしおり</p>	① ②	国語 社会 数学 家庭	国Ⅰ 社Ⅰ 数Ⅰ 家Ⅰ
2	9	<p>○夏休みの振り返り</p> <p>○2学期に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事 ・係活動 <p>○進路学習・</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの生活を振り返り、自分の生活態度について考えることができる。 ・2学期の生活や行事に見通しをもち、意欲的に取り組もうとする。 ・集団生活のルールや自分の役割を理解し、責任をもって行動することができる。 ・自分の興味のある仕事について調べることができる 	<p>○夏休み中の家庭での生活や健康管理を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの発表を行い、友達の発表にも興味関心を持たせる。主・対 ・2学期の行事について知り、自分の2学期の目標を、学習、生活、家庭毎に分けて考えるようにする。主 ・職業に関する調べたことをワークシートにまとめ、発表する。対・深 <p>2 2 3</p>	<p>プリント</p> <p>インターネット</p> <p>ひとりだちするための進路学習</p>	③ ① ② ② ③	国語 数学 音楽	国Ⅰ 数Ⅰ 音Ⅰ

10	<p>○都きり祭 week</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ別研修 ・準備、片付け <p>○秋の生活</p>	<p>○自分の係や担当する活動に責任をもって取り組み、行動することができる。</p> <p>○文化や芸術に親しむことができる。</p> <p>○秋の気候の特徴や体調管理の知識を知り、理解を深めることができる。</p>	<p>8</p> <p>2</p> <p>○都きり祭の目的や期日、活動内容を確認し、準備や練習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の都きり祭の写真や動画を見て、活動に見通しをもたせる。主 ・準備、片付けは役割分担を明確に提示し、計画的に行えるようにする。主 ・校外体験学習の事前学習を通して、期日、日程、決まり、交通手段等の流れをワークシートにまとめる。主・深 ・訪問先へのお礼状やまとめを行い、発表する。対・深 		<p>①</p> <p>②</p>	<p>職業</p> <p>家庭 保健体育</p>	<p>保1</p> <p>職1</p> <p>家1</p>
11	<p>○産業現場等における実習事前学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の流れ ・目標決め ・自習日誌 ・挨拶の練習 ・実習場所の準備 <p>○産業現場等における実習事後学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返り ・お礼状 	<p>○実習に関する事柄について理解を深める。</p> <p>○自分の課題を設定し、解決策を考え、評価・改善し、表現する力を養う。</p>	<p>10</p> <p>○事前学習、実習の内容と決まり、通勤の仕方とルートの確認、振り返り、お礼状作成</p>		<p>①</p> <p>②</p>	<p>職業</p> <p>国語</p>	<p>国2</p> <p>職2</p>

12	<p>○冬の生活 ○2学期振り返り ○冬休み</p>	<p>○冬の気候の特徴や疾病に関する知識を理解し、適切な対処を身につけることができる。</p> <p>○自分の生活と結び付けて考え、自分の課題として具体的にとらえることができる。</p> <p>○2学期の行事や自分の係活動を振り返り、3学期に向けての課題を知ることができる。</p> <p>○ 目標を意識して、冬休みに向けて意欲をもって生活しようとする事ができる。</p>	<p>・タブレット端末で気候や疾病について調べ、まとめる。主</p> <p>・2学期の目標を振り返り、楽しかったこと、反省すべき点、成果など発表を行う。対・深</p> <p>2 冬休みの過ごし方について学習し、1日のスケジュール、課題等について考える。主</p> <p>3</p> <p>1</p>		① 保健体育 国語 理科 家庭	国1 理2 保1 家1
3	<p>○新しい年</p> <p>○3学期に向けて ・行事 ・係活動 ・目標</p> <p>○給食感謝週間</p> <p>○生徒会役員選挙</p>	<p>○前の年の出来事を振り返り、充実した年になるよう目標を立てることができる。</p> <p>○2学期の改善策を踏まえて、2学期の行事や自分の係を知り、見通しをもつことができる。</p> <p>○給食を安全においしく食べることができたことに感謝し、表現することができる。</p> <p>○給食ができるまでの過程を理解し、様々な人が関わっていること、安全に提供されていることを理解することができる。</p> <p>○生徒会役員選挙を通して、選挙への関</p>	<p>○冬休みの思い出を発表する。</p> <p>・冬休みの過ごし方について、生活面や学習面を振り返る。主</p> <p>・給食感謝週間の期日、意義について知り、どんな取り組みをするのか話し合う。対</p> <p>3 給食従事者（栄養士、調理師）の仕事について調べる。主</p> <p>2</p> <p>3 感謝の気持ちを伝える作品づくりに取り組む。主・深</p> <p>○政治、選挙の意義について考える。</p> <p>・立候補者、推薦者について話し合う。対</p> <p>・選挙運動</p> <p>・模擬選挙</p>		① 家庭 国語 数学 社会	国1 社1 数1 家1

		<p>心を深めたり、選挙に行こうとしたりする態度を養う。</p> <p>○ルールを守って、立候補者や推薦者の話を聞くことができる。</p>						
2	<p>○自分の進路</p> <p>○卒業生を送る会</p>	<p>○社会人として、日常生活に必要な態度やマナーを知り、理解を深める。</p> <p>○学習したことを生活の中で実践することができる。</p> <p>○関わりのある人に感謝の気持ちを伝えることができる。</p>	4 3	<p>○社会人としてのマナーについて知る。</p> <p>・卒業後の生活、社会人のマナーについて、調べる。主</p> <p>○お別れ遠足の計画、準備をたてる。</p> <p>・各グループで話し合いながら活動に取り組む。対・深</p>		①	<p>職業</p> <p>社会</p> <p>家庭</p>	<p>社1</p> <p>職2</p> <p>家2</p>
3	<p>○1年間のまとめ</p> <p>○卒業式</p>	<p>○学校生活の思い出をまとめたりすることで、学習してきたことを振り返る。</p> <p>○卒業式の日程や流れを知り、円滑に式に参加できるよう理解を深める。</p>	8 5	<p>○1年間の学習を写真や動画で振り返る。</p> <p>・カレンダーや行事予定表を使い振り返る。主</p> <p>・友達と話し合いながら、想起し振り返る。対・深</p> <p>○卒業式の練習に取り組む</p>		①	<p>国語</p> <p>特別活動</p> <p>音楽</p> <p>職業</p>	<p>国2</p> <p>音1</p> <p>職1</p> <p>第5章</p>

※授業形態 ①一斉 ②グループ ③個別

高等部 年間指導計画		第3学年	B グループ () Aグループ	教科・領域名 (生活単元学習)			年間指導時数	123 (158)	
指導目標		<p>○自立した生活や社会参加に向けて、实际的・総合的に学習し、社会の一員として必要な知識や技能を習得する。(知識・技能)</p> <p>○自分の考えを伝えたり、友達の意見を聞いたりしながら話し合いやまとめ作業の活動をする。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>○様々な単元の活動を通して、生活上の望ましい習慣や態度を身に付ける。(学びに向かう力・人間性等)</p>							
学期	月	単元(題材)	単元(題材)目標	時数	学習活動内容 指導の手立て	教材等	授業形態	関連する教科	学習指導要領位置づけ
1	4	○新しい学校生活	<p>○様々な人達との交流や環境に慣れ、自ら関わりをもとうとすることができる。(学・人)</p> <p>○学級の友達や教師の名前を覚えて、挨拶や自己紹介をすることができる。(思・判・表)</p> <p>○1年間の行事や季節との関連を知り、予定表や年間目標を作ることができる。(知・技)</p>	5 (8)	<p>○新しい学級や学年について知る。</p> <p>・学級・学部の教師や友達の顔と名前を、視覚的に知らせる。主</p> <p>○自己紹介カードを作成し、発表する。</p> <p>・カードに使う好きな写真やイラストを教師と一緒にインターネットで検索する。主・深</p> <p>・自分で選んだ素材をカードに貼らせる。主・対</p> <p>・自分のできる方法を選択し、相手に伝えやすい方法を見つけさせる。対・深</p>	<p>教師・生徒の写真名前カード 画用紙 イラスト 写真 マジック等</p>	<p>①</p> <p>③</p>	<p>国語</p> <p>国語</p> <p>国語</p>	<p>A—ア</p> <p>A—ウ</p> <p>A—エ</p>
		○学部集会	<p>○新入生と在校生とのコミュニケーションを図り、生徒間の親睦を深めることができる。(学・人)</p>		2 (3)				

5	○体育発表会	○徒走や団技のルールが分かり、競技に参加することができる。(知・技) ○集団での活動にすすんで参加し、協力して競技や団技の練習、応援を行うことができる。(思・判・表) ○応援グッズや団装飾作りを通して、体育発表会を楽しみにし、意欲をもって取り組むことができる。(知・技)	6 (7)	り、すすんでコミュニケーションをとる。対 ○体育発表会について学習する。 ・過去に行われた体育発表会のビデオや写真を見て、体育発表会のイメージをもつ。主・対 ・自分が何困なのかを意識させながら、競技内容を具体的に提示し、繰り返し練習に取り組ませる。主・深 ○体育発表会に向けて準備をする。 ・応援グッズの製作において、好きな素材を選択し、応援への意欲を高める。主・深 ・団装飾の飾りなどを作り、それがテントなどの装飾に使われていることに気付かせる。主 ○体育大会を振り返る。 ・写真や動画などで振り返り、選択肢の中から体育発表会の感想を選ばせる。主・対 ・体育発表会を思い出し、絵を描いたり、簡単な文を作ったりする。対・深	PC 大型モニター はちまき 応援グッズに必要な材料(ペットボトル、平テープ、スズランテープなど、様々な材料を準備しておく) 花紙 花子ちゃん 両面テープ のり 写真	① ② ① ③	体育 体育 数学 美術 国語 美術	A—ア A—ウ A—(イ)㊦ A—ア (ア)、(イ) A—イ、ウ A—ア (ア)、(イ)	
	○夏野菜を育てよう	○植物の特徴やその成長の様子について理解をし、収穫への期待をもって観察することができる。(学・人) ○自然の事物・事象について理解をすることができる。(知・技)	4 (7)	○タブレット端末を活用し、夏野菜を植える準備をする。 ・プランターや畑に土や資料を入れることで野菜が育つことを知らせる。主 ・タブレット端末で野菜の検索をし、自分が育ててみたい野菜を選ばせる。対・深 ○夏野菜を育てる。	プランター 種、苗、肥料、土など	① ② ③	理科	Aア(ア) ㊦、㊧)	

				<ul style="list-style-type: none"> ・苗や種、土に触れ、その感触を確かめながら、プランターや畑に植える。【主】 ・定期的に写真を撮るなどして、継続的に観察・記録ができるようにする。【対・深】 				
6	<ul style="list-style-type: none"> ○産業現場等における実習 ○季節の行事（七夕） 	<ul style="list-style-type: none"> ○職業生活に必要な能力を高め、実践的な態度を身につける。（学・人） ○実習の内容を知ることができる。（知・技） ○実習を振り返り、まとめをしたり、礼状を書いたりすることができる。（思・判・表） ○日本の生活の中の伝統文化に親しむために七夕の由来を知り、願い事を書くことができる。（学・人） ○はさみやのりを使いながら、自分のイメージを形にすることができる。（思・判・表） 	<p>7 (8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○作業、余暇活動の内容を知る。 ・一緒に活動する教師、生徒をわかりやすく知らせる。【主】 ・昨年度の写真や動画を見せるなどして、作業の内容を具体的に伝える【主・対】 ○実習のまとめをする。 ・なぞり書きをしたり、イラストを貼ったり、自分のできる方法を選択させる。【主・対】 <p>8 (9)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○七夕の由来を知る。 ・タブレット端末を使用し、由来を調べることで、七夕への興味関心を高める。【主・対】 ・2～3つの選択肢の中から、願い事を選ばせる。【対・深】 ○七夕飾りを作る。 ・実際の笹や七夕飾りの画像、七夕祭りの様子を視聴し、作りたいものへのイメージを膨らませる。【主・深】 	<p>教師。生徒の写真活動のイラストや写真</p> <p>写真イラスト タブレット端末等 折り紙など</p>	<p>① ②</p> <p>①③</p>	<p>社会</p> <p>国語</p> <p>国語</p>	<p>ア（ア）④ （イ）⑦</p> <p>Bーア</p> <p>Aイ</p>	
7	○夏の生活	○気候に合わせて、健康管理や体調について考えることができる。（学・人）	<p>2 (2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○夏の健康管理について方法を知る。 ・暑い時はどうすれば涼しくなるか、様々なグッズを使って体感させる。【主】 ・熱中症対策にはどんなものがあるか、タブレット端末を使って調べさせる。【主・対】 	<p>冷感グッズなど イラスト タブレット端末等</p>	①	保健 体育	Iーアイ	

		○夏野菜を育てよう	○野菜の特徴やその生長の様子について確認し、収穫の喜びを味わうことができる。(知・技)	6 (9)	○野菜の生長を確認する。 ・植え付けの時の苗の様子と、現在の様子を写真を見比べることによって実感させる。 主 ・深 ○収穫をする。 ・それぞれに合った収穫の方法で収穫させる。 ・生で食べられるものについては、採れたてを試食し、野菜の味を感じさせる。 対・深	野菜の 写真	①	理科	Aア (ア)
		○夏休みの過ごし方	○夏休みの計画や目標を立て、規則正しい生活を意識することができる。(学・人)	1 (3)	○夏休みの過ごし方について知る。 ・クイズ形式にするなど、望ましい生活習慣について考えさせる。 対	イラスト カレンダー 等		社会 国語	ア (ア) ㊦ (イ) ㊦ Aイ
2	9	○2学期に向けて	○1学期の活動について振り返り、2学期に取り組む行事について見通しをもつことができる。(学・人)	3 (4)	○2学期に取り組む行事を確認する。 ・1学期の行事を写真や映像で振り返り、2学期の行事を写真や映像で見通しを持たせる。 主	写真 タブレット	②	国語 国語	A-ア A-ア
		○シェイクアウト訓練	○自然災害などについて理解することができる。(知・技) ○災害時の身の守り方や避難方法について理解し、落ち着いて訓練を行うことができる。(思・判・表)	2 (2)	○自然災害と災害時の避難の仕方を知る。 ・地震の映像や避難訓練等の映像を見せ、避難訓練のイメージをもたせる。 主 ○教師と一緒に身の守り方や避難方法を確認し、避難の練習をする。 ・避難経路を写真や図で提示し見通しを持たせ、騒がずに落ち着いて行動させる。 主・深	写真 タブレット	②	社会 国語	ウ-(ア)-㊦ A-ア

	○冬野菜を育てよう	○収穫の期待をもって世話や観察をすることができる。(思・判・表) ○植物の特徴や成長の様子について理解することができる。(知・技)	8 (11)	○冬野菜を植える。 ・冬野菜の種類を知り、何を植えるか教師と一緒に考え選択させる。主・対 ・教師と一緒にプランターや学級園を整地し、苗や種を植える。主・対 ○野菜の世話と観察をする。 ・教師と一緒に定期的に追肥や水やりをし、成長していく様子を写真で記録させる。主・深 ※学級の実態に応じて、2学期中に様々な計画をして実践する。	プランター ー 苗 種 肥料	②	理科 理科	A-④ A-⑥
10	○都きりウィークについて	○都きり祭について知ることができる。(知・技) ○都きり祭に向けて何を作るかを決め、様々な材料を使って作品を作ることができる。(思・判・表)	14 (17)	○都きり祭について知る ・昨年の都きりウィークの様子を写真や動画等で確認し見通しを持たせる。主 ○何を作るかを決め作品を作る。 ・どんな作品を作るのか、いくつかの選択肢の中から選ばせる。主・対 ・教師と一緒に画材等を準備し、作品をみんなと協力して作る。主・対	写真 タブレット 画材等	②	国語 美術 美術	A-ア A-(ア) A-(イ)

11	<p>・後期現場実習について学ぼう</p>	<p>○後期現場実習の内容を知ることができる。(知・技) ○自らすすんであいさつをすることができる。(思・判・表) ○情緒を安定させて、一定時間活動に取り組むことができる。(学・人)</p>	14 (16)	<p>○現場実習の内容を確認する。 ・前期現場実習を写真や映像で振り返り、後期現場実習で取り組む内容について写真や映像で見えて見通しを持たせる。主 ○後期現場実習に取り組む。 ・自分なりの挨拶や報告ができたり、時間いっぱい活動に取り組んだりする姿勢を賞賛する。主・対</p>	カラー ボール 洗い・ シール 貼り・ ボール ペン組 み立て 等	②	職業	・イー (ア)ー ㊦
12	<p>○季節の行事(クリスマス)を楽しもう。</p> <p>○2学期を振り返ろう</p>	<p>○クリスマスに向けて、みんなと協力して作品を作ることができる。(思・判・表)</p> <p>○2学期の行事を振り返り、自分を見つめることができる。(学・人)</p>	6 (9)	<p>○クリスマス作品作りに取り組む。 ・何を作るかいくつかの選択肢の中から選ばせ、役割分担しながら協力して作品を作りあげることができるようにする。主・対</p> <p>○2学期の活動の様子をプレゼンテーションで振り返る。 ・2学期の活動の様子を写真や動画でまとめスライドを作成し頑張ったことなどを振り返ることができるようにする。対・深</p>	絵・ツ リー・ 飾り付 け・リ ーフ作 り	②	美術 社会	・A-ア- (イ) ・ア- (ア)- (イ)
			7 (8)		・写真・ タブレッ ト			

3	1	○3学期に向けて	○卒業学期を迎え新年の抱負を立てることができる。(思・判・表)	2 (2)	○3学期の行事をイラストや写真にて確認する。 (始業式・外部販売・お別れ遠足・卒業など) ・今年頑張りたいことを教師と一緒に考えて、教師がパソコン入力したもの(両面テープ貼り付けたもの)を準備する。主 ・教師と一緒に両面テープをはがし台紙に貼り付ける。対	画用紙 鉛筆 色鉛筆 消しゴム マジック のり PC パワーポイント資料	③	国語	A-ア
		○給食について知る (給食感謝週間)	○給食について知り、感謝の気持ちを伝えることができる。(知・技)	6 (4)	○給食について知る。 ・パワーポイント資料をみて、給食を食べることの意味を知る。 ・給食ができるまでにどんな場所や人が関わっているのかを知る。 ・教師が準備した感謝の文字(両面テープ貼り付けたもの)を教師と両面テープをはがし一緒に台紙に貼り付けさせる。対・深	①	国語 社会	A-ア ア-(イ)	
		○生徒会役員選挙	○生徒会や選挙について知ることができる。(知・技) ○生徒会に協力することの大切さを考えることができる。(学・人) ○各候補者の話を聞き、投票することができる。(思・判・表)	3 (7)	○生徒会や選挙の仕組みについての説明を聞いて理解し、選挙の大切さについて考える。 ・パワーポイント資料を見せながら説明をする。主 ○選挙ポスターを見て候補者を知り、候補者の演説を聴いて、誰に投票するかを決める。 ・教室にも候補者の顔写真を掲示し、教師と一	① ①	社会 社会 国語	ア-(イ) ㊦㊧ イ-(イ) ㊦ A-ア	

	<p>2 ○お別れ遠足</p>	<p>○遠足の目的と目的地、日程を知ることができる。(知・技) ○遠足のお別れ会で発表する内容を考え、準備をすることができる。(思・判・表) ○遠足の目的地でマナーを守り活動できたかを振り返ることができる。(学・人)</p>	<p>4 (4)</p> <p>緒に日々確認するようにする。 主・対 ・演説の内容を分かりやすいようなフレーズにまとめて、理解しやすいようにして伝える。 対 ○投票所へ行き実際に投票をする。 ・本番の前に教室で投票の予行練習を行う。 対・深</p> <p>○遠足の目的や目的地、日程を知る。 ・場所の写真を用意し提示する。 主・対 ・目的地でお別れ会を行うことを伝え、どうい う出し物にしたら良いか本人ができそうな いくつかの選択肢を用意し、その中から選択 できるようにする。 対・深 ○遠足のお別れ会で発表する内容を教師や友 達と考え、準備や練習をする。 ・あらかじめできる内容や準備物を用意してお く。 主 ○遠足の目的地で、どんなことに気をつけて過 ごしたか教師と一緒に振り返る。 ・教師と一緒にワークシートに記入し発表す る。 対・深</p>	<p>模擬投票用紙</p> <p>PC 大型モニター</p> <p>ワークシート</p>	<p>③</p> <p>① ③</p> <p>③</p> <p>③ ①</p>	<p>音楽</p> <p>国語</p>	<p>A-(ウ)- ① ㊦</p> <p>A-エオ B-イ</p>
--	-----------------	--	--	--	---	---------------------	---

3	○1年間の振り返り（卒業に向けて）	○今年度を振り返り、頑張ったことや反省点をまとめることができる。（学・人）	5 (9)	○1年間の活動を動画と写真で振り返る。 ・1年間の活動の様子を写真や動画でまとめスライドを作成し振り返ることができるようにする。 深 ○教師からの評価を聞いて1年間の自分の成長を知る。 ・それぞれが頑張っていたことをスライドや動画の中で伝える。 深 ○卒業後の抱負を考えて発表する。 ・頑張った活動の写真を画用紙に貼り、抱負を書かせる。 対・深 ○作品の整理やアルバムの作成を行う。	PC 大型モニター 画用紙 はさみ のり ペン	① ① ③ ③ ①	国語 美術	A-ア B-イ A- ア -(イ)
	○卒業式	○卒業を意識して今まで関わってきた人達への感謝の気持ちを持つことができる。（学・人） ○卒業を迎え今まで経験したことを基に活用することができる。（学・人）	8 (9)	○今年の卒業式の様子を写真や動画などで振り返り、今年は卒業する側だということを知る。 ・動画や写真を使って式の流れをイメージできるようにする。 対・深 ○証書授与や歌など、式の練習をする。 ・ひとつひとつの動きを何回も確認させる。 対 ○今まで関わってきた人たちへの感謝の気持ちをもって卒業式に参加する。 ・3年間の生活を振り返らせ本人の達成感やお世話になった人への感謝の気持ちをもって式に参加することを伝える。 対・深	PC 大型モニター	① ①	音楽	A-(ウ)- ① ㊦

※授業形態 ①一斉 ②グループ ③個別

高等部 年間指導計画		I学年	通常・重複	教科・領域名（総合的な探究の時間）			年間指導時数	18	
指導目標		<ul style="list-style-type: none"> ・様々な活動を行い、友達の内の中にある思いを知ることを通して、お互いに分かり合うことの大切さについて考える。（知識・技能） ・課題に対する自分の思いや考えをまとめ友達に伝えることができる。（思考力・判断力・表現力） ・お互いを認め合い、集団の中で人と円滑に関わろうとする態度を養う。（学びに向かう力、人間性等） 							
学期	月	単元（題材）	単元（題材）目標	時数	学習活動内容 指導の手立て	教材等	授業 形態	関連する教 科	学習指導要領 位置づけ
I	4	○仲間つくりの 輪	・新しい仲間に自分のことを分かりやすく伝えようとする事ができる。	2 1	<ul style="list-style-type: none"> ○対面式に向けて、自己紹介カードを書いたり、発表の練習をしたりする。 ・自己紹介の項目に沿ってそれぞれの方法で書いたり発表の練習をしたりすることでわかりやすく伝えることができるようにする。 主・対 ○対面式での聞く態度、発表する態度に気をつけて参加する。 ・好ましい態度を伝え、その都度言葉かけをすることで態度に気を付けて参加することができるようにする。 主 	個人写真 色画用紙	② ①	国語 国語	思・判・表 C-エ-① 学び・人 ウ-②
	5	○仲間のつくり方を知ろう。	・運動会を充実させる団の仲間として必要なことを考えることができる。	1	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでの運動会の様子を知り、盛り上げるために何が必要か話し合う。 ・DVD等でこれまでの運動会の様子を見ることで具体的に考えやすいようにする。 主 	DVD	②	国語	思・判・表 A-オ
	6	○仲間のつくり方を知ろう。	・産業現場等における実習において充実した実習にするために、実	2	<ul style="list-style-type: none"> ○現場実習において、まわりの人に気を配り、教えたり、励ましあったりする必要性について話し合う。 	プリント	①	職業・家庭	A-イ- (イ)

		<p>習に参加する一員として他の人と、どのような協力ができるか考えることができる。</p> <p>・現場実習を終えて、実習中に気付いたことを発表し、協力することの大切さを理解することができる。</p>	I	<p>・実際場面を提示して、どうすればよいかを具体的に考えられるようにする。主・深</p> <p>○協力しながら取り組むと時間の短縮、作業量の減少や楽しく活動できることを知る。</p> <p>・一人で行った場合、協力して行った場合の作業量や時間の違いを体験して比較し実感できるようにする。主・深</p> <p>○現場実習での取組の反省を発表する。</p> <p>・みんなで取り組んだことを振り返りながら、ひとりで取り組んだ場合にどんなことに支障があるか考えさせる。</p> <p>・一人で取り組んだ場合、協力して取り組んだ場合に項目立てて考えるようにする。主</p>	プリント	①	<p>職業・家庭</p> <p>職業・家庭</p> <p>職業・家庭</p>	<p>A-ア- (イ)</p> <p>C-イ-② A-ア</p>
7	○仲間のつくり方を知ろう。	<p>・見学する場所について学級の友達と協力して調べ、意欲的に見学することができる。</p> <p>・身近な会社で働く人の様子を見て、将来の自分の働く姿を想像しな</p>	I I	<p>○見学する場所や日程、移動方法について調べる。</p> <p>・日程や移動方法について、カレンダーを使ったり、スライドを見たりすることで視覚的に理解し、見通しをもって見学できるようにする。主</p> <p>○見学を通して、疑問に思ったことや知りたいことを質問し、理解を深める。</p> <p>・見学する場所について、何をやる場所か考え選択する場面を作ることでイメージがもてるようにする。主・深</p> <p>○見学を振り返り、社会は働く人達で成り立っていることに気付き、働くことの意義や大切さを理解す</p>	DVD プロジェクター	① ①	<p>数学</p> <p>国語</p> <p>職業・家庭</p>	<p>C-(ア) (イ) 思・判・表 イ-①②</p> <p>A-ア-① ②</p>

			がら、進路について考えを広げることがができる。		る。 ・見学場所の写真を見ながら、働くことの意義や大切さに繋がる言葉かけや問いかけをすることで「働く」とは何か気付けるようにする。主・深				
2	9	○職場生の職場を見学しよう ※生徒の実態に即して、適切なテーマを設定し、ICT機器等を活用して調べ学習を行う。	・卒業生の就職先を見学することで、自分の長所や課題に気づき、意欲を高めることができる。	2	○卒業生の進路先について、調べる。 ○職場を見学し、知りたい情報などを記録する。 ・生徒の知りたい気持ちを大切にしながら、教師側が進路先の見てほしい、知ってほしいポイントを絞って言葉をかけながら調べ学習を行うようにする。主	DVD プロジェクター スクリーン	①	職業・家庭	B・C 思・判・表 B-ウ A-エ
	10								
	11		・見学について振り返り、活動の内容や施設についてまとめることで、自分の考えをまとめ、発表することができる。	3	○調べた情報をまとめ、相手に分かりやすく伝えようとする事ができる。 ・項目立ててまとめることで自分にも相手にもわかりやすく発表できるようにする。主・対				
	12								
3	1	○自分を知ろう	・互いの個性について話し合うことにより、自分のよさや個性に気づき自己理解を深め、互いに認め合うことを大切にして行動することができる。	1	○友達の長所について考える。 ・具体的な場面での言動を想起しながら考えることで、人の長所に気付けるようにする。主・対	プリント	①	社会	ア-①②
	2			1	○自分の長所を知る。 ・自分の長所について自分自身で気づいたことをまとめる。主				
	3			1	○自分自身の長所を生かして周りの友達と関わる				

				<p>ためにはどうすればよいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な場面での言動を想起しながら考えることで、人の長所に気付けるようにする。主・対 ・グループ内で、友達の長所を伝えあうことで、自分の長所を知れるようにする。主・対 ・友達が気付いた自分の長所を振り返り、気付いたことをまとめる。主・対・深 				
--	--	--	--	---	--	--	--	--

※授業形態 ①一斉 ②グループ ③個別

高等部 年間指導計画			2学年	通常・重複	教科・領域名（総合的な探求の時間）	年間指導時数	18		
指導目標			<p>○集団活動や体験的な活動を通して、自ら考え、計画立案する力の育成を図る。（知識・技能）</p> <p>○課題に気づき、自ら考え、情報を集め、まとめて表現する力の育成を図る。（思考力・判断力・表現力）</p> <p>○仲間と協働的に取り組み、お互いの良さを生かしながら、よりよい生活を実現しようとする力の育成を図る。（学びに向かう力、人間性等）</p>						
学期	月	単元(題材)	単元(題材)目標	時数	○学習活動内容 ・指導の手立て	教材等	授業形態	関連する教科	学習指導要領位置づけ
I	4	○修学旅行	・修学旅行の行き先、日程、目的について理解することができる。（知・技）	1	○旅行の目的、日程、交通手段を知る。 ・イラストや写真を用いて、行く場所、交通手段を分かりやすく伝える。交通手段などは、動画を用いることでよりイメージを持ちやすいようにする。主	スライド	①	社会 国語	イ(ア)㊦ Aア Aウ
	5	○修学旅行	・班別研修の目的、場所について知ることができ、仲間と話し合いながら計画を立てることができる。（思・判・表）	2	○班別研修先について調べ、日程や買い物学習を計画する。 ・生徒の実態に応じて、研修内容（時間・行き先・交通機関）を提示し、生徒の興味関心を高める。主・深 ・買い物学習では、使える金額を決めることで、考えながらお金を使うようにする。主	iPad PC	②	社会 数学 国語	イ(ア)㊦ Aア
	6	○修学旅行	・研修先でのマナーや公共機関の利用の仕方について理解することができる。（知・技）	2	○旅行先でのマナーや利用する公共機関について調べる。 ・研修別での過ごし方、乗り物の乗り方、トイレ等の使い方など、具体的に調べる項目を提示する。主	iPad ワー クシ ート	①②	社会 国語	イ(ア)㊦ イ(イ)
	7	○校外学習	・公共の場でのマナーを守りながら集団行動をすることができる。（学・人）	1	○校外学習へ行き、集団行動を体験する。 ・集団行動でのマナーや、公共の施設を利用することにより、公衆道徳を身に付け、社会性を高めることができるようにする。対 ・事後学習を行うことで、修学旅行への関連づけや、集団行動への意識を高められるようにする。対・深	ワー クシ ート	①	社会 国語	イ(イ)㊦ Cウ

2	9	○修学旅行	・修学旅行での研修計画を立てることができる。(思・判・表)	3	○研修先の場所、使う交通機関を考え、計画を立てる。 ・決められた時間内で、どう行動すればよいか、グループで考えさせる。 <u>対</u>	修学旅行のしおり iPad 写真 模造紙 ペン しおり	②	社会 数学	ア(イ)① C(イ)①
	10	○修学旅行 ○都きり祭	・修学旅行についての模造紙にまとめ、発表することができる。(思・判・表)	1 1	○修学旅行での研修内容を模造紙にまとめる。 ・研修先、利用した交通機関、買い物、写真などの項目をあげ、役割分担をしながら、まとめていくようにする。 <u>主・対</u> ○都きり祭で、パネルでの発表を行う。 ・写真やイラストを用いて、分かりやすく伝える。 <u>主</u>	スライド PC iPad スライド PC iPad	② ① ②	国語 社会	Bイ オ(ア)①
	11	○地域を知ろう	・住んでいる地域について興味を持つことができる。(学・人)	1 1	○事前学習を通して、都城について考える。 ・都城の特産品や、人口、観光地など、写真や映像を用いて、地域について興味関心を持たせる。 <u>主</u>	スライド PC iPad スライド PC iPad	① ②	社会 国語	オ(ア)⑦
	12	○地域を知ろう	・都城について知りたいこと、疑問に思っていることなど、課題を見つけることができる。(学・人)	1	○都城のことについてグループで話し合う。 ・何について調べたいか、どんなことを知りたいかなど、自ら考えさせる。 <u>主</u> ・周りの意見もききながら、意見交換をおこなう場面設定を行う。 <u>対・深</u>	スライド PC iPad スライド PC iPad	②	社会 国語	ウ(ア)①
3	1	○地域を知ろう	・グループの課題について話し合うことができる。(思・判・表)	1	○iPadで都城のことを調べる。 ・調べやすいように、キーワードをあげる。 <u>主</u>	スライド PC iPad	②	国語 社会	Cオ オ(イ)⑦
	2	○地域を知ろう	・調べたことを、分かりやすくまとめることができる。(思・判・表)	1 2	○模造紙に調べたことをまとめる。 ・写真やイラストなども用いて、分かりやすくまとめる。 <u>主・対</u> ・グループ内で調べた内容を共有し、意見をまとめさせる。 <u>対・深</u> ○発表の練習を行う。	模造紙 ペン 写真 iPad 模造	②	国語 社会 美術	Bア オ(イ)⑦
	3	○地域を知ろう	・他のグループの発表にも関心を持ち、まと				①	国語	Bオ

		う	め方、伝え方などを知ることができる。(学・人)	<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担を明確にし、発表の順番を話し合いで決めさせる。<input type="checkbox"/>対 ・他のグループの発表を聞いて、感じたこと、発表の仕方など、振り返る機会を設け、まとめとする。<input type="checkbox"/>対・深 	紙 PC		社会	オ(イ)㊦
--	--	---	-------------------------	--	---------	--	----	-------

※授業形態 ①一斉 ②グループ ③個別

高等部 年間指導計画		3学年	通常・重複	教科・領域名（総合的な探求の時間）			年間指導時数	35	
指導目標		<p>○探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付ける（知識・技能）</p> <p>○自ら課題を見つけ、考えたり、調べたり、聞いたりすることができる。（思考力・判断力・表現力）</p> <p>○人とのつながりの大切さを理解したり、よりよい社会を実現しようとしたりする態度を身に付ける。（学びに向かう力、人間性等）</p>							
学期	月	単元（題材）	単元（題材）目標	時数	○学習活動内容 ・指導の手立て	教材等	授業形態	関連する教科	学習指導要領位置づけ
1	4	○福祉サービスについて知る。	○卒業後の自分について考えよう。（知・技）	3	○福祉施設が提供しているサービスについて知る。 <u>主</u> ・インターネットやイラストを用いて、視覚的に分かりやすく伝え、イメージをもちやすくする。	プリント スライド iPad	①	社会 職業	イ(ア)㊦ A-イ(イ) A2-(ア)
	5	○職業・職種について考える。	○どんな仕事があるのか知ろう。（知・技）	6	○様々な職業・職種について知る。 <u>主</u> ・職場見学や映像を用いる。	iPad	①	職業	A-イ(ア)
	6	○個別実習について考える	○一人で実習に行く意味、実習を積み重ねる意義について考える。（思・判・表）	4	○実習の心構えを理解したり、通勤ルートの確認をしたりする。 ・通勤練習をする。 <u>主</u> ・実習日誌に目標を記入したり、心構えを読んだりする。 <u>主</u>	実習日誌 自転車	① ② ③	社会 国語	ア(イ)㊦ B-(ア) C-(エ)
	7								
2	9	○高総文祭出演	○合唱を通して、同世代の友だちと交流することができる。（学・人）	4	○高総文祭に出演をする。 音楽活動を通じた、同世代交流を楽しむ。 <u>主・対</u>	発表曲 DVD	①	音楽	A2-(ア)
	11	○地域とつながる	○卒業後の関係機関を知ることができる。（知・技）	2	○卒業後の生活において、必要な関係機関の名称と業務内容を知る。 ・関係機関の方から直接話を聞いて理解を深める <u>深</u>	プリント スライド ワークシート	① ②	社会	イ(ア)㊦

	12	○縦割り活動	○異学年と交流をしよう。(学・人)	5	○活動内容を話合う。 ・生徒主体で司会進行を行い、ルール作りや準備物、担当などの意見を出し合う。主・対 ○話し合った内容を基に、活動を行う。 ・ルールやマナーを意識しながら活動を行わせる。主	プリント	① ②	国語	A-(ア)
3	1	○卒業製作	○卒業製作をすることができる。(学・人)	4	○卒業制作の作品を何にするかを話し合う ○作品を協力して作り上げる。 ・共同制作を通して、母校に残したい大切な品物を一緒に作りあげる気持ちをもつ。主・対	スライド プリント 製作に必要な道具	① ②	美術	A-ア
	2			○卒業後の生活	○卒業後の生活について考えることができる。(思・判・表)	3	○病院機関について調べたり、福祉サービスを提供している事業所について理解を深めたりする。 ・インターネットで調べる。主 ○ライフプランを設計する。 ・卒業後の夢や目標を考え、記入させる。主	iPad プリント	① ② ③
	3	○大人のマナー・エチケット	○スーツの着こなし方、社会人としてのメイクの仕方を理解することができる。(知・技)	3	○メイクや洗顔を行う。 ・メイクの専門家から、場に適したメイクの仕方を学ぶ。主・対・深 ・ネクタイの結び方を見せながら説明する。主・対	プリント メイク道具 スーツ	①	社会	イ(ア)㊦

※授業形態 ①一斉 ②グループ ③個別

高等部 年間指導計画		第1 学年	(I 課程) グループ	教科・領域名 (美術)			年間指導時数	70	
指導目標		表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。							
学期	月	単元 (題材)	単元 (題材) 目標	時 数	学習活動内容 指導の手立て	教材等	授業 形態	関連する 教科	学習指導要領 位置づけ
1	4	オリエンテーション	○1年間の学習内容や美術の授業のルールを知り、見通しを持つことができる。(学・人)	2	○自己紹介カードを書く。(主・深) ○美術の授業でのルールを確認する。(対・深) ○一年間の学習内容を知る。(主・対)	筆記用具	①	国語 技術	鑑賞 表現
	5	自画像	○自分と真剣に向き合い、自分らしさと顔の構造を考えて描くことができる。(思考判断・表現)	12	○高等部に入学した今の自分の気持ちと向かい合い、自分の写真を見ながら絵を描く。(対・深) ○黒マジックで輪郭や陰影をつける。(主・対)	ワークシート 人型枠 写真 鉛筆・黒マジック	①	国語 技術	鑑賞 表現
	6								
7									
2	9	アート展作品 版画「回転版画で表現しよう」	○好きな形を配置して版を作り、色の三原色(赤青黄色)を用いることで表現できる色の美しさを体験することができる。(知識・技能)	12	○季節の形探しをタブレット画像で行い形を描く。(主・深) ○好きな形を配置してアイデアスケッチをする。(主・深) ○いろいろな道具を使って版を作る。(対・深) ○色の三原色を用いて刷りをする。(主・深)	ワークシート・回転版画版・用紙 インク ローラー カメラ	①	国語 技術	鑑賞 表現
	10								
	11								
	12	デザイン「自分の名前をデザインしよう」	○レタリングの周りに点と線を使ってデザインすることができる。(知識・技能)	6	○デザインとレタリングについて説明する。(対・深) ○画用紙に自分の名前をレタリングし、黒ボールペンを使って文字の周りを点と線でデザインする。(主・深)	レタリング用紙・画用紙・鉛筆 カーボン紙 定規・ボールペン	①	国語 技術	鑑賞 表現
3	1	自由制作	○身近な見慣れた物をよく観察して、素材で「そっくり」に作ることができる。	14	○興味のある技法からイメージを膨らませ、制作の計画を立てる。(主・深)	絵具 鉛筆	①	国語 技術	鑑賞 表現
	2	テーマを決めて作							

	3 ろう！	<ul style="list-style-type: none"> ○自他の作品のよさや美しさを感じ取って味わうことができる。(知・技) ○絵を鑑賞し、画家の気持ちになって塗り絵をすることができる。(思・表) 	<ul style="list-style-type: none"> ○色の塗り方に注目する。(主・対) ○好きな作品を選んで色塗りをする。(対・深) ○画家の作品の色彩にとらわれず自由に塗り絵をする。(主・対) 	画用紙 素材 墨汁			
--	----------	---	---	-----------------	--	--	--

※授業形態 ①一斉 ②グループ ③個別

高等部 年間指導計画		第2学年	(I 課程) グループ	教科・領域名 (美術)	年間指導時数	70			
指導目標		<ul style="list-style-type: none"> ○ 造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫することができる。(知識・技能) ○ 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、豊かに発想し構想を練ることができる。(思考力・判断力・表現力) ○ 創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み完成を豊かにすることができる。(学びに向かう力。人間性等) 							
学期	月	単元(題材)	単元(題材)目標	時数	学習活動内容 指導の手立て	教材等	授業形態	関連する 教科	学習指導要領 位置づけ
1	4 5 6	・オリエンテーション ・削ってカラフル！ スクラッチアート	<ul style="list-style-type: none"> ○1年間の学習内容や美術の授業のルールを知ることができる。(知・技) ○素材感やデザイン、色の変化を楽しみながら制作することができる。(思・判・表) ○つくりだす喜びを味わいながら感性を磨くことができる。(学・人) 	18	<ul style="list-style-type: none"> ○年間の制作活動を把握する。 ・ワークシートや動画などで、年間計画やルールを提示し、生徒に具体的に伝わるようにする。[主] ○スクラッチアート制作。 ・削りたいものを考え、色の変化を楽しめるようにする。[主・対] 	スライド、動画 折り紙、ラミネーター、絵具、 割ばし	②	国語、道徳、自立	高等部(美術)学びに向かう力、人間性等、1段階(イ)
	7	・アート展へ向けて ・みんなの作品を鑑賞しよう	<ul style="list-style-type: none"> ○美術館について調べたり、アート展について学んだりできる。(知・技) ○どのような作品を作るか考えたり、様々な資料を探したり、自分の想いをまとめることができる。(思・判・表) ○自他の作品の良さや面白さを感じ取って味わうことができる。(学・人) 	4	<ul style="list-style-type: none"> ○作品鑑賞 ・生徒間で協力しながら展示作業を行い、自分の作品の気に入った箇所や、友達の作品の感想をワークシートに記入し、発表できるようにする。[対・深] 	ワークシート 折り紙、ラミネーター、毛糸	②	国語、社会、道徳、自立	高等部(美術)学びに向かう力、人間性等、B鑑賞、1段階、(ア)
2	9 10	・仮面を作ろう！ もう一つの私の顔 ・アート展へ向けて ・みんなの作品を鑑賞しよう	<ul style="list-style-type: none"> ○想像力を働かせ、工夫しながら意欲的に作品を制作することができる。(知・技) ○素材の特性を理解し、上手く扱うことができる。(思・判・表) ○自他の作品の良さや面白さを感じ取って味わうことができる。(学・人) 	14	<ul style="list-style-type: none"> ○仮面制作 ・自分の内なるペルソナを、紙粘土と芯材を使用した仮面で表現できるようにする。[主・対] ○作品鑑賞 ・生徒間で協力しながら展示作業を行い、自分の作品の気に入った箇所や、友達の作品の感想をワークシートに記入し、発表できるようにする。[対・深] 	紙粘土、芯材、 絵具、ワークシート ワークシート	②	国語、社会、道徳、自立	高等部(美術)学びに向かう力、人間性等、A表現、1段階、(イ) B鑑賞、1段階、(ア)
	11	・写真を撮ろう！ ・アート展コラボ作品を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> ○タブレット端末の写真アプリや編集アプリの使い方を知り操作できる。(知・技) ○芸術的な視点を持ちながら写真作品を制作することができる。(思・判・表) ○友達と協力や分担をしながら、一つの作品を造り上げることができる。(学・人) 	8	<ul style="list-style-type: none"> ○タブレットで撮影してみよう！ ・自分のタブレット端末になれ、テーマに沿って写真を撮影できるようにする。[主・対] ○アート展作品制作 ・自分の好きな表現方法で、大きな作品に挑戦できるようにする。[主・対] 	タブレット端末、 写真用紙、 ワークシート	②	国語、数学、道徳、自立、	高等部(美術)学びに向かう力、人間性等、A表現、2段階、(イ)

	12	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなの作品を鑑賞しよう ・アート展を鑑賞しよう 	<ul style="list-style-type: none"> ○色々な表現方法や技法があることを知る。(知・技) ○美術館の様子を動画で見ながら、様々な作品から刺激を受けて自分の制作へ繋げることができる。(思・判・表) ○自他の作品の良さや面白さを感じ取って、発表をすることができる。(学・人) 	4	<ul style="list-style-type: none"> ○作品鑑賞 ・生徒間で協力しながら展示作業を行い、自分の作品の気に入った箇所や、友達の作品の感想をワークシートに記入し、発表できるようにする。<u>対・深</u> 	ワークシート、動画	②	国語、数学、道徳、自立	高等部(美術) 学びに向かう力、人間性等、B鑑賞、1段階、(ア) A表現、1段階、(イ)
	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ぐるぐるまきまき！ スtringアート ・玉ねぎの皮で絞り染めをしよう！ 	<ul style="list-style-type: none"> ○素材や用具の特性を理解し、自分で考え扱うことができる。(知・技) ○想像力を働かせ、工夫しながら意欲的に作品を制作することができる。(思・判・表) ○友達と話し合いながら、協力して創作の楽しさを味わうことができる。(学・人) 	8	<ul style="list-style-type: none"> ○Stringアート ・木っ端や釘、石、毛糸、糸など、様々な素材を使用して楽しめるようにする。<u>匡・対</u> ・生徒の工具等の扱いに注意する。<u>匡</u> ○絞り染め ・玉ねぎ染めで、色々な模様を表現できるようにする。<u>匡・対</u> 	木っ端、釘、石、毛糸、糸、金づち、ボンド 玉ねぎの皮、ミヨウバン、エアコバック、輪ゴム	②	国語、数学、道徳、自立	高等部(美術) 学びに向かう力、人間性等、共通事項、1段階、(ア)
3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなの作品を鑑賞しよう ・1年間のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ○自他の作品の良さや面白さを感じ取り、次の制作の意欲を高めることができる。(知・技) ○様々な作品に触れ、美的センスを磨き、生活を豊かにすることができる。(思・判・表) ○自分の作品を大切に扱い、家庭で展示できるようにする。(学・人) 	10	<ul style="list-style-type: none"> ○作品鑑賞 ・生徒間で協力しながら展示作業を行い、自分の作品の気に入った箇所や、友達の作品の感想をワークシートに記入し、発表する。<u>対・深</u> 	ワークシート	②	国語、数学、家庭、理科、道徳、自立	高等部(美術) 学びに向かう力、人間性等、B鑑賞、1段階、(ア)

※授業形態 ①一斉 ②グループ ③個別

高等部 年間指導計画		第3学年	(美術)グループ	教科・領域名(美術)			年間指導時数	70	
指導目標		<p>○造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。(知識・技能)</p> <p>○造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し、豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができる。(思考力、判断力、表現力等)</p> <p>○美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、完成を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。(学びに向かう力、人間性等)</p>							
学期	月	単元(題材)	単元(題材)目標	時数	学習活動内容 指導の手立て	教材等	授業形態	関連する 教科	学習指導要領 位置づけ
1	4	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の学習内容を確認できる。(知・技) ・美術授業でのルールを確認できる。(知・技) 	4	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容や授業のルールを知る ・モニターで美術授業のルールを確認できるようにする。主 	筆記用具 ファイル パソコン・モニター	1 3	国語	高等部(美術) 学びに向かう力、人間性等、1段階(イ)
	5	点描画:鑑賞 「好きな物を点で描こう」	<ul style="list-style-type: none"> ・点描技法を知り、主題の「好きな物」を決めてアイデアスケッチ・着色計画を立てることができる。 ・黒白青の画用紙に下絵を転写し、輪郭を中心にして、点描画する。 ・面塗りをしてその上から点描画する 	14	<ul style="list-style-type: none"> ○点描画制作 ・描きたい物を、タブレットを使って考えられるようにする。主・対 ○転写シートを使ってしっかり下絵が描けているか確認させながら描かせる ○慌てずゆっくり丁寧に点描することを意識させる。 	参考作品 白灰青黒画用紙・尖らせた割り箸・水彩絵の具・カーボン紙・マジック・ペン等	1 3	作業 自立 情報	高等部(美術) 学びに向かう力、人間性等、A表現、1段階、(イ)
	6								
7									
2	9	アート展コラボ作品	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎県立特別支援学校アート展について知る。 ・県内の特別支援学校の作品を持ち寄り、コラボ作品を制作する。 ・元気な都城きりしま支援学校を表現する。 	6	<ul style="list-style-type: none"> ○写真や動画で美術館の雰囲気のイメージをもたせる。 ○アート展について他校の作品をみせながら説明していく。 ○共同制作の喜びや達成感を味わわせる。深 	絵具 マジック 筆記具 ひも	1 3	道徳 国語 社会	高等部(美術) 学びに向かう力、人間性等、A表現、1段階、(イ) B鑑賞、1段階、(ア)

	10	鑑賞「みんなの作品を鑑賞しよう」	・自分の作品の感想を書き、みんなの前で発表する。 ・自他の作品のよさや美しさを感じ取って味わう。	4	○都きりウィークで体育館で展示している他学部・他学年の作品を鑑賞させ、他の作品の良い所を考えさせる。	筆記用具 感想用紙	1 3	国語 道徳	高等部(美術) 学びに向かう力、人間性等、B鑑賞、1段階、(ア)
	11	人物の描き方	・イラストを参考にして人物の描き方を知る ・顔の特徴を捉えて人物を描く。	8	○顔の各種パーツ(目・鼻・口・ほお・輪郭・耳・眉毛)の描き方について具体的に説明をしていく。 主	筆記用具 ワークシート	1 3	社会 国語	高等部(美術) 学びに向かう力、人間性等、A表現、1段階、(イ)
	12	共同制作 巨大クリスマスツリーを作ろう!	・画用紙とハサミでツリーの飾りを作って貼る。 ・グループで協力して模造紙をつなぎ合わせ、大きなクリスマスツリー用の木を作る。	6	○季節の雰囲気を感させ、クリスマスツリーのイメージを持たせる ○タブレットを使ってツリーの飾りにどんなものがあるか発見させる 主・対	画用紙・ペン マジック・ハサミ タブレット のり・模造紙	1 2	情報 自立	高等部(美術) 学びに向かう力、人間性等、A表現、1段階、(イ) B鑑賞、1段階、(ア)
3	1	工芸「モザイクフレームを作ってみよう」	・デザインを考えアイデアスケッチをする。 ・3~6色で着色計画を立てる。 ・額にモザイクタイルを貼り飾る。 ・写真や絵を貼る。	6	○完成イメージから、どの色の構成が美しく見えるか考えさせる。 ○モザイクタイルの間に隙間がでないように丁寧に制作させて綺麗なデザインに仕上げさせる。 主・対	額 モザイクタイル ボンド	1 3	家庭 自立 数学	高等部(美術) 学びに向かう力、人間性等、A表現、1段階、(イ)
	2	「好きな技法を用いて好きなものを制作しよう!」	・これまで3年間の美術の授業で学んだ様々な技法や表現の仕方について、その集大成として、それぞれのテーマで自分の作りたい物を自由に考え作品を制作する。 ・	8		色紙 ボンド 刷毛・ハサミ マジック・のり 色鉛筆 ねんど 色ペン・絵具 筆記具 タブレット	1 3	国語 情報 自立 家庭 作業 技術	高等部(美術) 学びに向かう力、人間性等、A表現、1段階、(イ) B鑑賞、1段階、(ア)
	3								

※授業形態 ①一斉 ②グループ ③個別

高等部 年間指導計画		全学年	I 課程	教科・領域名 (保健体育)			年間指導時 数	105	
指導目標		<p>○ 各種の運動の特性に応じた技能並びに個人や社会生活における健康・安全についての理解を深め、目的に応じた技能を身につけることができる。(知識及び技能)</p> <p>○ 各種の運動や健康・安全についての課題を発見し、解決に向けて仲間と思考、判断したことを他者へと伝えることができる。(思考力・判断力・表現力等)</p> <p>○ 生涯にわたって継続して運動に親しみ、明るく豊かで活力ある生活を営むことができる。(学びに向かう力・人間性等)</p>							
学期	月	単元 (題材)	単元 (題材) 目標	時 数	学習活動内容 指導の手立て	教材等	授業 形態	関連す る教科	学習指導要領位置 づけ
I	4	体づくり運動 I ・体ほぐしの運動 ・体の動きを高める運動	<p>○ 体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができる。(学び)</p> <p>○ 各運動についての課題を発見し、解決にむけて工夫することができる。(思・判・表)</p> <p>○ 様々な運動経験を通して、決まりを守る、仲間と協力する、安全に配慮する等ができる。(知・技)</p>	6	<p>○集合、整列をする。</p> <p>・教師の見本に合わせて模倣させる。主</p> <p>○号令に合わせて体の向きを変える。</p> <p>・教師と一緒に学習を振り返り、生徒の身体の動きや仲間との関わり方について主体的に取り組ませる。対・深</p> <p>○柔軟体操 (ストレッチ)、歩、走、跳などの全身運動を行う。</p> <p>・教師や仲間と協力しながら、全身や体の各部位を振ったり、回したり、捻ったり、生徒の適性等に応じて行わせる。対・深</p> <p>○サーキットトレーニングなど総合的に筋力を高める運動を行う。</p> <p>・ボールやミニハードル、ラダーなどの用具を使って効果的に運動を行わせる。深</p>	・ラダー ・コーン ・縄跳び ・ミニハードル	① ② ③	生単	I-A-A I-A-I I-A-U
			陸上競技	○ 陸上競技の楽しさや喜びを味	12	○短距離走の練習をする。	・ストップ プウォック	①	

5	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離走 スタート フィニッシュ ・リレー バトンパス 	<p>わい、特性に応じた技能を身に付けることができる。(知・学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 陸上競技についての課題を発見し、解決にむけて工夫することができる。(思・判・表) ○ 様々な陸上競技の経験を通して、決まりやルール、マナーを守る、仲間と協力する、安全に配慮する等ができる。(知・技) 		<ul style="list-style-type: none"> ・クラウチングスタート、中間疾走、フィニッシュ、倒れ込みダッシュ、スリーポイントスタート、マーク走、加速走、ウェーブ走、セパレートコース、フライング 主 ○リレーやバトンパスの練習をする。 ・リレーでは仲間と協力して、スムーズなバトンパスができるように練習を行わせる。 対・深 	<ul style="list-style-type: none"> チ ・バトン ・たすき ・ゴールテープ ・はちまき ・電子ピストル 	<ul style="list-style-type: none"> ② ③ 		<ul style="list-style-type: none"> I-C-I I-C-U
6	<p>体カテスト</p> <p>保健</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習内容を理解するとともに健康で安全な生活を営むための技能を身に付けることができる。(知・技) ○ 健康・安全に関わる課題を発見し、解決のための工夫をすることができる。(思・判・表) 	9	<ul style="list-style-type: none"> ○全8種目の測定を行う。 ・個別の得点表に記録し、各自の今後の課題を出させる。主・深 ○健康・安全に関わる課題の精選 ・心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防。主・深 	<ul style="list-style-type: none"> ・メジャー ・握力測定器 ・タイマー ・ハンドボール ・長座体前屈計 	<ul style="list-style-type: none"> ① ② ③ 		<ul style="list-style-type: none"> I-I-A I-I-I
7	<p>水泳</p> <p>体づくり運動(荒天時)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水泳の楽しさや喜びを味わい、泳法を身に付けることができる。(知・技、学び) ○ 水泳についての課題を発見し、解決にむけて工夫をすることができる。(思・判・表) ○ 水泳のきまりやマナーを守り、仲間と協力したり安全を確保したりしながら自主的に運動することができる。(知・技) 	9	<ul style="list-style-type: none"> ○水慣れをする。 ・水中歩き、回転水中ジャンプ、ビート板に座ってスカーリング、水中じゃんけんなど。 主・対 ○基本の姿勢や動きを身に付けさせ、泳法の練習を行う。 ・力を抜いて浮く、け伸び、クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ、ターン 主・対 ○水泳の事故防止の心得を厳守させる。 ・安全に活動することができるよう言葉掛けを行う。対・深 	<ul style="list-style-type: none"> ・タイマー ・マイク ・CDラジカセ ・ビート板 	<ul style="list-style-type: none"> ① ② ③ 		<ul style="list-style-type: none"> I-D-A I-D-I I-D-U

2	9	<p>体づくり運動Ⅱ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動 ・体の動きを高める運動 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができる。(学び) ○ 各運動についての課題を発見し、解決において工夫することができる。(思・判・表) ○ 様々な運動経験を通して、決まりを守る、仲間と協力する、安全に配慮する等ができる。(知・技、学び) 	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 集合、整列をする。 ・教師の見本に合わせて模倣させる。主 ○ 号令に合わせて体の向きを変える。 ・教師と一緒に学習を振り返り、生徒の身体の動きや仲間との関わり方について主体的に取り組ませる。対・深 ○ 柔軟体操(ストレッチ)、歩、走、跳などの全身運動を行う。 ・教師や仲間と協力しながら、全身や体の各部位を振ったり、回したり、捻ったり、生徒の適性等に応じて行わせる。対・深 ○ サーキットトレーニングなど総合的に筋力を高める運動を行う。 ・ボールやミニハードル、ラダーなどの用具を使って効果的に運動を行う。深 	<ul style="list-style-type: none"> ・ラダー ・コーン ・縄跳び ・ミニハードル 	① ② ③	生単	<p>I-A-A</p> <p>I-A-I</p> <p>I-A-U</p>
		<p>球技Ⅰ</p> <p>風船バレー(ネット型)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ バレーボールの楽しさや喜びを味わい、特性に応じた技能の習得ができる。(知・技、学び) ○ バレーボールについての課題を発見し、解決において工夫することができる。(思・判・表) ○ バレーボールのきまりやマナーなどを守り、仲間と協力したり安全を確保したりしながら、自主的に運動することができる。(知・技) 	24	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的なルールを理解する。 ・チーム全員がボールに触れてから相手コートに返球することを原則とする。主・対 ○ 練習の仕方を理解する。 ・ボール慣れ、オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、円陣パス、アタック等 対・深 ○ 簡易ルールで種目を楽しむ。 ・生徒の実態に応じたルールで行わせる。対・深 ○ 試合の運営を行う。 ・用具の準備や後片付け、記録や審判などの分担した役割に取り組ませる。対・深 	<ul style="list-style-type: none"> ・風船バレーボール ・ネット ・ボール一式 ・得点板 ・タイマー 	① ②		<p>I-E-A</p> <p>I-E-I</p> <p>I-E-U</p>

10						
11	球技Ⅱ サッカー (ゴール型)	<ul style="list-style-type: none"> ○ サッカーの楽しさや喜びを味わい、特性に応じた技能の習得ができる。(知・技、学び) ○ サッカーについての課題を発見し、解決において工夫することができる。(思・判・表) ○ サッカーのきまりやマナーなどを守り、仲間と協力したり安全を確保したりしながら、自主的に運動することができる。(知・技) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的なルールを理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・パスやドリブルを用いて攻撃や防御を繰り返し、チーム全員が協力し合って相手ゴールに向かって得点を狙う。主・対 ○ 練習の仕方を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ボール慣れ、ドリブル、パス、シュート等 対・深 ○ 簡易ルールで種目を楽しむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態に応じたルールで行わせる。 対・深 ○ 試合の運営を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・用具の準備や後片付け、記録や審判などの分担した役割に取り組みさせる。対・深 	【サッカー】 ・サッカーボール ・サッカーゴール ・ビブス ・得点板 ・タイマー		
12	長距離走 ・20分間走	<ul style="list-style-type: none"> ○ 陸上競技の楽しさや喜びを味わい、特性に応じた技能を身に付けることができる。(知・技、学び) ○ 陸上競技についての課題を発見し、解決において工夫することができる。(思・判・表) ○ 様々な陸上競技の経験を通し 	12 <ul style="list-style-type: none"> ○ 準備運動は徐々に運動強度を上げる。 <ul style="list-style-type: none"> ・体操、ウォーミングアップの順に行う。主 ○ 予め設定したコースまたはトラックを20分間走るまたは歩く。 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態に応じて行わせる。主・対・深 ○ 走行、または歩行距離の確認を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・何周走ったか歩いたか確認するため、1周毎にしょうゆさし一つを取らせる。主・対 	・タイマー ・マイク ・CD付アンプ ・カラーコーン	①	I-C-A I-C-I I-C-U

			て、決まりやルール、マナーを守る、仲間と協力する、安全に配慮する等ができる。(知・技)						
3	1	武道 剣道	<ul style="list-style-type: none"> ○ 剣道の楽しさや喜びを味わい、基本動作を習得することができる。(知・技、学び) ○ 剣道についての課題を発見し、解決にむけて工夫することができる。(思・判・表) ○ 剣道のきまりや伝統的な行動の仕方を守りながら仲間と協力したり安全を確保したりすることができる。(学び・人) 	12	<ul style="list-style-type: none"> ○ 伝統的な考え方、礼法を理解し、「面・胴・小手」技の反復練習を行う。 ・ 武道において、「礼法」を重視していること、「礼」を重んじ、その形式にしたがうことは、自分を律するとともに相手を尊重する態度を形に表すことであることを、技の習得と関連付けて指導する。主・対・深 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防具 ・ 竹刀 ・ タイマー 	① ③	I-F-A I-F-I I-F-U	
	2	球技Ⅲ (実態に応じて選択) バスケットボール 卓球 バドミントン	<ul style="list-style-type: none"> ○ 球技の楽しさや喜びを味わい、特性に応じた技能の習得ができる。(知・技、学び) ○ 球技についての課題を発見し、解決にむけて工夫することができる。(思・判・表) ○ 球技のきまりやマナーなどを守り、仲間と協力したり安全を確保したりしながら、自主的に運動することができる。(学び・人) 	12	<ul style="list-style-type: none"> ○ 球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方などを理解する。 ・ 種目に応じて習得させる。主・対 ○ 練習の仕方を理解する。対・深 <p>【バスケットボール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボール慣れ、ドリブル、対人パス、レイアップシュート <p>【卓球・バドミントン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 用具の握り方、準備姿勢、ステップ、テイクバックやスイング、インパクト、フォローなど、身体や用具を操作してボールを打ち返す。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 簡易ルールで各種目を楽しむ。 ・ 生徒の実態に応じたルールで行わせる。対・深 	<ul style="list-style-type: none"> 【バスケットボール】 ・ バスケットボール ・ ビブス ・ タイマー ・ 得点板 【卓球・バドミントン】 ・ ラケット ・ シャトル ・ ボール 	① ② ③	I-E-A I-E-I I-E-U	
	3								

高等部 年間指導計画		全学年	Ⅱ 課程	教科・領域名 (保健体育)			年間指導時 数	35	
指導目標		<p>○ 各種の運動の特性に応じた技能並びに個人や社会生活における健康・安全についての理解を深め、目的に応じた技能を身につけることができる。 (知識・技能)</p> <p>○ 各種の運動や健康・安全についての課題を発見し、解決に向けて仲間と思考、判断したことを他者へと伝えることができる。 (思考力・判断力・表現力)</p> <p>○ 生涯にわたって継続して運動に親しみ、明るく豊かで活力ある生活を営むことができる。 (学びに向かう力、人間性)</p>							
学期	月	単元 (題材)	単元 (題材) 目標	時 数	学習活動内容 指導の手立て	教材等	授業 形態	関連 教科	学習指導要領位置 づけ
I	4	体づくり運動 I ・体ほぐしの運動 ・体の動きを高める運動	<p>○ 体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができる。(学び)</p> <p>○ 各運動についての課題を発見し、解決において工夫することができる。(思・判・表)</p> <p>○ 様々な運動経験を通して、決まりを守る、仲間と協力する、安全に配慮する等ができる。(知・技)</p>	4	<p>○ 集合、整列をする。</p> <p>・教師の見本に合わせて模倣させる。主</p> <p>○ 号令に合わせて体の向きを変える。</p> <p>・教師と一緒に学習を振り返り、生徒の身体の動きや仲間との関わり方について主体的に取り組ませる。対・深</p> <p>○ 柔軟体操・歩、走、跳などの全身運動を行う。</p> <p>・教師や仲間と協力しながら、全身や体の各部位を振ったり、回したり、捻ったり、生徒の適正等に応じて行わせる。対・深</p>	・ラダー ・コーン ・縄跳び	① ② ③	生単	P.60 P.65 A アイウ

2	5	球技 I ・風船バレー	<p>○ 球技の楽しさや喜びを味わい、特性に応じた技能の習得ができる。(知・技) (学び)</p> <p>○ 球技についての課題を発見し、解決にむけて工夫することができる。(思・判・表)</p> <p>○ 球技のきまりやマナーなどを守り、仲間と協力したり安全を確保したりしながら、運動することができる。(知・技)</p>	5	<p>○ 簡易ルールで各種目楽しむ。</p> <p>・生徒の実態に応じた、参加しやすいルールで行わせる。主</p> <p>・教師の見守りの中で、課題を意識させながら、生徒同士の関わり方を工夫し、風船に触れる機会を多くもたせる。対・深</p> <p>○ 準備物を提示し準備・片付けをする。</p> <p>・見通しをもって仲間と協力しながら準備や後片付けをさせる。主・対・深</p> <p>【風船バレー】</p> <p>・風船に慣れる、オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、アタック等、ゲームの練習を行わせる。主</p>	・風船	① ② ③	生単	P.71 アイウ
	6 7	水泳	<p>○ 水泳の楽しさや喜びを味わい、生徒の適正に応じた泳法を身に付けることができる。(知・技) (学び)</p> <p>○ 水泳のきまりやマナーを守り、仲間と協力したり安全を確保したりしながら運動することができる。(知・技)</p>	5	<p>○ 水泳</p> <p>・教師の支援を受けながら、もぐる、浮く、キックなど生徒の身体に無理のない範囲で泳がせる。主</p> <p>・プールサイドを走らない、飛び込まないなどのルールや安全に泳ぐ様子を視覚的支援を用いながら、理解させる。主</p>	・タイマー ・マイク ・CD ラジカセ ・ビート板	① ② ③	生単	P.84 アイウ
	9	体づくり運動 II ・体ほぐしの運動 ・体の動きを高める運動	<p>○ 体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができる。(学び)</p> <p>○ 各運動についての課題を発見し、解決にむけて工夫することができる。(思・判・表)</p> <p>○ 様々な運動経験を通して、決まりを守る、仲間と協力する、安全に配慮する等ができる。(知・技)</p>	4	<p>・教師の見本に合わせて模倣させる。主</p> <p>・教師と一緒に学習を振り返り、生徒の身体の動きや仲間との関わり方について主体的に取り組ませる。主・対・深</p> <p>・教師や仲間と協力しながら、全身や体の各部位を振ったり、回したり、捻ったり、生徒の適正等に応じて行わせる。対・深</p>	・ラダー ・コーン	① ② ③	生単	P.60 P.65 A アイウ

	10	球技Ⅱ ・グラウンドゴルフ ・ゴールボール	<p>○ 球技の楽しさや喜びを味わい、特性に応じた技能の習得ができる。(知・技)(学び)</p> <p>○ 球技のきまりやマナーなどを守り、仲間と協力したり安全を確保したりしながら、運動することができる。(知・技)</p>	5	<p>○ 簡易ルールで各種目楽しむ。</p> <p>・生徒の実態に応じて、使いやすい道具や手段を選び、参加しやすいルールで行わせる。</p> <p>主</p> <p>・教師の見守りの中で、相手チームとの試合を意識させながら、グループで生徒同士の関わり方を工夫し、球に触れる機会を多くもたせる。対・深</p> <p>○ 準備物を提示し準備・片付けをする。</p> <p>・見通しをもって仲間と協力しながら準備や後片付けをさせる。主・対</p>	<p>・スティック</p> <p>・目印</p> <p>・ボール</p> <p>・コーン</p> <p>・ロープ</p>	① ② ③	生単	P.86 アイウ P.87
	12	長距離走 ・20分間走 ・記録走	<p>○ 陸上競技の楽しさや喜びを味わい、特性に応じた技能を身に付けることができる。(知・技)(学び)</p> <p>○ 陸上競技についての課題を発見し、解決において工夫することができる。(思・判・表)</p> <p>○ 様々な陸上競技の経験を通して、決まりやルール、マナーを守る、仲間と協力する、安全に配慮する等ができる。(知・技)(思・判・表)</p>	4	<p>○ 走る前後に体調の確認をする。</p> <p>・教師と一緒に走る前や走った後の体調管理を行わせ、安全に気を付けさせる。主</p> <p>○ 1周約200メートルを20分間歩く。</p> <p>・リズムカルに腕を振り、かみのないフォームで軽快に歩かせる。主</p> <p>○ 1周約200メートルを20分間走る。</p> <p>・呼吸を楽にしたり、走りのリズムを作ったりする呼吸法を取り入れて走らせる。主</p> <p>○ 1周ごとにしょうゆさしを取る。</p> <p>・目標をもたせ生徒に適したペースで維持して走らせる。主</p>	<p>・タイマー</p> <p>・マイク</p> <p>・CD付アンプ</p> <p>・カラーコーン</p>	① ② ③	生単	P.82 アイウ P.83
	1	球技Ⅲ 卓球バレー	<p>○ 球技の楽しさや喜びを味わい、特性に応じた技能の習得ができる。(知・技)(学び)</p> <p>○ 球技のきまりやマナーなどを守り、</p>	5	<p>○ 簡易ルールで各種目楽しむ。</p> <p>・生徒の実態に応じて、グループを編成し、参加しやすいルールで行わせる。対・深</p>	<p>・ラケット</p> <p>・ボール</p>	① ② ③	生単	P.71

2		仲間と協力したり安全を確保したりしながら、運動することができる。(知・技)		・教師の見守りの中で、課題を意識させながら、生徒同士の関わり方を工夫し、球に触れる機会を多くもたせる。 ○準備物を提示し準備・片付けをする。 ・見通しをもって仲間と協力しながら準備や後片付けをさせる。主・対					
	3	球技Ⅳ ボッチャ	○ 球技の楽しさや喜びを味わい、特性に応じた技能の習得ができる。(知・技)(学び) ○ 球技のきまりやマナーなどを守り、仲間と協力したり安全を確保したりしながら、運動することができる。(知・技)(学び)	4	○簡易ルールで各種目楽しむ。 ・生徒の実態に応じて、グループを編成し、参加しやすいルールで行わせる。対・深 ・教師の見守りの中で、ボールを目標物へ投げる強さを意識させながら、生徒同士の関わり方を工夫させる。対・深 ○準備物を提示し準備・片付けをする。 ・見通しをもって仲間と協力しながら準備や後片付けをさせる。主・対	ボッチャ セット ランプ	① ② ③	生単	
		ダンス	○ ダンスの楽しさや喜びを味わい、特 有な技能を習得することができる。(知・ 技)(学び) ○ ダンスについての課題を発見し、解 決において工夫することができる。 (思・判・表) ○ ダンスの経験を通して、仲間の表現 を認め合ったり、安全を確保したりする ことができる。(知・技)	4	○曲に合わせて、早いテンポでステップする ・教師の動きを参考に、リズムの特徴を捉え させ、変化とまとまりをつけて表現させる。 主 ・難しい動きは繰り返して練習させたり、簡 易的な動きに変えさせたりして、踊らせる。 ・生徒の疲労を考慮し、休憩を入れながら、 取り組ませる。主・対		① ② ③	生単	P.89 アイウ P.90

※授業形態 ①一斉 ②グループ ③個別

高等部 年間指導計画		第1学年	(I課程) グループ	教科・領域名 (音楽)			年間指導時	70	
指導目標		<p>○曲名や曲想について理解するとともに、感じたことを表現するために必要な技能を身に付けるようにする。(知識・技能)</p> <p>○曲や演奏の楽しさを見いだしながら、音や音楽を味わって聴き、感じたイメージを創造的に身体表現し、楽器演奏、独唱、斉唱、簡単な合唱などができるようにする。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>○進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。(学びに向かう力・人間性等)</p>							
学期	月	単元(題材)	単元(題材)目標	時数	学習活動内容 指導の手立て	教材等	授業形態	関連する教科	学習指導要領位置づけ
I	4	○音楽オリエンテーション	○音楽室の環境に慣れ、約束等の確認ができる。(学・人)	6	○音楽室の使い方、学習目標について知る。 ・写真やプリントでわかりやすく知らせる。 <u>主</u>	・「校歌」 ・「ミッキーマウスマーチ」	① ②	生単	A-イウ B-ア
	5	○リズム表現の基本 ○春の曲	○基本的なリズムを知ることができる。(知・技) ○春を題材にした音楽表現に親しむことができる。(思・判・表)	6	○簡単なリズムをグループで創作する。 ・創作したリズムを発表させる。 <u>対・深</u> ○春の曲を鑑賞したり、演奏したりして作曲家や楽器の表現に親しむ。 ・曲についてわかりやすい写真を見せ、演奏したい楽器を選択させる。 <u>主・対</u>	・四季より「春」			

	6	○発声の基本 ○雨の曲 ○歌唱	○発声の基本を知ることができる。(知・技) ○雨を題材にした音楽表現に親しむことができる。(思・判・表) ○歌詞の意味を理解し歌うことができる。(知・技)	6	○姿勢や口形、腹式呼吸、音程を意識して声を出す。 ・わかりやすい模範を示し模倣させる。 主 ○映像での鑑賞をし、感想を記入する。 ・具体的にわかりやすい教材を見せる。 主・深 ○斉唱を楽しむことができる。 ・グループで発表させる。 対	・発声練習の曲 ・「雨に唄えば」 ・「数え歌」	①	生単 国語 数学 社会	A-アイ B-ア
	7	○夏の曲 ○楽しく身体表現	○夏を題材にした音楽表現に親しむことができる。(思・判・表)	6	○夏の曲を鑑賞したり、演奏したり、踊ったりして作曲家や楽器の表現等に親しむ。 ・わかりやすい模範を示し模倣させる。 主・対	・「七夕」 ・「オーバーザレインボー」 ・フラダンス	①	生単 国語 社会	A-イエ B-ア
2	9	○秋の曲 ○リズム表現	○秋を題材にした音楽表現に親しむことができる。(思・判・表) ○単独でのリズム表現「カップス」ができる。(知・技)	7	○秋の曲を鑑賞したり、演奏したりして作曲家や楽器の表現に親しむ。 ・映像を鑑賞させる。 主・深 ○コップを使ったリズム表現「カップス」を楽しむ。 ・カップスを自分で装飾させる。 主	・「月の光」 ・「赤とんぼ」 ・「ドレミの歌」 ・カップス	①	生単 国語 社会	A-イ B-ア
	10	○手話を交えた歌唱 ○リズム合奏	○歌詞の意味を理解し手話を交えて歌うことができる。(知・技) ○集団でのリズム表現「カップス」ができる。(学・人)	7	○手話を交えながら、斉唱を楽しむ。 ・簡単な手話を模倣させる。 主・深 ○グループで曲に合わせたカップスのリズム合奏をする。 ・生徒に曲を選曲させる。 ・単独のリズム表現から、集団でのダイナミックな表現に発展させる。 対・深	・「ひまわりの約束」 ・カップス 「パプリカ」 ・くるみ割り人形より 「トレパック」	① ②	生単 国語	A-アイ エ

	11	○響きを感じる合奏 ○音楽の種類	○色々な楽器の音の重なりと響きを感じる事ができる。(知・技) ○色々なジャンルの音楽に親しむ事ができる。(知・技)(思・判・表)	7	○曲に合わせて楽器を選び、音の重なり、響きの美しさを感じる。 ・わかりやすく編曲して演奏させる。 主 ○クラシック音楽の旋律がポピュラー曲の中に出てくることに気づく。 ・いろいろなジャンルの音楽を聴かせる。 深	・「惑星」 ・「ジュピター」	①	生単理科	A-イ B-ア
	12	○冬の曲 ○旋律を作る	○冬を題材にした音楽表現に親しむ事ができる。(思・判・表) ○集団での創作活動ができる。(学・人)	7	○冬の曲を鑑賞したり、演奏したりして作曲家や楽器の表現に親しむ。 ・映像を鑑賞させる。 主・深 ○音名とリズムを選択し、集団で旋律を創作する。 ・構成音を示して選択させる。 対・深	・クリスマスソング ・四季より「冬」 ・「第九(歓びの歌)」	① ②	生単国語	A-アウ B-ア
3	1	○日本の音楽 ○世界の音楽	○新年を題材にした各国の音楽に親しむ事ができる。(思・判・表)	6	・新年の曲を鑑賞したり、演奏したりして作曲家や楽器の表現に親しむ。 ・映像を鑑賞させる。 ・和楽器の演奏をさせる。 主・深	・「春の海」 ・「ニューイヤーコンサート」 ・「さくらさくら」	①	生単国語社会	A-イ B-ア
	2	○卒業式の歌 ○音楽の種類	○歌詞の意味の理解と卒業式にふさわしい表現ができる。(思・判・表) ○色々なジャンルの音楽に親しむ事ができる。(知・技)(思・判・表)	6	○音程や声の大きさに気をつけて歌う。 ・歌詞をわかりやすく説明し理解させる。 主・深 ○クラシック音楽の旋律がポピュラー曲の中に出てくることに気づく。 ・いろいろなジャンルの音楽を聴かせる。 深	・「卒業式の歌」 ・「田園」	①	生単国語	A-ア B-ア
	3	○卒業式の歌 ○1年を振り返る	・1年間の学習のまとめと振り返りをする事ができる。(学・人)	6	○音程や声の大きさに気をつけて歌う。 ・グループで発表させる。 対・深	・「卒業式の歌」	①	生単国語	A-ア

※授業形態 ①一斉 ②グループ ③個別

高等部 年間指導計画		第1学年	(II 課程) グループ	教科・領域名 (音楽)	年間指導時数	70				
指導目標		<p>○いろいろな音楽をその美しさなどを感じ取りながら鑑賞できるようにする。(知識・技能)</p> <p>○音楽を聴いて感じたことを動作で表現し、楽器を使ったりリズム合奏、独唱、斉唱などができるようにする。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>○進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。(学びに向かう力・人間性等)</p>								
学期	月	単元(題材)	単元(題材)目標	時数	学習活動内容 指導の手立て	教材等	授業形態	関連する 教科	学習指導要領 位置づけ	
I	4	○音楽オリエンテーション	○音楽室の環境に慣れ、約束等の確認ができる。(学・人)	6	○新しい仲間との授業の流れが分かり、安心して音楽を楽しむ。 ・写真や名前カードでわかりやすく知らせる。 <u>主</u>	・「校歌」 ・四季より「春」 ・「こいのぼり」	①	生単 自立	A-アイ B-ア	
	5	○春の曲	○春を題材にした音楽表現に親しむことができる。(思・判・表)	6	○春の曲を鑑賞したり、演奏したり、歌ったりして表現に親しむ。 ・テンポに気を付け、簡単なリズム等を模倣させる。 <u>主・深</u>					
	6	○雨の曲 ○楽しく身体表現	○雨を題材にした音楽表現ができる。(思・判・表) ○集団での身体表現ができる。(思・判・表)	6	○雨の曲を鑑賞したり、歌ったり、演奏したりして表現に親しむ。 ・わかりやすいイラストや写真を用意する。 <u>主・深</u> ○楽しく身体表現をする。 ・曲想、テンポ、強弱に気を付け、身体表現をさせる。 <u>主・対</u>	・「さんぽ」 ・「雨ふりくまのこ」 ・「雨に唄えば」	①	生単 自立	A-アイ エ	

	7	○夏の曲 ○楽しく身体表現	○夏を題材にした音楽表現ができる。(思・判・表) ○集団での身体表現ができる。(思・判・表)	6	○夏の曲を鑑賞したり、歌ったり、演奏したりして表現に親しむ。 ・わかりやすいイラストや写真を用意する。 主・深 ○楽しく身体表現をする。 ・曲想、テンポ、強弱に気を付け、身体表現をさせる。 主・対	・「うみ」 ・「浜辺の歌」 ・「南の島のハメハメハ大王」 ・「とんでったバナナ」	①	生単 自立	A- アイ エ B-ア
	9	○秋の曲 ○楽しく身体表現	○秋を題材にした音楽表現ができる。(思・判・表) ○集団での身体表現ができる。(思・判・表)	7	○秋の曲を鑑賞したり、歌ったり、演奏したりして表現に親しむ。 ・わかりやすいイラストや写真を用意する。 主・深 ○楽しく身体表現をする。 ・曲想、テンポ、強弱に気を付け、身体表現をさせる。 主・対	・「うさぎ」 ・「とんぼのめがね」 ・「村まつり」 ・「やきいもグーチーパー」	①	生単 自立	A- アイ エ
2	10	○楽器の音を楽しむ	○単独でのリズム表現「カップス」ができる。(思・判・表)	7	○コップを使ったリズム表現「カップス」をする。 ・カップを自分で装飾させ簡単なリズム演奏をさせる。 主・深	・カップス ・「山の音楽家」	①	生単 自立	A-イ
	11	○楽器の音を楽しむ ○メロディーを作る	○集団でのリズム表現「カップス」ができる。(思・判・表) ○集団での創作活動ができる。(学・人)	7	○集団でのリズム表現(カップス)をする。 ・選曲に気を付けて演奏させる。 対・深 ○集団でメロディーを創作する。 ・わかりやすい音名とリズムのカードを作成し選択させる。 対・深	・カップス ・「トレパック」 ・「パプリカ」	①	生単 自立	A-イウ

	12	○冬の曲 ○楽しく身体表現	○冬を題材にした音楽表現ができる。(思・判・表) ○集団での身体表現ができる。(思・判・表)	7	○冬の曲を鑑賞したり、歌ったり、演奏したりして表現に親しむ。 ・わかりやすいイラストや写真を用意する。 <u>主・深</u> ○楽しく身体表現をする。 ・曲想、テンポ、強弱に気を付け、身体表現をさせる。 <u>主・対</u>	・クリスマスソング ・「第九(歓びの歌)」 ・「ミッキーマウスマーチ」	①	生単 自立	A-アイ B-ア
3	1	○新年の曲	○新年を題材にした音楽表現(知・技)	6	○新年の曲を鑑賞したり、歌ったり演奏したりして楽器の表現に親しむ。 ・わかりやすいイラストや動画を鑑賞させる。 <u>主・深</u>	・ニューイヤーコンサート ・「お正月」 ・「春の海」	①	生単 自立	A-アイ B-ア
	2	○卒業式の曲	○卒業式の歌の歌唱(思・判・表)	6	○卒業式の歌を鑑賞したり、歌ったりして表現を楽しむ。 ・テンポに気を付けて練習させる。 <u>主</u>	・卒業式の歌 ・「雪」 ・「春が来た」 ・「さくらさくら」	①	生単 自立	A-アイ
	3	○季節の曲 ○1年間を振り返る	○季節の曲に合わせた音楽表現(思・判・表)	6	○季節の曲に親しむ。 ・わかりやすいイラストや写真を用意する。 <u>主・深</u>				

※授業形態 ①一斉 ②グループ ③個別

高等部 年間指導計画		第2学年	(I課程) グループ	教科・領域名 (音楽)			年間指導 時数	70	
指導目標		<p>○曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。(知識及び技能)</p> <p>○音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。(思考力, 判断力, 表現力等)</p> <p>○主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。(学びに向かう力, 人間性等)</p>							
学期	月	単元(題材)	単元(題材) 目標	時数	学習活動内容 指導の手立て	教材等	授業 形態	関連 する 教科	学習指導要 領位置づけ
I	4	○音楽オリエンテーション	○1年間の学習で目指す目標や約束等の確認ができる。(学・人)	6	○1年間の学習目標や約束等について知る。 ・写真やプリントでわかりやすく知らせる。主	・花の街 ・茶摘み ・若い力 ・ふるさと ・弦楽器演奏	① ②	生単	A-イウ
	5	○季節を歌おう	○基本的なリズムを知ることができる。(知・技) ○春を題材にした音楽表現に親しむことができる。(思・判・表)	6	○簡単なリズムをグループで創作する。 ・創作したリズムを発表させる。対・深 ○春の曲に親しむ。 ・曲について、分かりやすい写真を見せ演奏したい楽器を選択させる。主・対				
	6	○情景を音楽で	○発声の基本を知ることができる。(知・技) ○雨を題材にした音楽表現に親しむことができる。(思・判・表) ○歌詞の意味を理解し手話を交えて歌うことができる。(知・技)	6	○発声の基本を理解する。 ・明るい曲調の歌いやすい曲を通して発声がしやすいようにする。主・深 ○情景を思い浮かべながら歌う。 ・想像しやすいように情景を写真で掲示して見せる。主・深 ○手話を交えながら、斉唱を楽しむことができる。 ・簡単な手話を模倣させる。主・深	・発声練習の曲 ・「夏の思い出」 ・「友～旅立ちの時～」	①	生単 国語 数学 社会	A-アイ B-ア
	7	○詩と旋律	○夏を題材にした音楽表現に親しむことができる。(思・判・表)	6	○夏の曲に親しむ。 ・わかりやすい模範を示し、模倣させる。主・対	・「たなばた」 ・「うみ」 ・四季より「夏」	①	生単 国語 社会	A-イエ B-ア

2	9	○詩と旋律 ○楽器を楽しむ	○秋を題材にした音楽表現に親しむことができる。(思・判・表) ○単独でのリズム表現「カップス」ができる。(知・技)	7	○秋の曲に親しむ。 ・映像を鑑賞させる。 <u>主・深</u> ○プラスチックのコップを使ったリズム表現「カップス」を楽しむ。 ・カップスを自分で装飾させる。 <u>主</u>	・浜辺の歌 ・赤とんぼ ・カップス 「パプリカ」	①	生単 国語 社会	A-イ B-ア
	10	○イメージと音楽	○歌詞の意味を理解し、手話を交えて歌うことができる。(知・技) ○集団でのリズム表現「カップス」ができる。(知・技)	7	○手話を交えながら、斉唱を楽しむ。 ・歌詞に合った手話をグループで考え、発表させる。 <u>主・対</u> ○グループで曲に合わせてカップスのリズム合奏をする。 ・生徒に曲を選曲させる。 <u>主</u> ・単独のリズム表現から、集団でのダイナミックな表現に発展させる。 <u>対・深</u>	・「友～旅立ちの時～」 ・カップス 「パプリカ」	① ②	生単 国語	A-アイ エ
	11	○イメージと音楽	○色々なジャンルの音楽に親しむことができる。 (知・技)(思・判・表)	7	○曲のもつ雰囲気や歌詞の意味を理解して表現する。 ・音楽のさまざまな要素によって描かれるイメージを表現する。 <u>主</u>	・ショパンピアノ作品	①	生単 理科	A-イ B-ア
	12	○世界の音楽と 郷土の音楽	○冬を題材にした音楽表現に親しむことができる。(思・判・表)	7	○各国の歌を中心とした音楽を聴き、それぞれの特徴を味わう。 ・映像を鑑賞させる。 <u>主・深</u>	・クリスマス ソング ・世界の民族音楽 ・四季より「冬」	① ②	生単 国語	A-アウ B-ア
3	1	○世界の音楽と 日本の伝統音楽	○新年を題材にした各国の音楽表現に親しむことができる。 (思・判・表)	6	○新年の曲を鑑賞したり、演奏したりして作曲家や楽器の表現に親しむ。 ・ウイーンフィルハーモニーのニューイヤーコンサートのDVDを鑑賞させる。 <u>主</u> <u>主・深</u>	・「ニューイヤーコンサート」 ・箏曲「六段の調」 ・「ソーラン節」 ・「荒城の月」	①	生単 国語 社会	A-イ B-ア
	2	○卒業式の歌	○歌詞の意味の理解と卒業式にふさわしい表現ができる。 (思・判・表)	6	○卒業式の歌を覚える。 ・歌詞の意味を理解させる。 <u>主・深</u> ・卒業式にふさわしい歌となるように表現力を友達と協力して高める。 <u>主・対・深</u>	・「卒業式の歌」 ・「早春賦」	①	生単 国語	A-ア B-ア
	3	○卒業式の歌 ○1年を振り返る	○1年間の学習のまとめと、振り返りを行うことができる。 (学・人)	6	○音程や声の大きさに気を付けて歌う。 ・グループで発表させる。 <u>対・深</u>	・「卒業式の歌」	①	生単 国語	A-ア

※授業形態 ①一斉 ②グループ ③個別

高等部 年間指導計画		第2学年	(II 課程) グループ	教科・領域名 (音楽)		年間指導時数	70		
指導目標		<p>○表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。(知識及び技能)</p> <p>○感じたことを表現することや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら、音や音楽の楽しさを味わって聴くことができるようにする。(思考力、判断力、表現力等)</p> <p>○進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、様々な音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。(学びに向かう力、人間性等)</p>							
学期	月	単元(題材)	単元(題材)目標	時数	学習活動内容 指導の手立て	教材等	授業 形態	関連する 教科	学習指導要領 位置づけ
I	4	○音楽オリエンテーション	○音楽室の環境に慣れ、約束等の確認ができる。(学・人)	6	○授業の流れが分かり、安心して音楽を楽しむ。 ・写真や名前カードで分かりやすく知らせる。主	・「校歌」 ・四季より「春」 ・「こいのぼり」	①	生単 自立	第1段階 A表現 ア(ア) イ(ウ)㊦ B鑑賞 ア(ア)
	5	○春の曲	○春を題材にした音楽表現に親しむことができる。(思・判・表)	6	○春の曲を鑑賞したり、演奏したり、歌ったりして表現に親しむ。 ・テンポに気を付け、簡単なリズム等を模倣させる。主・深 ・歌や身体表現を通して友達を意識させる。主・対				
	6	○雨の曲 ○楽しく身体表現	○雨を題材にした音楽表現ができる。(思・判・表) ○集団での身体表現ができる。(思・判・表)	6	○雨に関する歌や曲に親しむ。 ・イラストや写真を用意する。主・深 ○楽しく身体表現をする。 ・曲想、テンポ、強弱に気を付け、身体表現をさせる。主・対	・「かたつむり」 ・「小さな世界」 ・「雨ふりくまのこ」	①	生単 自立	第1段階 A表現 ア(ア) イ(ウ)㊦ エ(ア)
7	○夏の曲 ○楽しく身体表現	○夏を題材にした音楽表現ができる。(思・判・表) ○集団での身体表現ができる。(思・判・表)	6	○夏に関する歌や曲に親しむ。 ・イラストや写真を用意する。主・深 ○楽しく身体表現をする。 ・曲想、テンポ、強弱に気を付け、身体表現をさせる。主・対	・「七夕」 ・「砂山」 ・「とんでったバナナ」	①	生単 自立	第1段階 A表現 ア(ア) イ(ウ)㊦ エ(ア) B鑑賞 ア(ア)	

2	9	○秋の曲 ○楽しく身体表現	○秋を題材にした音楽表現ができる。(思・判・表) ○集団での身体表現ができる。(思・判・表)	7	○秋に関する歌や曲に親しむ。 ・イラストや写真を用意する。 主・深 ○楽しく身体表現をする。 ・曲想、テンポ、強弱に気を付け、身体表現をさせる。 主・対	・「小さい秋みつけた」 ・「ディズニーメロデー」 ・「虫の声」 ・「村まつり」 ・「やきいもグーチャーパー」	①	生単 自立	第1段階 A表現 ア(ア) イ(ウ)㊦ エ(ア)
	10	○楽器を楽しむ	○単独でのリズム表現「カップス」ができる。(思・判・表)	7	○コップを使ったリズム表現「カップス」をする。 ・カップを自分で装飾させ簡単なリズム演奏をさせる。 主・深 ○グループで曲に合わせてカップスのリズム合奏をする。 ・生徒に曲を選曲させる。 主 ・単独のリズム表現から、集団でのダイナミックな表現に発展させる。 対・深	・カップス 「パプリカ」	①	生単 自立	第1段階 A表現 イ(イ)㊦
	11	○楽器を楽しむ	○集団でのリズム表現「カップス」ができる。(思・判・表)	7	○単独でのリズム表現(カップス)をする。 ・選曲に気を付けて演奏させる。 対・深	・カップス 「パプリカ」	①	生単 自立	第1段階 A表現 イ(イ)㊦ ウ(ア)
	12	○冬の曲 ○楽しく身体表現	○冬を題材にした音楽表現ができる。(思・判・表) ○集団での身体表現ができる。(思・判・表)	7	○冬に関する歌や曲に親しむ。 ・イラストや写真を用意する。 主・深 ○楽しく身体表現をする。 ・曲想、テンポ、強弱に気を付け、身体表現をさせる。 主・対	・クリスマスソング ・「ジングルベル」 ・「きよしこの夜」 ・「ミッキーマウスマーチ」	①	生単 自立	第1段階 A表現 ア(ア) イ(ウ)㊦ B鑑賞 ア(ア)

3	1	○世界の音楽と日本の伝統音楽	○新年を題材にした各国の音楽表現に親しむことができる。 (思・判・表)	6	○新年の曲を鑑賞したり、演奏したりして作曲家や楽器の表現に親しむ。 ・ウイーンフィルハーモニーのニューイヤーコンサートのDVDを鑑賞させる。 <u>主</u> ・日本の伝統的な楽器を演奏させる。 <u>主・深</u>	・「ニューイヤーコンサート」 ・箏曲「六段の調」 ・「ソーラン節」 ・「荒城の月」	①	生単 自立	第1段階 A表現 ア(ア) イ(ウ)㊦ B鑑賞 ア(ア)
	2	○卒業式の曲 ○季節の曲	○歌詞の意味の理解と卒業式にふさわしい表現ができる。 (思・判・表)	6	○卒業式の歌を覚える。 ・歌詞の意味を理解させる。 <u>主・深</u> ・卒業式にふさわしい歌となるように表現力を友達と協力して高める。 <u>主・対・深</u>	・卒業式の歌 ・「雪」 ・「豆まき」 ・「さようなら」	①	生単 自立	第1段階 A表現 ア(ア) イ(ウ)㊦
	3	・卒業式の曲 ・季節の曲 ・1年を振り返る	○1年間の学習のまとめと、振り返りを行うことができる。 (学・人)	6	○音程や声の大きさに気を付けて歌う。 ・グループで発表させる。 <u>対・深</u>	・卒業式の歌 ・「さくらさくら」 ・「うれしいひなまつり」	①	生単 自立	第1段階 A表現 ア(ア) イ(ウ)㊦

※授業形態 ①一斉 ②グループ ③個別

高等部 年間指導計画		第3学年	(I 課程) グループ	教科・領域名 (音楽)			年間指導時数	70	
指導目標		<p>○曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。(知識・技能)</p> <p>○音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようになる。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>○音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。(学びに向かう力・人間性等)</p>							
学期	月	単元(題材)	単元(題材) 目標	時数	○学習活動内容 ・指導の手立て	教材等	授業形態	関連する教科	学習指導要領 位置づけ
1	4	○歌唱の基本	<p>○姿勢、発声、口形、腹式呼吸などの歌唱活動に必要な知識や技能を身に付けることができる。(知・技)</p> <p>○自分の課題に気付くことができる。(思・判・表)</p> <p>○課題を改善しようとすることができる。(学・人)</p>	6	<p>○姿勢、声の出し方、口径、呼吸の確認をする。</p> <p>・明るい曲調の歌いやすい楽曲をとおして、生徒が気持ちよく発声できるよう留意する。併せて生徒の実態を観察していく。主</p> <p>・ペアやグループを作って、生徒同士で気付いたことを伝え合う。主・対</p> <p>・発声練習の様子を動画に撮影したり、録音したりしたものを視聴して振り返りを行い、気付いたことを発表する。また、モデルとなるような生徒を紹介する。対・深</p> <p>・改善点を友達同士で話し合い、アイデアを出し合う。主・対・深</p>	<p>・「発声練習」</p> <p>・「校歌」</p> <p>・イラスト</p> <p>・モニター</p> <p>・オーディオ機器</p> <p>・タブレット端末</p>	① ②	国語	

5	○リズム表現	<p>○簡易楽譜を見て、正しいリズムで演奏することができる。(知・技)</p> <p>○リズム表現を通して、友達と音やリズムを合わせる楽しさに気付くことができる。(思・判・表)</p> <p>○難しいリズム打ちにも、粘り強く取り組むことができる。(学・人)</p>	6 <p>○四分音符、八分音符、四分休符、八分休符など、リズムの違いを知る。</p> <p>・教師が手本を見せたり、参考になる動画等を視聴したりして、音や休符の長さが変わることを理解させる。</p> <p>主</p> <p>・リズムに合う言葉を個人やグループで考えさせ、声に出して言わせる。</p> <p>主・対</p> <p>○音楽に合わせて、正しいリズムで演奏する。</p> <p>・自分が演奏しやすい指使いを考えさせる。主・深</p> <p>・正しいリズムで演奏できているか、友達同士で確認し合う。対</p>	<p>・カスタネット</p> <p>・リズム譜</p> <p>・モニター</p>	<p>①</p> <p>②</p> <p>①</p> <p>②</p>	<p>・国語</p> <p>・数学</p>	
6	○音や音楽で季節を感じる	<p>○雨に関する音楽を聴き、情景をイメージすることができる。(思・判・表)</p> <p>○雨の映像や絵本に合わせて、楽器を工夫して情景を表すことができる。(知・技)</p> <p>○音楽づくりに関心を示すことができる。(学・人)</p>	6 <p>○雨に関する楽曲の聞き比べを行う。</p> <p>・2～3曲の楽曲を聞き比べ、感じたことや気付いたことをワークシートにまとめたり、発表させたりする。</p> <p>主</p> <p>・友達の発表を聞き、人によって感じ方や考え方が違うことに気付かせる。対・深</p> <p>○雨の映像や絵本に合わせて、それぞれの場面に合った音づくりをしたり、奏法を工夫したりしながら表現の仕方を考える。</p> <p>・グループを作ってアイデアを出させ</p>	<p>・雨だれ</p> <p>・水の戯れ</p> <p>・自分達で選んだり創作したりした楽器</p> <p>・絵本</p> <p>・雨の映像</p>	<p>①</p> <p>②</p> <p>③</p> <p>②</p>	<p>・国語</p> <p>・理科</p>	

2	7	○歌に想いをのせて①	○曲の背景や歌詞に込められた想いに気付くことができる。(思・判・表) ○音程やリズムなどを意識して、歌うことができる。(知・技) ○主体的に歌唱の活動に取り組むことができる。(学・人)	6	る。対・深 ○歌詞の意味を理解したり、情景をイメージしたりする。 ・分からない言葉については、調べさせる。主・深 ・イメージした情景を色や絵で表現する。深 ○旋律やリズムを覚える。 ・サビなどの、覚えやすい旋律から反唱して歌わせる。主 ・パート練習をさせて、互いに「気付いたことをアドバイスする。対・深	・高総文祭の曲 ・歌詞表 ・色鉛筆 ・マジック	① ②	① ②	・国語 ・美術
	9	○歌に想いをのせて②	○全体の響きや各声部の声などを聞きながら、他者と合わせて歌う技能を身に付ける。(知・技) ○曲想を感じ取り表現を工夫しながら歌うことができる。(思・判・表) ○発声、呼吸、姿勢など学んだことを活用しようとすることができる。(学・人)	7	○曲を仕上げる。 ・特に大切に歌いたいところや盛り上げるところを話し合わせる。対・深 ・お客さんを招いて、発表をする。主・深	・高総文祭の曲	① ②		・国語
	10	○リズム創作	○表したいイメージと関わらせて理解するとともに、創意工夫を生かした創作表現をするために必要な手法を活用して音楽をつくる技能を身に付ける。(知・技)	7	○基本動作を習得する。 ・模範演奏の鑑賞や基本動作の練習を行う。主 ・友達同士で教え合う。対	・カップス ・モニター ・タブレット端末 ・ワークシート	① ②		・国語

		<p>○音色、リズム、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもつ。(思・判・表)</p> <p>○主体的・協働的に創作の学習活動に取り組むことができる。(学・人)</p>	<p>○リズムを組み合わせて、構想を考える。</p> <p>・グループを作り、タブレット端末上でリズムカード配置しながら考える。主・対</p> <p>○発表する。</p> <p>・グループごとに発表を行う。対</p> <p>・気付いたことや感想等をワークシートに記録し、伝え合う。対・深</p>		<p>②</p> <p>②</p>		
11	○オーケストラの響きを味わおう	<p>○オーケストラの特徴を知ることができる。(知・技)</p> <p>○曲の構成の特徴に気付くことができる。(思・判・表)</p> <p>○主体的に感じたことをワークシートにまとめたり、発表したりすることができる。(学・人)</p>	<p>○オーケストラの楽器を知る。</p> <p>・クラシックがアレンジされて使われている耳馴染みの楽曲を聴かせ、クラシックを身近に感じられるようにする。主</p> <p>・楽器の音色を聞いたり、楽器の聞き比べをしたり、大きさや重さがイメージできるように工夫する。主</p> <p>○鑑賞をする。</p> <p>・作曲家について調べる。深</p> <p>・曲の構成の特徴や、背景を知る。深</p> <p>○部分的に演奏する。</p> <p>・オーケストラに使われている打楽器を用いたり、キーボードの音色を変えたりして、1フレーズほどの合奏を行う。主・深</p>	<p>・モニター</p> <p>・ワークシート</p> <p>・タブレット端末</p> <p>・打楽器</p> <p>・ミニキーボード</p>	<p>①</p> <p>①</p> <p>②</p> <p>①</p> <p>②</p> <p>③</p>	・国語	
12	○季節を感じよう	<p>○冬を題材にした楽曲を知ることができる。(知・技)</p> <p>○友達と声を合わせて表現するこ</p>	<p>○冬の楽曲を知る。</p> <p>・クラシック、ポップスなど様々なジャンルの冬を題材にした楽曲に触れ</p>	<p>・「第九」</p> <p>・「クリスマスソング」</p>	<p>①</p>	・国語	

			とができる。(思・判・表) ○冬を題材にした音楽表現に興味をもって取り組むことができる。(学・人)		る。主 ○冬の楽曲を歌ったり演奏したりする。 ・季節感を表現できそうな楽器を選び、効果的な演奏方法を考えさせる。 主・深	・ハンドベル ・トーンチャイム	① ②		
	1	○日本の音楽	○箏の基本的な奏法を身に付けることができる。(知・技) ○日本音楽の特徴を感じ取ることができる。(思・判・表) ○曲想とその変化などの特徴、様々な音楽表現に興味・関心をもち、鑑賞の学習や即興的に表現する学習に主体的に取り組むことができる。(学・人)	6	○箏の演奏をする。 ・長唄やわらべ歌等親しみやすい楽曲を使う。主 ○箏について、基本的な知識を習得する。 ・タブレット端末等を使って調べさせる。深 ○友達同士で「さくらさくら」を鑑賞する。 ・お互いの演奏を聴き合う。対・深	・「春の海」 ・さくらさくら ・iPadアプリ(ガレージバンド) ・箏	② ③ ② ③ ①	・理科 ・国語	
3	2	○世界の音楽	○世界の音楽が多様であることを知ることができる。(知・技) ○世界の色々な音楽の旋律や響きの特徴を捉えて、それぞれの国の音楽のよさを感じ取る。(思・判・表) ○世界の国々の音楽に興味をもって鑑賞したり、演奏したりすることができる。	6	○世界の民謡や楽器を知る。 ・身近なところにある楽曲を聴き、親しみを感じられるようにする。主 ○世界の音楽を聴く。 ・世界の音楽の音色、リズム、旋律の特徴を感じ取り、気付いたことを発表する。対・深 ○世界各地の楽器の音色を聞いたり、演奏してみたりする。 ・調べたことをまとめて発表する。 対・深	・世界の民謡	① ① ②	・社会 ・国語	

	<p>3 ○卒業式の歌</p>	<p>○他のパートの掛け合いや重なりを聴きながら歌うことができる。(知・技)</p> <p>○歌詞から感じ取ったイメージを基に、表現を工夫する。(思・判・表)</p> <p>○自分たちの課題を見付け、改善しようとする事ができる。(学・人)</p>	<p>6</p> <p>○パートごとの歌を聴き合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異なるパートの旋律を聴いて、全体が重なった時のイメージをもてるようにする。深 <p>○歌詞の意味について調べたり、感じ取ったことを発表したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲の中で大切に歌いたいところを抜き出し、どのように表現を工夫するか考える。主・深 <p>○歌を録画、録音する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌を聴き、改善した方がよい点について話し合う。対・深 	<p>・「卒業式の歌」</p>	<p>①</p>	<p>・国語</p>	
--	-----------------	---	--	-----------------	----------	------------	--

※授業形態 ①一斉 ②グループ ③個別

高等部 年間指導計画		(1) 学 年	(I 課程) グループ	教科名・領域名 (家庭科)	年間指導時数	70				
指 導 目 標		<p>○家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けることができる。(知識・技能)</p> <p>○家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現することができる。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>○家庭や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとするすることができる(学びに向かう姿・人間性等)</p>								
学 期	月	単 元 (題 材)	単 元 (題 材) 目 標	時数	学 習 活 動 内 容 指 導 の 手 立 て	教材等	授業 形態	関連する教 科名	学習指導要 領位置付け	
I 学 期	4	○オリエンテーション 自己紹介	○家庭科で学習する内容を知り、見通しを持つことができる。(学・人)	2	○座席、教科書、ファイルの確認を行い、授業での約束ごと、授業内容について知る。 主・深	教科書 ファイル	①			
	5	○わたしの家庭生活	○家庭での生活を振り返り、家庭の仕事(衣・食・住について分けて考え)を知ることができる。(知・技)	4	○家庭の仕事内容を確認し、家庭での役割を考える。 主・深	ワーク シート	① ②	社会	I 段階 A ア (ア)	
	6	○手縫いの作品制作 基礎縫い 「都きり祭にむけて」	○縫製道具の名称や使い方を知る(知・技) ○玉結び、玉どめ、なみ縫いのやり方が分かり、自分でできるようになる。(知・技)	8	○縫製室の利用の仕方、裁縫箱の確認を行い、主に使う裁縫道具の名まえや使い方を覚える。 主・深	裁縫道 具 布、刺し ゅう糸、	① ② ③	理科 数学	I 段階 B エ (ア) (イ)	
2 学 期	7	○日常食の調理① みたらし団子	○実習室の使い方、調理道具の名称・安全な使い方が分かる。(知・技) ○調理の手順を確認しながら作ることができる。(知・技)	2	○玉結び、玉どめ、なみ縫いができる。 主 ○調理室の使い方、ガスコンロの安全な取り扱い(元栓)、清潔について(身支度と手の洗い方)、団子の茹で方と出来上がりの関係を説明し、調理する。 主・深	教科書 ワーク シート	① ② ③	理科 数学	I 段階 B イ (ア) (イ)	
	8	○夏の食事を知ろう	○旬の食べ物と料理を考える。(知・技) ○自分で作る夏の料理を調べる。(思・判・表)	2	○旬の食べ物や料理、レシピの読み取り方を理解させる。 主・深	教科書 ワーク シート	① ③	理科 社会	I 段階 B イ (イ)	
	9	○夏休みの食生活を振り返ろう	○夏休みの食生活を振り返り、良い点、改善点を見つけることができる。(思・判・表)	2	○自分の意見を発表しやすいように、受容の雰囲気を作る。 主・深・対		① ③	理科 社会	I 段階 B イ (ア) (イ)	

3 学 期	10	○食事の役割	○食事の役割について考える。(学・人)	2	○健全な生活と食事の役割や日常の食事の大切さを理解する。 <u>主・深</u>	教科書 ワーク シート	① ③	理科 社会	I 段階 B ア (7) (1)
		○日常食の調理② おにぎり	○ご飯を炊いておにぎりを作ることができる。(知・技)	2	○米の計量、水加減、研ぎ方が分かり、家庭で実践できる意欲を持つ。 <u>主・深</u>	教科書 ワーク シート	① ② ③	理科 数学	I 段階 B イ (7) (1)
		○日常食の調理③ みそ汁	○炊いたご飯を冷凍することができる。(知・技)	2	○みそ汁・だしの取り方を説明し、興味関心を持つ。 <u>主・深</u>	教科書 ワーク シート	① ② ③	理科 数学	I 段階 B イ (7) (1)
		○大掃除をしよう	○住まいの手入れの仕方がわかり実践することができる。(思・判・表)	4	○住居用洗剤の使い方が分かり、実践する意欲を持つ <u>主・深</u>	清掃道 具	① ③	社会	I 段階 B オ (7))
		○和食について考えよう	○正月料理、行事食の意味を知る。(知・技) ○和食の特性、郷土料理について知る。(知・技)	2	○日常の食事を振り返りながら、和食や行事食の大切さを理解する。 <u>主・深</u>	教科書 ワーク シート	① ② ③	社会 理科	I 段階 B ア (7) (1)
		○日常食の調理④ ホットケーキ	○ホットプレートを使って簡単なおやつを作ることができる。(知・技)	2	○熱源の違いを知り、ホットプレートの使い方を理解できる。 <u>主・深</u>	ワーク シート	① ②	理科 数学	I 段階 B イ (7) (1)
		○日常食の調理⑤ サラダ	○簡単な卵料理や野菜料理ができる。(知・技)	2	○野菜の切り方、茹で方が分かる。 <u>主・深</u>	ワーク シート	① ②	理科 数学	I 段階 B イ (7) (1)
		○お金の使い方を考えよう ①買物・契約の基本 ②商品の選び方 ③いろいろな支払方法	○売買契約の仕組み、契約について知る。(知・技) ・買物をする時の手順、計画の必要性、商品を選ぶポイント、支払い方法が分かる。(思・判・表)	6	○契約と約束の違い、契約の成立時期ルール、権利と義務を理解する。 <u>主・深</u> ○支払の特徴、時期、クレジットカードの仕組みを理解する。 <u>主・深</u>	教科書 ワーク シート	① ② ③	社会 数学	I 段階 C ア (7) (1)
		○日常食の調理⑥ チャーハン、冷凍餃子	○冷凍ごはんを使ってチャーハンを作ることができる。(知・技) ○冷凍食品の取り扱いを理解し、調理することができる。(知・技)	2	○電子レンジ、フライパンの使い方を理解する。 <u>主・深</u>	ワーク シート	① ②	理科 数学	I 段階 B イ (7) (1)
		○1年間のまとめ		2					

※ 授業形態 ①一斉 ②グループ ③個別

高等部 年間指導計画		(2) 学 年	(I 課程) グループ	教科名・領域名 (家庭科)		年間指導時数	70		
指導目標		<p>○家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けることができる。(知識・技能)</p> <p>○家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現することができる。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>○家庭や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとするすることができる(学びに向かう姿・人間性等)</p>							
学期	月	単 元 (題 材)	単 元 (題 材) 目 標	時数	学 習 活 動 内 容 指 導 の 手 立 て	教材等	授業 形態	関連する教 科名	学習指導要 領位置付け
1 学 期	4	○オリエンテーション 自己紹介 ○食事と健康	○家庭科で学習する内容を知り、見通しを持つことができる。(学・人) ○栄養素の働きと含まれる食品群について理解することができる。(知・技)	2 4	○新しい学年での学習や準備物について知る。 ○食生活チェックリストを活用し、自分自身の食生活を振り返る。 ・食品カードを用いてわかりやすくグループ分けをする。主・対	教科書 ファイル ワークシート	①	理科 数学 社会	1 段階 Bア(ア)(イ)
	5	○衣服の手入れ	○衣服の手入れの仕方を知る。(知・技)	4	○衣服の手入れをする目的を話し合う。 ・季節や場面によりどんな汚れが付きやすいか、具体例を示して説明する。主・対 ○基本的な洗濯とアイロンの手順を確認し、自分でできるようになる。 ・衣服の種類によって洗い方や☆方が異なることを確認させる。主	教科書 洗濯機 アイロン	② ③	理科 数学	2 段階 Bウ(ア)(イ)
2 学 期	6	○日常食の調理① お茶の入れ方・出し方	○実習室の使い方、調理道具の名称・安全な使い方が分かる ○お茶の入れ方を知り、おいしいお茶を入れることができる。	4	○調理室の使い方、ガスコンロの安全な取り扱い(元栓)、清潔について(身支度と手の洗い方)確認する。主 ・役割分担を明確にし、班の友達と協力して取り組めるようにする。対・深		② ③	理科 数学 社会	1 段階 Bイ(ア)(イ)
	7	○作品製作 「都きり祭にむけて」 手ぬいの小物製作	○道具を安全に正しく使うことができる。 ○玉結び、玉どめ、なみ縫いを自分ですることができる。(知・技)	8	○縫製室の利用の仕方、裁縫箱の確認を行い、道具の名まえや使い方を確認する。 ・役割分担を明確にして、道具の確認や片付けに取り組みやすくする。主	裁縫道具 布、糸	① ② ③	理科 数学	2 段階 Bエ(ア)(イ)
	9	○日常食の調理② 昼食献立 ピザトースト	○簡単にバランスの良い食事の作り方を知る。(知・技)	4	○調理の手順を確認しながら作ることができる。 ・イラストや写真を用いてレシピを読み取りやすくする。主	ワークシート 教科書	① ②	理科 数学	1 段階 Bイ(ア)(イ)

3 学 期	10	○テーブルマナー (修学旅行に向けて)	○基本的なテーブルマナーやセッティングについて理解し、意識して食事をとることができる。(思・判・表)	4	○テーブルマナーについて知る。 ・料理の種類や食器について、実物や具体例を示し、わかりやすくする。主・対	教科書 ワーク シート	② ③	社会	1段階 Bイ(ア)(イ)
		○加工食品について	○加工食品の長所、短所について知り、活用する時にどんなことに気をつければ良いかわかる。(知・技)	4	○加工食品の種類を知る。 ・身近に販売されている加工食品の実物を提示しながら、バランス良く食べるための具材を考えられるようにする。対・深		① ② ③	理科 社会	1段階 Bイ(ア)(イ)
	11	○日常食の調理③ インスタント食品の調理	○インスタント食品や冷凍食品の扱い方や注意点を知り、実際に調理することができる。(知・技)	4	○袋麺の調理を行う。 ・班ごとに協力して、他の班の作品も見ながら良いところを発表させる。対・深	ワーク シート	① ② ③	理科 数学	2段階 Aエ(ア)(イ)
		○乳幼児や高齢者と暮らす 妊婦体験・高齢者体験	○乳幼児や高齢者の特徴を知り、よりよい関わり方について考えることができる。(思・判・表)	6	○家族の一員として自分の役割を考える。 ・体験キットを活用することで、ライフステージにより誰にでも訪れることに気づくよう促す。対・深	教科書 体験キ ット	② ③	社会 理科	1段階 Bイ(ア)(イ)
	12	○日常食の調理④ スイートポテト	○旬の食材を使った調理をすることができる。(知・技)	6	○簡単なおやつを作ることができる。 ・季節の食材を使ったおやつにはどんなものがあるか、考えさせる。主・対	ワーク シート 教科書	① ② ③	理科 数学	2段階 Bオ(ア)(イ)
		○安全で快適な住まい方	○家族や地域の人とともに健康で快適に住まうための室内環境について考える。(思・判・表)	6	○快適な室内環境(暑さ、寒さ、換気)の整え方について知る。 ・互いに気持ちよく居住するためには、どんなことが必要か、トラブルの例などを示して意見を出させる。主・対・深	ワーク シート 教科書	② ③	理科 社会	2段階 Bイ(ア)(イ)
	1	○日常食の調理⑤ 防災食・袋炊飯	○非常食の種類についてを知り、非常食の試作をする。(知・技)	4	○最小の熱源で炊飯する方法を実践してみる。 ・災害についての資料を活用し、備えの必要性を自分たちの問題として考えることができるように工夫する。主・対	ワーク シート	① ② ③	理科 社会 数学	1段階 Bイ(ア)(イ)
		○日常食の調理⑥ カレーライス	○調理用具や食器の安全で衛生的な取り扱いができる。(知・技)	4	○道具の安全な取り扱い方を知る。 ・材料は代用できることや、ひとつの食材を複数の調理法で使い回すことができることに気づかせる。対・深	ワーク シート	① ② ③	理科 数学	2段階 Bオ(ア)(イ)
	2	○住居の手入れ	○住まいの手入れの仕方がわかり実践することができる。(知・技)	2	○住居の手入れの仕方を知り実践できる。 ・汚れの種類によって清掃の仕方が違うことや、環境に優しい洗剤の使い方について考える。主・対	清掃用 具	② ③	理科 数学	
		○1年間のまとめ							

※ 授業形態 ①一斉 ②グループ ③個別

高等部 年間指導計画		(3) 学 年	(I 課程) グループ	教科名・領域名 (家庭科)	年間指導時数	70				
指導目標		<p>○家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けることができる。(知識・技能)</p> <p>○家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現することができる。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>○家庭や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとするすることができる(学びに向かう姿・人間性等)</p>								
学期	月	単 元 (題 材)	単 元 (題 材) 目 標	時数	学 習 活 動 内 容 指 導 の 手 立 て	教材等	授業 形態	関連する教 科名	学習指導要 領位置付け	
I 学 期	4	○オリエンテーション 自己紹介	○家庭科で学習する内容を知り、見通しを持つことができる。(学・人)	2	○座席、教科書、ファイルの確認を行い授業での約束、授業内容について知る。	教科書 ファイル	① ② ③			
	5	○これからの家庭生活	○自立度チェックを行い、自分の現状を知る。成長や将来について考えることができる。(思・判・表)	4	主・深 ○将来、自立した家庭生活ができるためにどうしたらよいか、自分の果たす役割を考え、表現する。	ワーク シート		社会	2段階 Aア(ア)	
	6	○日常食の調理① ラップご飯をつくろう	○炊飯の手順を確認する。(思・判・表) ○炊飯器の他に、電子レンジや鍋などで炊飯する方法を知る。(知・技)	4	○米の量り方、水の計量の仕方を確認し、一人でもできるように実践させる。 主・	ワーク シート	① ② ③	理科 数学	2段階 Bイ(ア)(イ)	
		○日常食の調理② おにぎらず	○簡単に栄養バランスの良い食事の作り方を 知る。(知・技) ○おにぎらずの具について調べる。(学・人)	4	深 ○レシピの読み取り方を理解させる。 主・	ワーク シート	① ② ③	理科 数学	2段階 Bイ(ア)(イ)	
	7	作品制作 「都きり祭におけて」 手縫いの小物づくり	○運針など、効率よく針を運ぶことができるようになる。(思・判・表)	8	深 ○効率の良い縫い方についてやってみて、気づくことができるように工夫する。	裁縫道 具 布、刺し ゅう糸	① ③	理科 数学	2段階 Bエ(ア)(イ)	
	2 学 期	○日常食の調理③ 昼食献立 具入りそうめん	○調理の手順を確認しながら作ることができ る。(思・判・表)	2	○簡単な調理の仕方や手順について知り、 できるようになる。 主・深	ワーク シート	① ② ③	理科 数学	2段階 Bイ(ア)(イ)	
		○掃除をしよう	○ゴミの分別や出し方のマナーが分かる。 (知・技)	2	○汚れの種類によって清掃の仕方が違う ことや、環境に優しい洗剤の使い方につ	清掃用 具	① ③	社会	2段階 Bオ(ア)(イ)	
	9	○夏休みの食生活を振り返	○夏休みの食生活を振り返り、良い点、改善点	4	いて考える。 主・深	教科書	①	社会	1段階	

3 学 期	10	ろう ○日常食の調理④ ・みそ玉 ・具だくさんの汁物	を見つけることができる。(思・判・表) ○みそ玉の作り方が分かる(知・技) ○栄養バランスの良い食事を整えることができる。(思・判・表)	4	○夏休みの食事を思い出す。 <u>主</u> ○みそ玉の作り方について知る。 <u>主・深</u> ○汁物に適した食材や切り方について考える。 <u>主・深</u>	ワークシート ③ ワークシート ② ③	理科 理科 数学	Bア(ア)(イ) 2段階 Bイ(ア)(イ)
	11	○計画的な消費生活 ・仕事とお金 ・家庭のお金の出入り	○一人暮らしをするために必要なお金について知る。(知・技)	8	○卒業後の生活についてイメージできるよう、具体例を挙げる。	教科書 ワークシート ① ②	社会 数学	2段階 Cア(ア)(イ)
	12	○日常食の調理⑤ クリスマスケーキ	○簡単な行事食を作ることができる。(知・技) ○デコレーションを自分で考え、工夫することができる。(思・判・表)	4	○自分に合った方法で工夫しながらデコレーションをする。友達の作品も見て、良さに気づく。 <u>主・対</u>	ワークシート ① ② ③	理科 数学	2段階 Bイ(ア)(イ)
	1	○食生活について考えよう	○自分の食生活を振り返り、よりよい食生活にするためにどんなことに気をつければ良いか考えることができる。(思・判・表) ○コンビニエンスストアや加工食品の上手な利用の仕方を考える。(知・技)	6	○食生活チェックリスト等を用いて、メニューの組み合わせを考え、互いに発表する。 <u>主・深・対</u>	教科書 ワークシート ① ③	理科 社会	2段階 Bア(ア)(イ)
	2	○日常食の調理⑥ ・お弁当を作ろう ・卵料理 ・冷凍食品の活用	○料理の手順が分かる。(知・技) ○加工食品の活用を含め、価格面も考えながら弁当献立を考えることができる。(思・判・表)	4	○お弁当に向かない食材や調理方法について知らせる。 ○加工食品の利点と欠点について考えさせる。 <u>主・深</u>	ワークシート ① ② ③	理科 数学	2段階 Bイ(ア)(イ)
	3	○社会人としてのみだし なみ ・TP0にあわせた服装	○卒業後の生活に必要な身だしなみについて知識を取得し、適切な衣服の選択ができる。(思判・表)	4	○TP0に応じた服装について、写真カード等を活用しながら、自分で選択する。 <u>主・深</u> ○その場や目的に応じた服装とその理由について話し合わせる。 <u>主・対</u>	教科書 ワークシート ① ③	社会	2段階 Bウ(ア)(イ)
		1年間のまとめ						

※ 授業形態 ①一斉 ②グループ ③個別